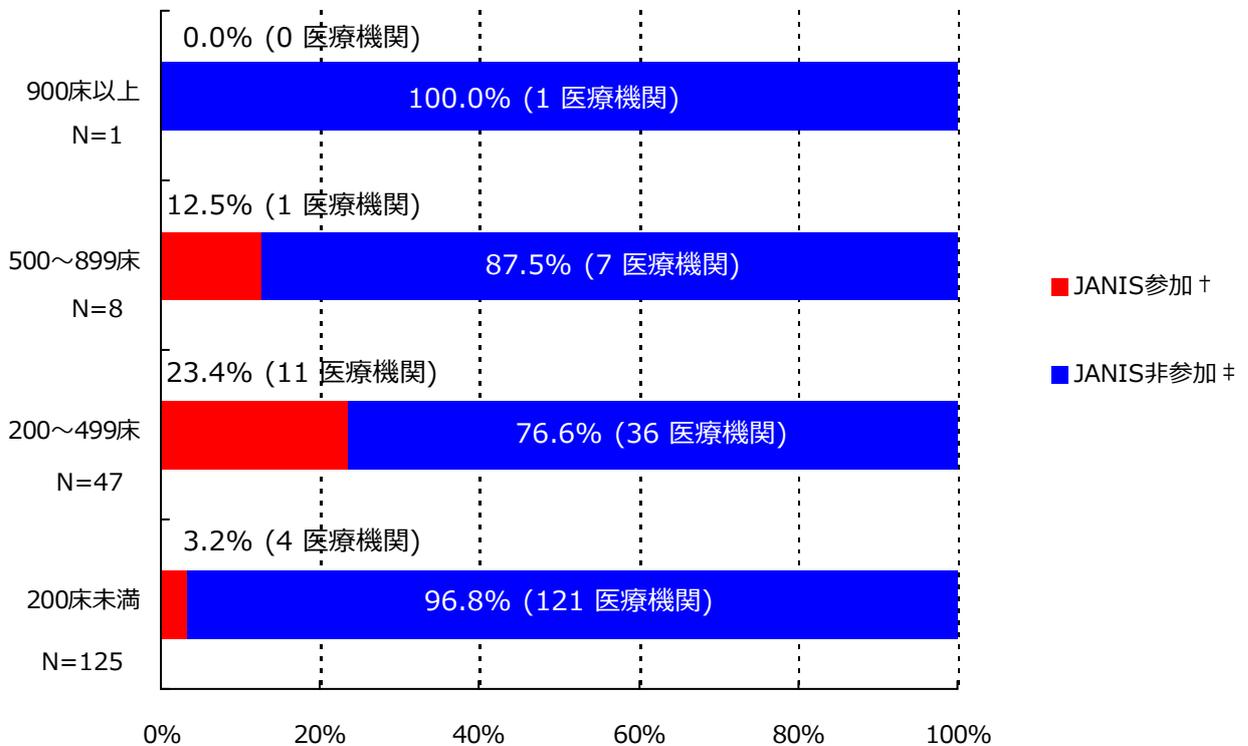


1. データ提出医療機関*数(16医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2015年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2014年 都道府県別医療機関数¶) - (2015年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2014年 都道府県別医療機関数¶	2015年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	1	0 (0.0%)
500～899床	8	1 (12.5%)
200～499床	47	11 (23.4%)
200床未満	125	4 (3.2%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	181	16 (8.8%)

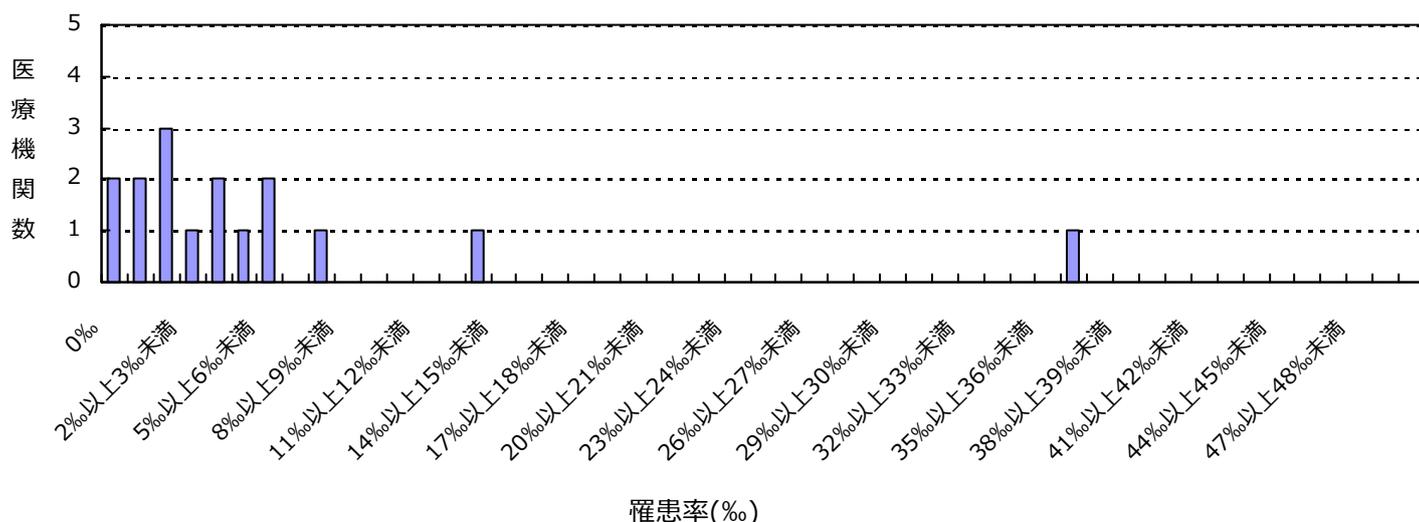
¶平成26年医療施設（動態）調査を参照した。

2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	76,667	6	270	3.52%	0.00 3.11 36.88

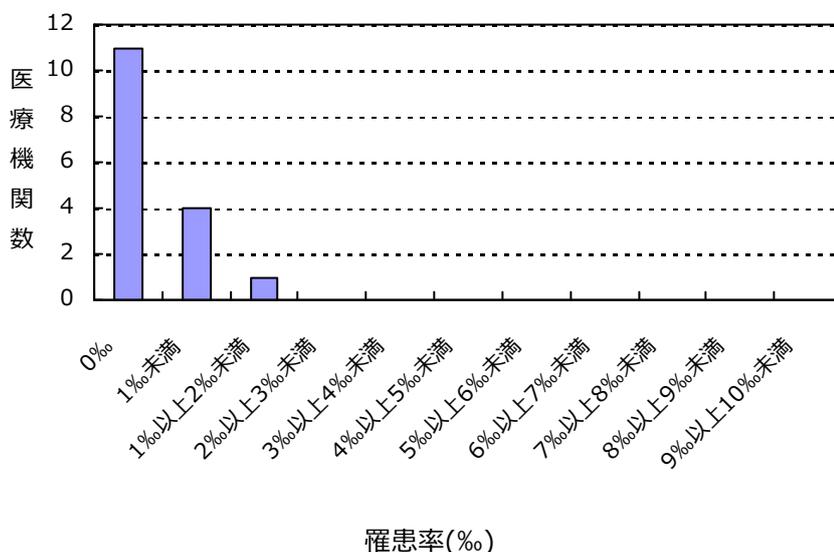
集計対象医療機関の罹患率(N=16)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	76,667	0	8	0.10%	0.00 0.00 1.12

集計対象医療機関の罹患率(N=16)



(茨城県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

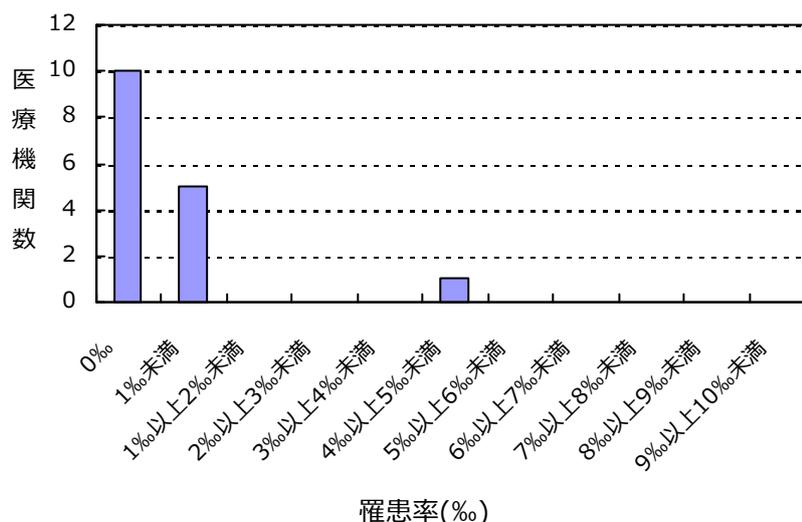


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	76,667	0	7	0.09%	0.00 0.00 4.35

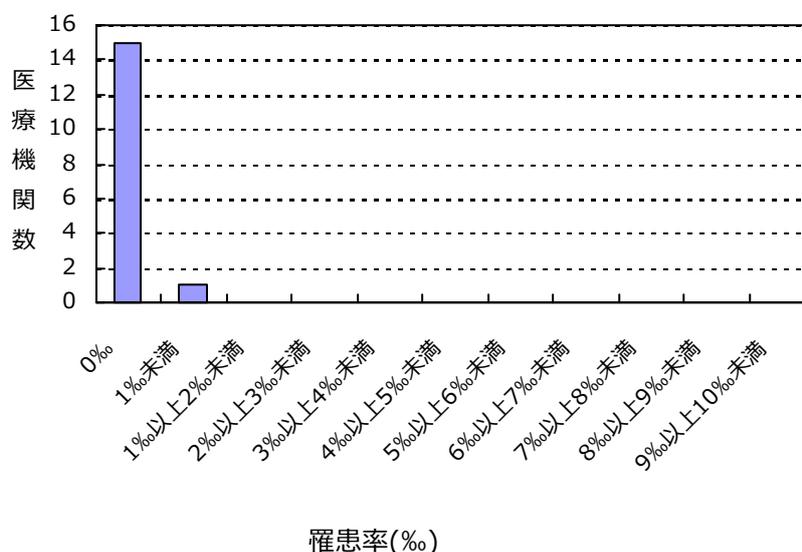
集計対象医療機関の罹患率(N=16)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	76,667	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.41

集計対象医療機関の罹患率(N=16)



(茨城県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

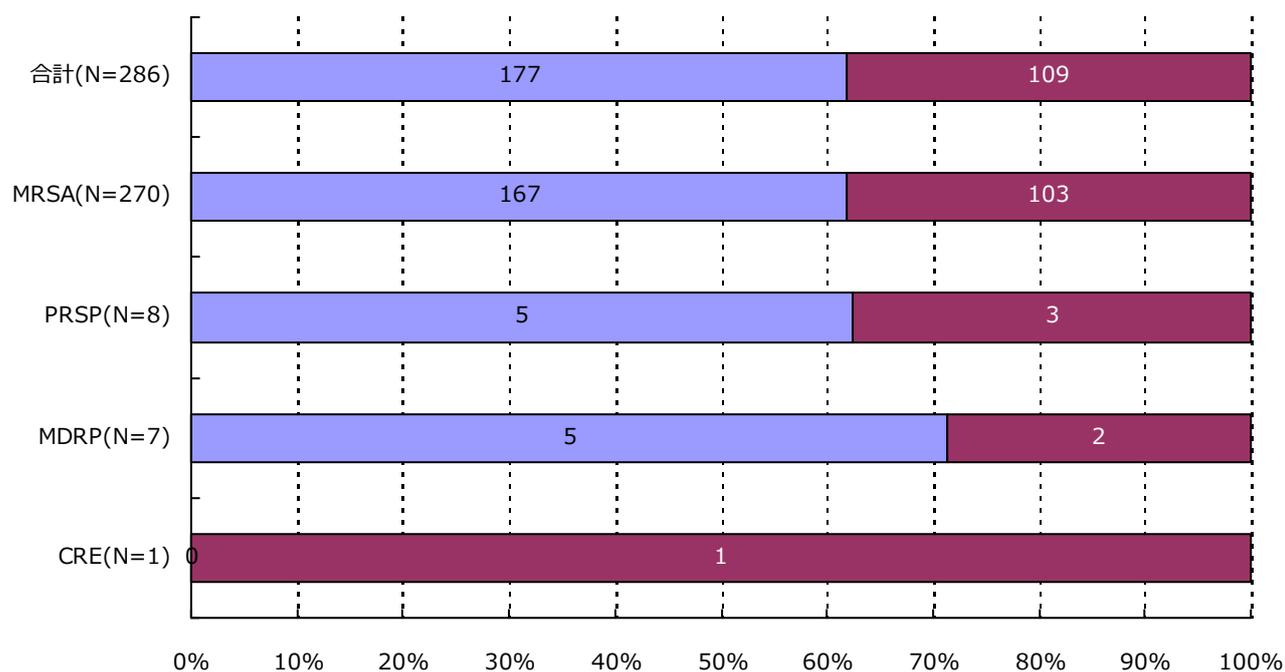
(茨城県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



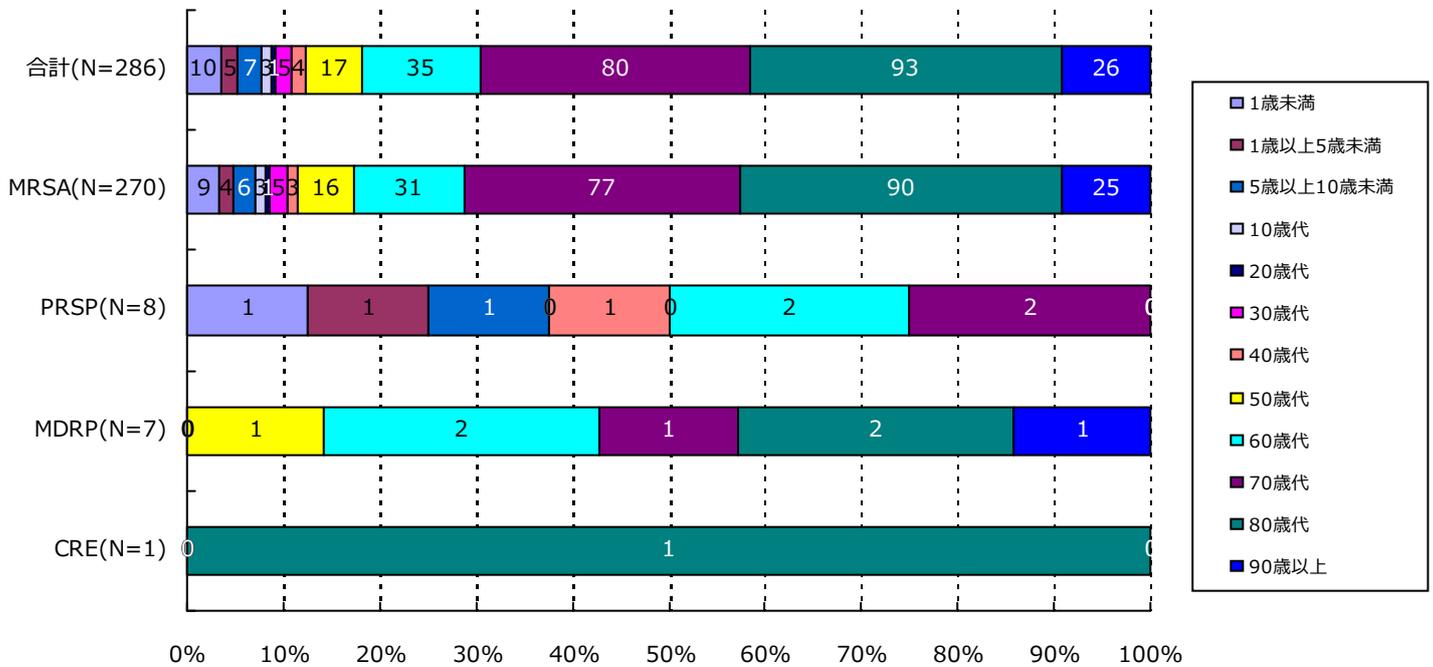
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	177 (61.9%)	167 (61.9%)	0 (-)	0 (-)	5 (62.5%)	5 (71.4%)	0 (-)	0 (-)
女	109 (38.1%)	103 (38.1%)	0 (-)	0 (-)	3 (37.5%)	2 (28.6%)	0 (-)	1 (100.0%)
合計	286	270	0	0	8	7	0	1

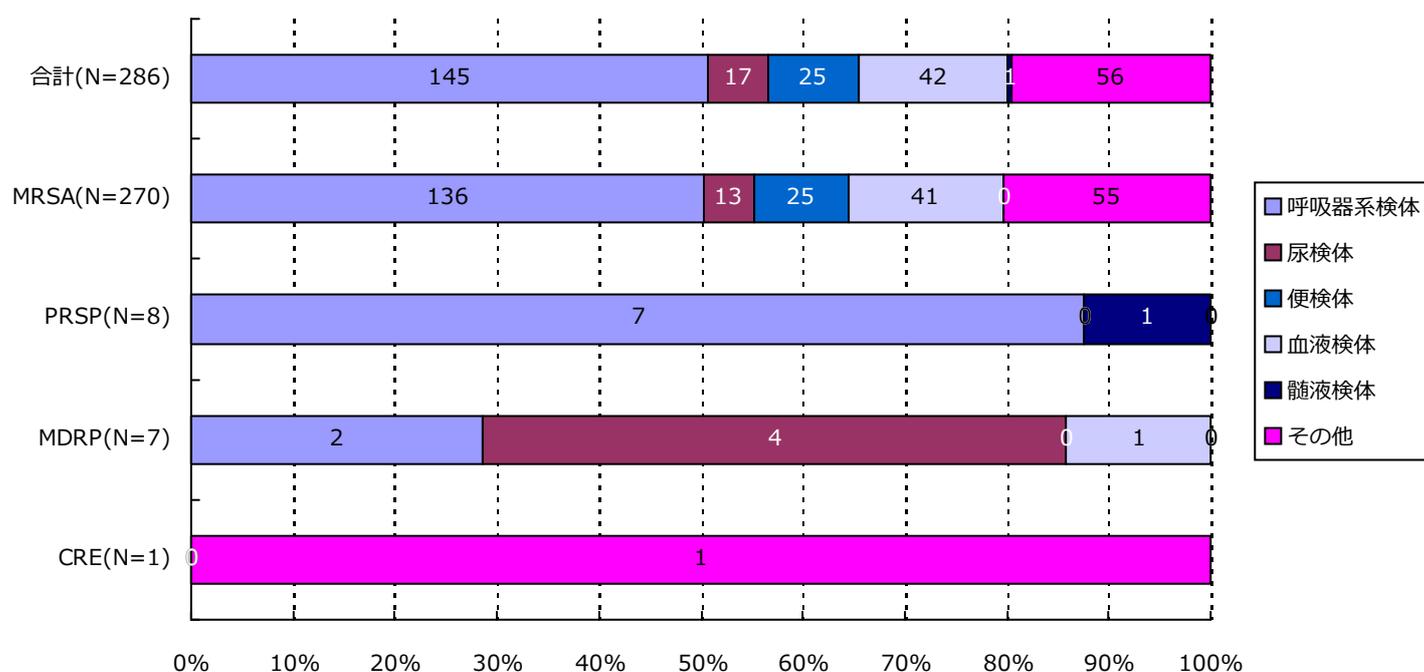


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	10(3.5%)	9(3.3%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	5(1.7%)	4(1.5%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	7(2.4%)	6(2.2%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	3(1.0%)	3(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	1(0.3%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	5(1.7%)	5(1.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	4(1.4%)	3(1.1%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	17(5.9%)	16(5.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	0(-)
60歳代	35(12.2%)	31(11.5%)	0(-)	0(-)	2(25.0%)	2(28.6%)	0(-)	0(-)
70歳代	80(28.0%)	77(28.5%)	0(-)	0(-)	2(25.0%)	1(14.3%)	0(-)	0(-)
80歳代	93(32.5%)	90(33.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(28.6%)	0(-)	1(100.0%)
90歳以上	26(9.1%)	25(9.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	0(-)
合計	286	270	0	0	8	7	0	1

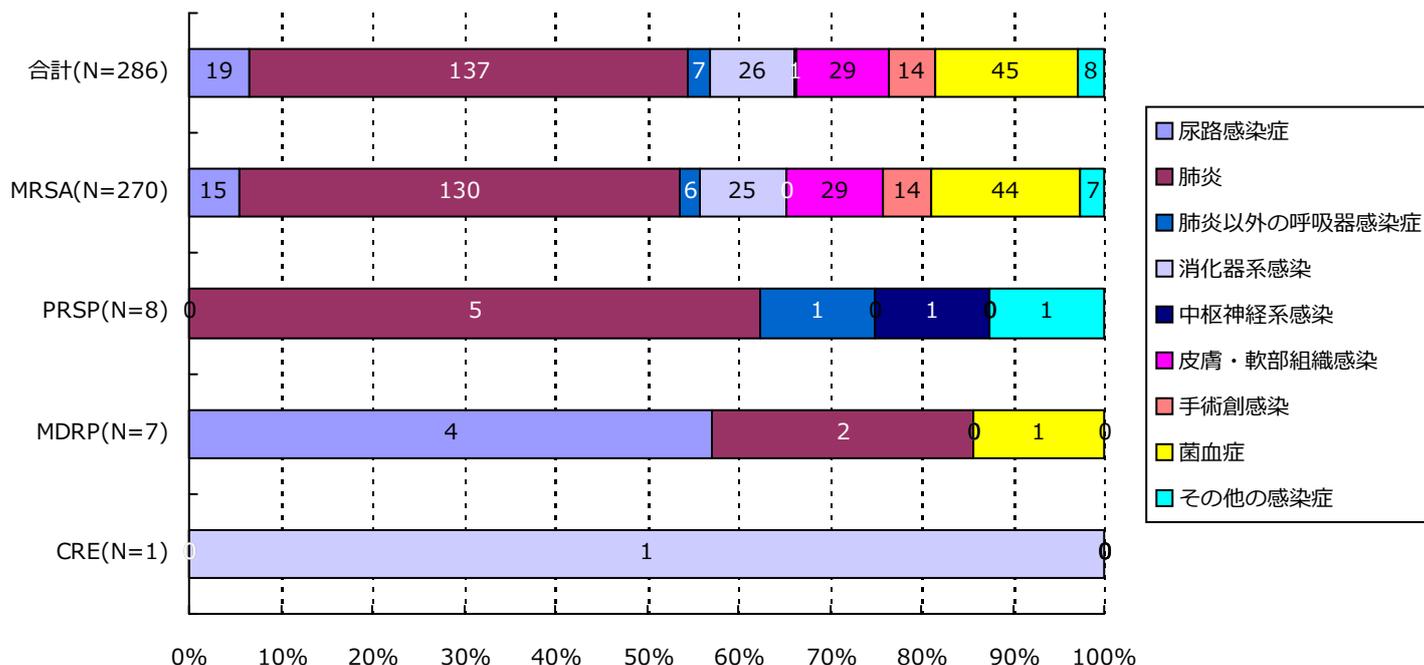
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	145(50.7%)	136(50.4%)	0(-)	0(-)	7(87.5%)	2(28.6%)	0(-)	0(-)
尿検体	17(5.9%)	13(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	4(57.1%)	0(-)	0(-)
便検体	25(8.7%)	25(9.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	42(14.7%)	41(15.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	0(-)
髄液検体	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	56(19.6%)	55(20.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
合計	286	270	0	0	8	7	0	1

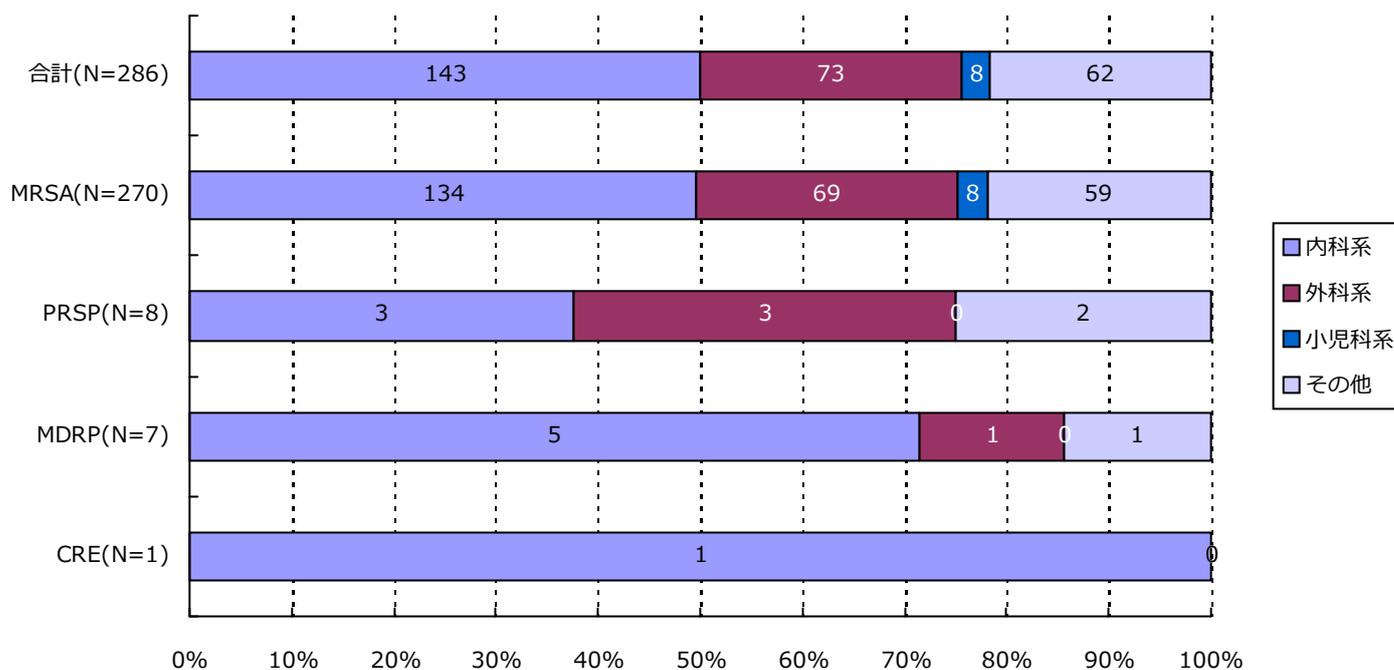
*検体区分については巻末の資料1を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	19(6.6%)	15(5.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	4(57.1%)	0(-)	0(-)
肺炎	137(47.9%)	130(48.1%)	0(-)	0(-)	5(62.5%)	2(28.6%)	0(-)	0(-)
肺炎以外	7(2.4%)	6(2.2%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	26(9.1%)	25(9.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
中枢神経系	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	29(10.1%)	29(10.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	14(4.9%)	14(5.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	45(15.7%)	44(16.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	0(-)
その他	8(2.8%)	7(2.6%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	286	270	0	0	8	7	0	1

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	143(50.0%)	134(49.6%)	0(-)	0(-)	3(37.5%)	5(71.4%)	0(-)	1(100.0%)
外科系	73(25.5%)	69(25.6%)	0(-)	0(-)	3(37.5%)	1(14.3%)	0(-)	0(-)
小児科系	8(2.8%)	8(3.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	62(21.7%)	59(21.9%)	0(-)	0(-)	2(25.0%)	1(14.3%)	0(-)	0(-)
合計	286	270	0	0	8	7	0	1

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科	
	循環器内科		消化器外科	
	神経内科		肛門科	
	呼吸器内科		肝胆膵外科	
	消化器内科		心臓血管外科	
	胃腸科		内分泌外科	
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科	
	腎臓内科		小児外科	
	糖尿病内科		小児循環器外科	
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科	
	膠原病内科		産婦人科	
	アレルギー内科		産科	
	リウマチ内科		婦人科	
	血液内科		整形外科	
	感染症内科		美容外科	
	老人内科		眼科	
	心療内科		耳鼻咽喉科	
	その他		性病科	気管食道科
			神経科	泌尿器科
			精神科	皮膚・泌尿器科
放射線科		皮膚科		
総合診療部		脳神経外科		
救急部		形成外科		
救急・集中治療部		歯科口腔外科		
集中治療部(ICU)		歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科		
内視鏡科		矯正歯科		
透析科		口腔外科		
理学療法・リハビリテーション科		手術部		
理学療法科		移植・人工臓器科		
リハビリテーション科		小児科系	小児科	
麻酔科			新生児科	
その他			新生児集中治療部(NICU)	
	周産期センター			

資料3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

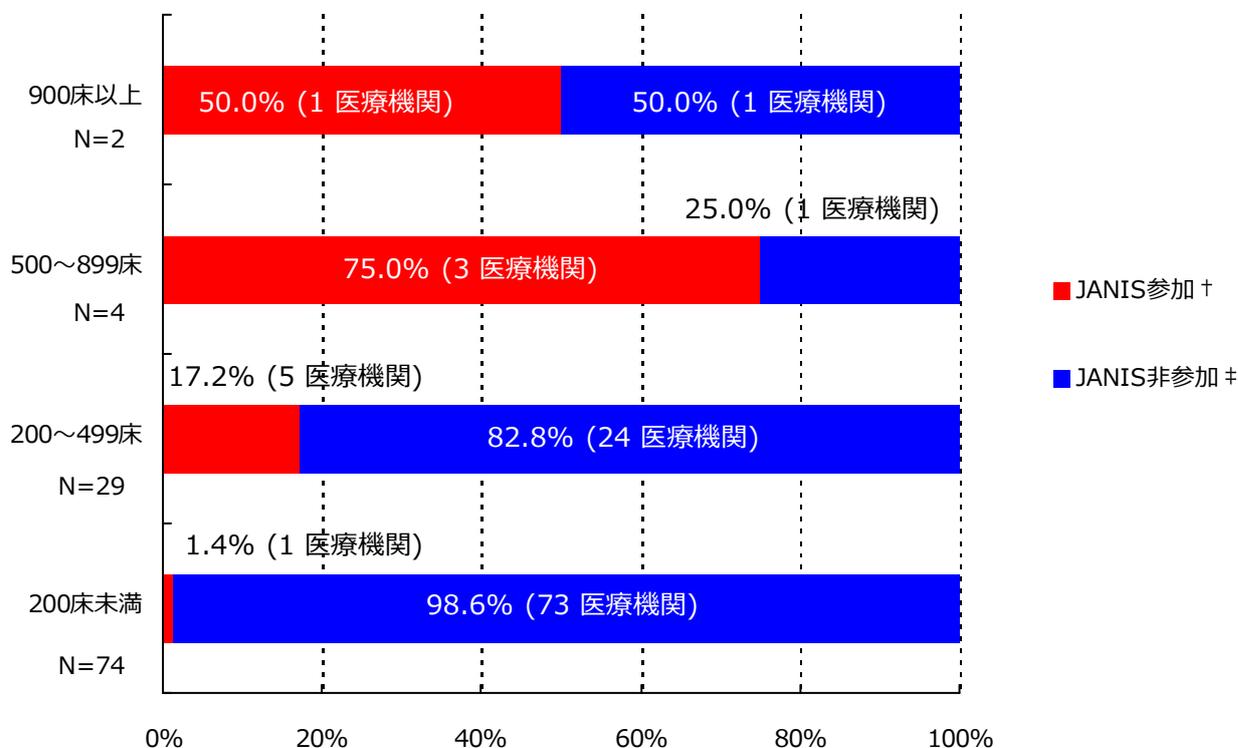
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で "R")、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 \dagger ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml \dagger	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 \dagger 、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml \dagger	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で "S 以外" (例 \leq 23mm) \ddagger
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 \dagger 、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 \dagger 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml \dagger AMK \geq 32 μ g/ml \dagger NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm \dagger AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 \dagger 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml \dagger LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 \dagger ・ IPM が耐性 \dagger 、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml \dagger IPM \geq 2 μ g/ml \dagger かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

\dagger 感染症発生动向調査の基準に準拠

\ddagger PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(10医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2015年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2014年 都道府県別医療機関数¶) - (2015年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2014年 都道府県別医療機関数¶	2015年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	1 (50.0%)
500～899床	4	3 (75.0%)
200～499床	29	5 (17.2%)
200床未満	74	1 (1.4%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	109	10 (9.2%)

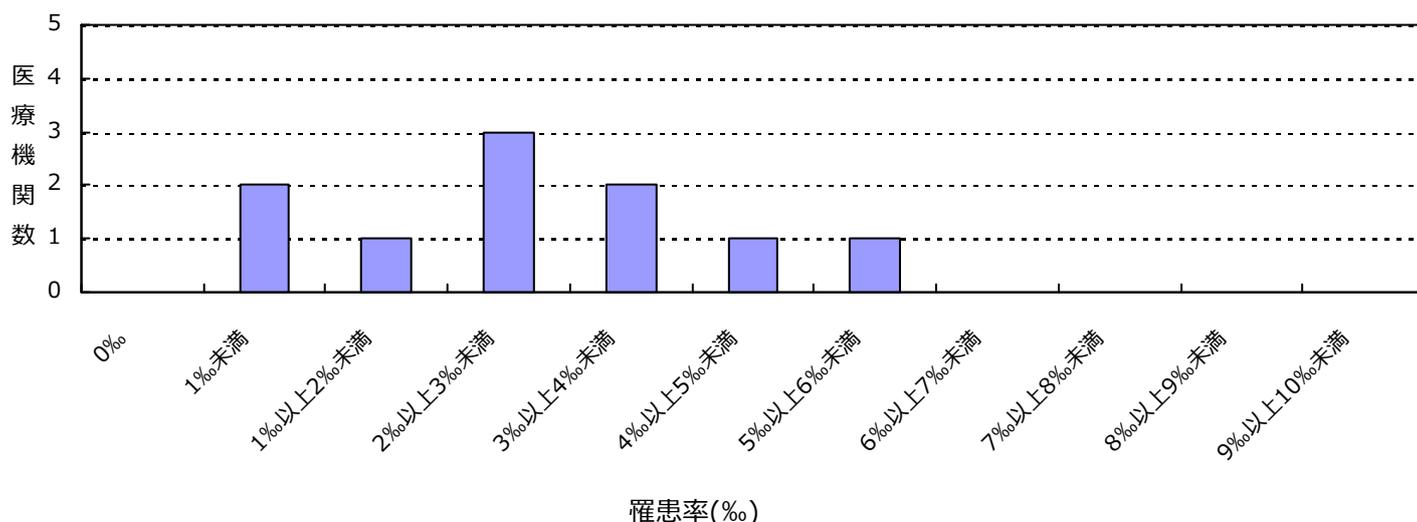
¶平成26年医療施設（動態）調査を参照した。

2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	97,565	4	258	2.64%	0.35 2.75 5.95

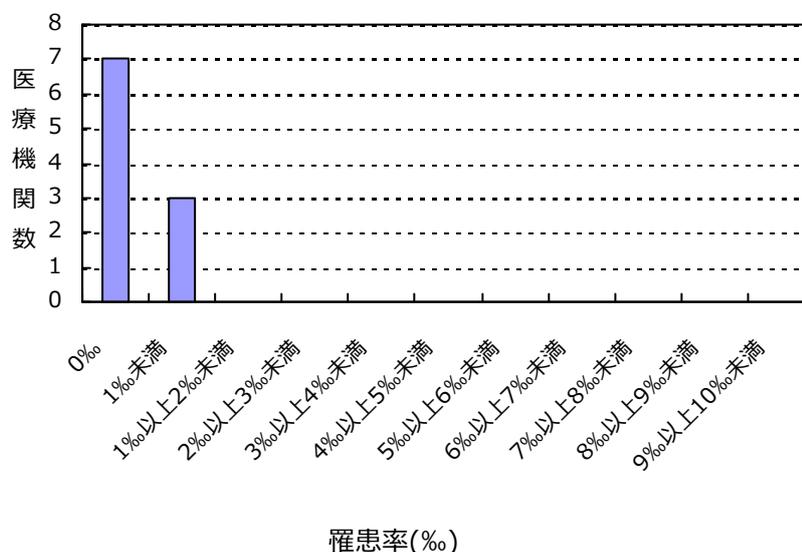
集計対象医療機関の罹患率(N=10)



多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	97,565	0	3	0.03%	0.00 0.00 0.30

集計対象医療機関の罹患率(N=10)



(栃木県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

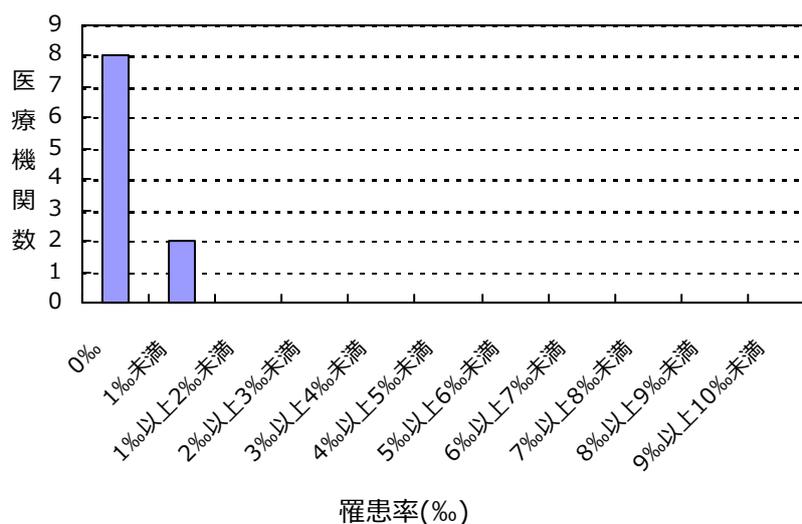


2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	97,565	0	5	0.05%	0.00 0.00 0.48

集計対象医療機関の罹患率(N=10)



(栃木県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

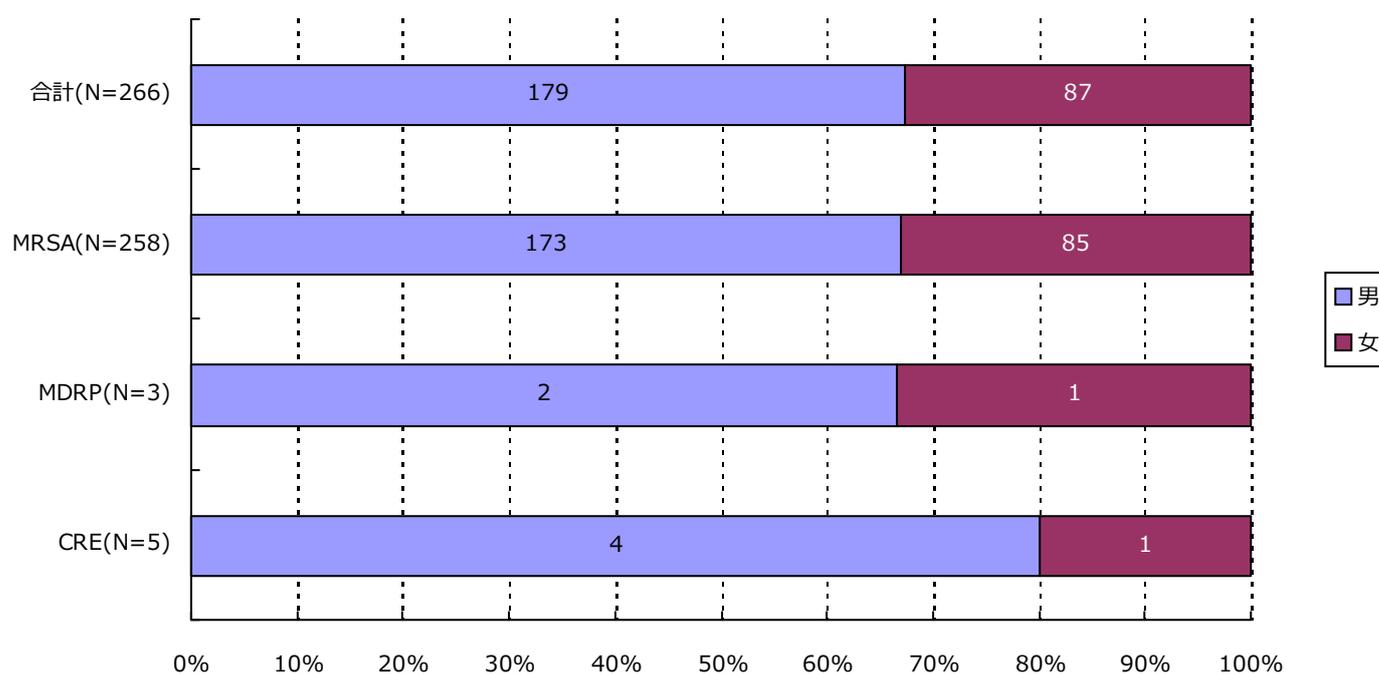
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

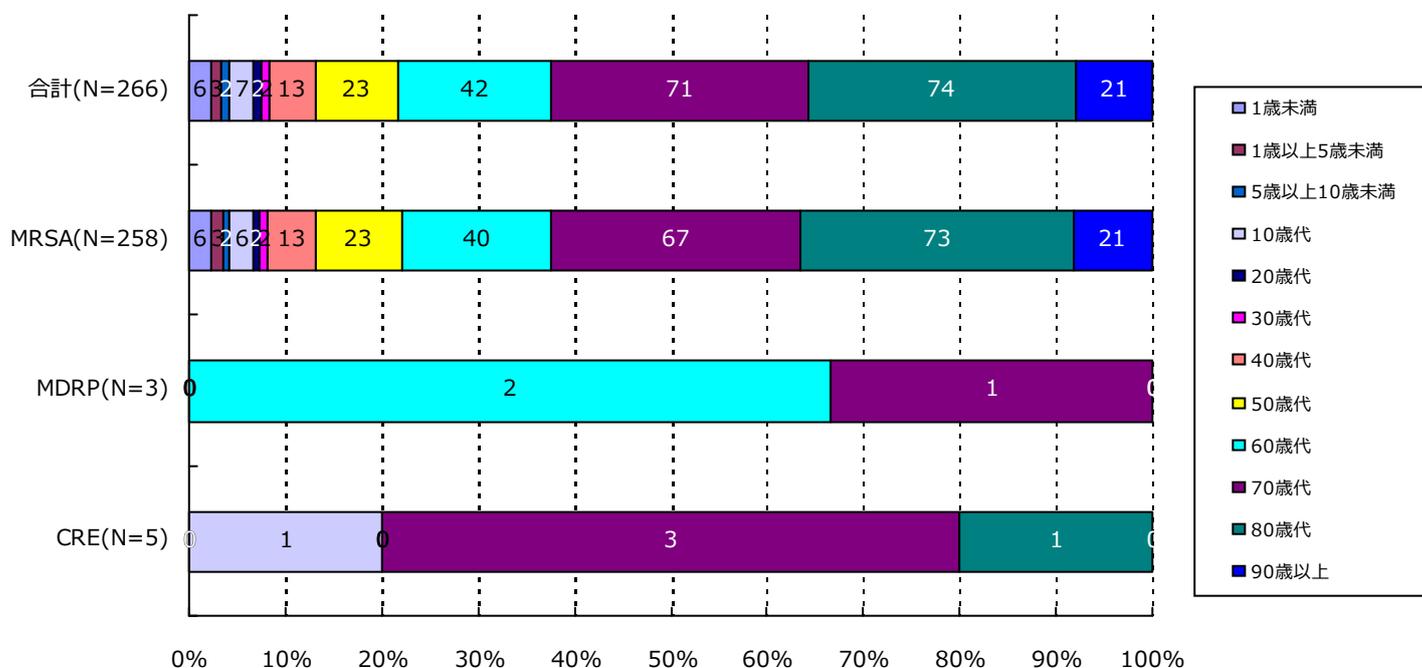
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



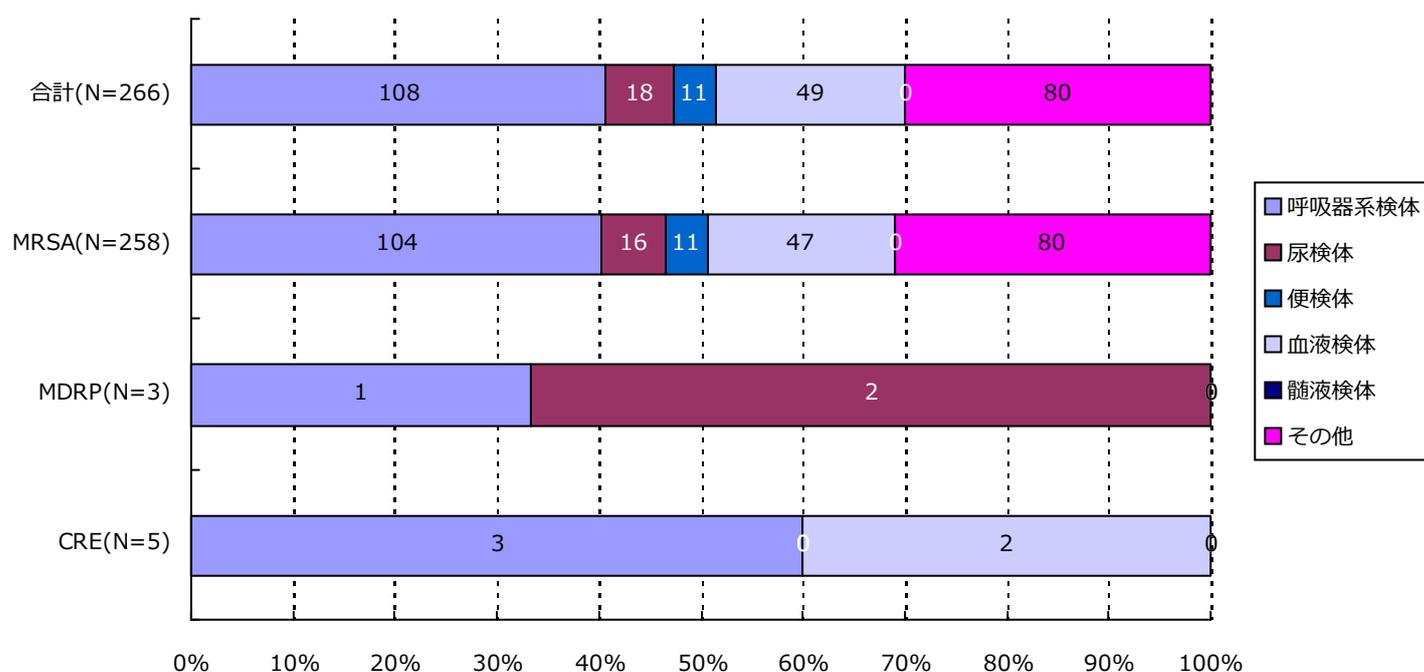
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	179 (67.3%)	173 (67.1%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (66.7%)	0 (-)	4 (80.0%)
女	87 (32.7%)	85 (32.9%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (33.3%)	0 (-)	1 (20.0%)
合計	266	258	0	0	0	3	0	5

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	6(2.3%)	6(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	3(1.1%)	3(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	2(0.8%)	2(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	7(2.6%)	6(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
20歳代	2(0.8%)	2(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	2(0.8%)	2(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	13(4.9%)	13(5.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	23(8.6%)	23(8.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	42(15.8%)	40(15.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(66.7%)	0(-)	0(-)
70歳代	71(26.7%)	67(26.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	3(60.0%)
80歳代	74(27.8%)	73(28.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
90歳以上	21(7.9%)	21(8.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	266	258	0	0	0	3	0	5

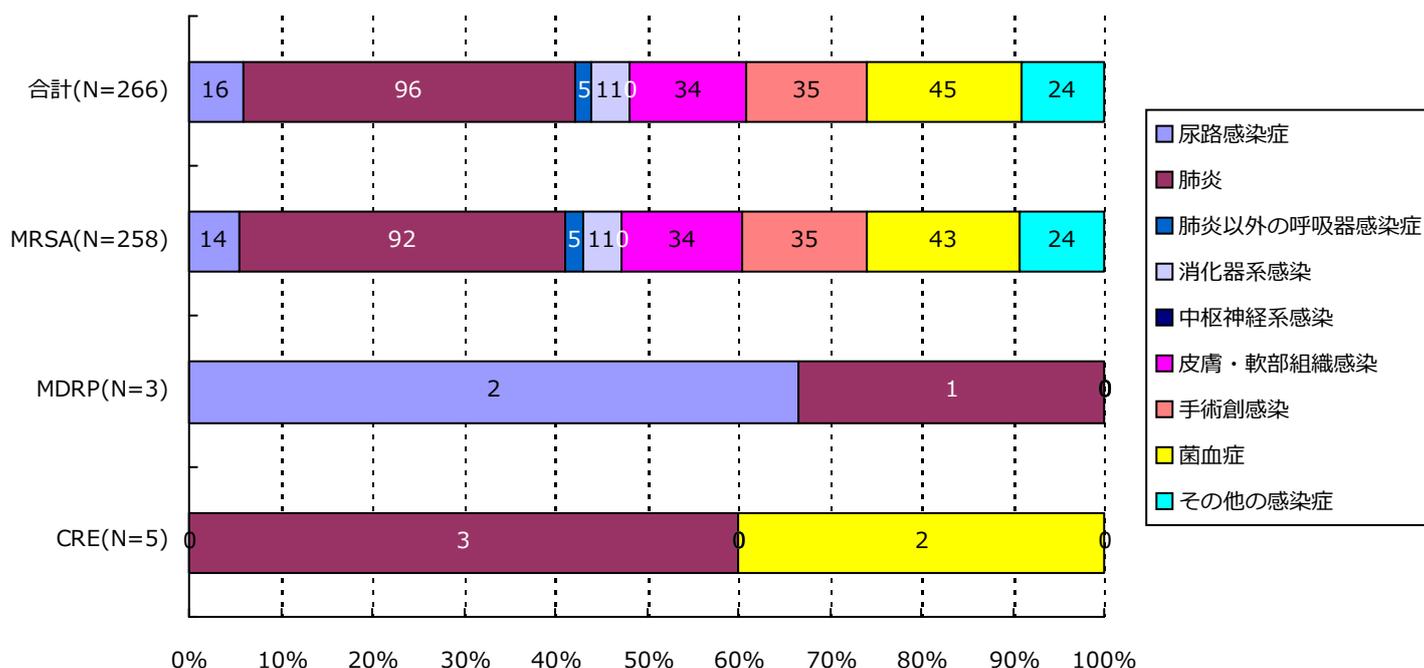
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	108(40.6%)	104(40.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	3(60.0%)
尿検体	18(6.8%)	16(6.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(66.7%)	0(-)	0(-)
便検体	11(4.1%)	11(4.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	49(18.4%)	47(18.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(40.0%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	80(30.1%)	80(31.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	266	258	0	0	0	3	0	5

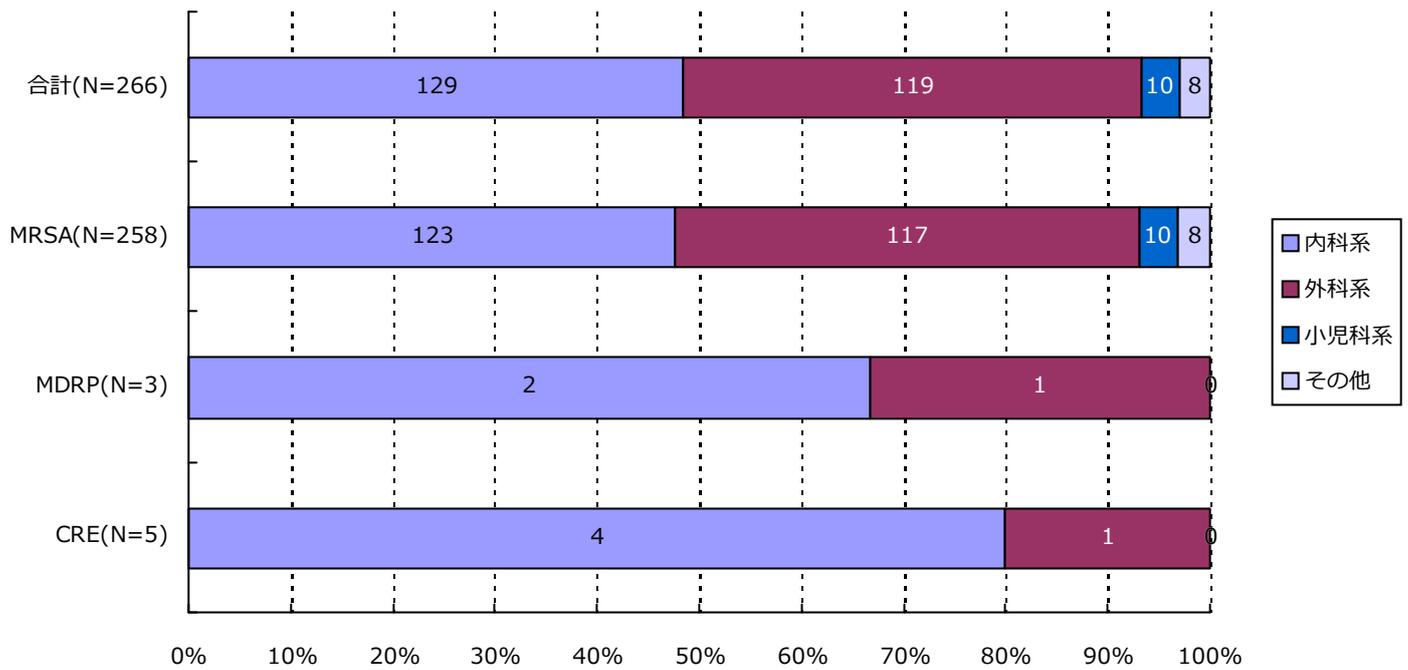
*検体区分については巻末の資料1を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	16(6.0%)	14(5.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(66.7%)	0(-)	0(-)
肺炎	96(36.1%)	92(35.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	3(60.0%)
肺炎以外	5(1.9%)	5(1.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	11(4.1%)	11(4.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	34(12.8%)	34(13.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	35(13.2%)	35(13.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	45(16.9%)	43(16.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(40.0%)
その他	24(9.0%)	24(9.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	266	258	0	0	0	3	0	5

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	129(48.5%)	123(47.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(66.7%)	0(-)	4(80.0%)
外科系	119(44.7%)	117(45.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	1(20.0%)
小児科系	10(3.8%)	10(3.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	8(3.0%)	8(3.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	266	258	0	0	0	3	0	5

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科		
	循環器内科		消化器外科		
	神経内科		肛門科		
	呼吸器内科		肝胆脾外科		
	消化器内科		心臓血管外科		
	胃腸科		内分泌外科		
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科		
	腎臓内科		小児外科		
	糖尿病内科		小児循環器外科		
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科		
	膠原病内科		産婦人科		
	アレルギー内科		産科		
	リウマチ内科		婦人科		
	血液内科		整形外科		
	感染症内科		美容外科		
	老人内科		眼科		
	心療内科		耳鼻咽喉科		
	その他		性病科	気管食道科	泌尿器科
			神経科	泌尿器科	皮膚・泌尿器科
			精神科	皮膚科	皮膚科
放射線科		脳神経外科	脳神経外科		
総合診療部		形成外科	形成外科		
救急部		歯科口腔外科	歯科口腔外科		
救急・集中治療部		歯科	歯科		
集中治療部(ICU)		小児歯科	小児歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		矯正歯科	矯正歯科		
内視鏡科		口腔外科	口腔外科		
透析科		手術部	手術部		
理学療法・リハビリテーション科		移植・人工臓器科	移植・人工臓器科		
理学療法科		小児科系	小児科		
リハビリテーション科			新生児科		
麻酔科			新生児集中治療部(NICU)		
その他			周産期センター		

資料3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

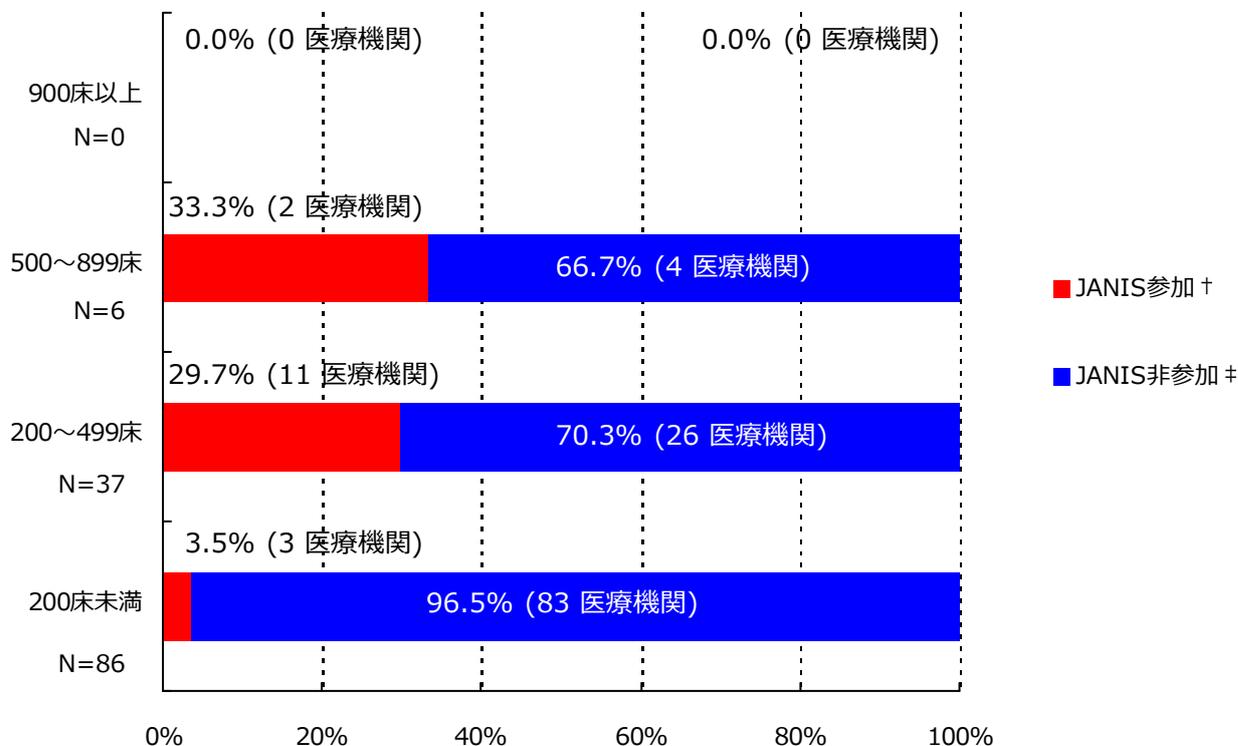
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で "R")、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 [†] ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml [†]	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 [†] 、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml [†]	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で "S 以外" (例 \leq 23mm) [‡]
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml [†] AMK \geq 32 μ g/ml [†] NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm [†] AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml [†] LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 [†] ・ IPM が耐性 [†] 、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml [†] IPM \geq 2 μ g/ml [†] かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

[†] 感染症発生动向調査の基準に準拠

[‡] PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(16医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2015年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2014年 都道府県別医療機関数¶) - (2015年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2014年 都道府県別医療機関数¶	2015年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	6	2 (33.3%)
200～499床	37	11 (29.7%)
200床未満	86	3 (3.5%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	129	16 (12.4%)

¶平成26年医療施設（動態）調査を参照した。

(群馬県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

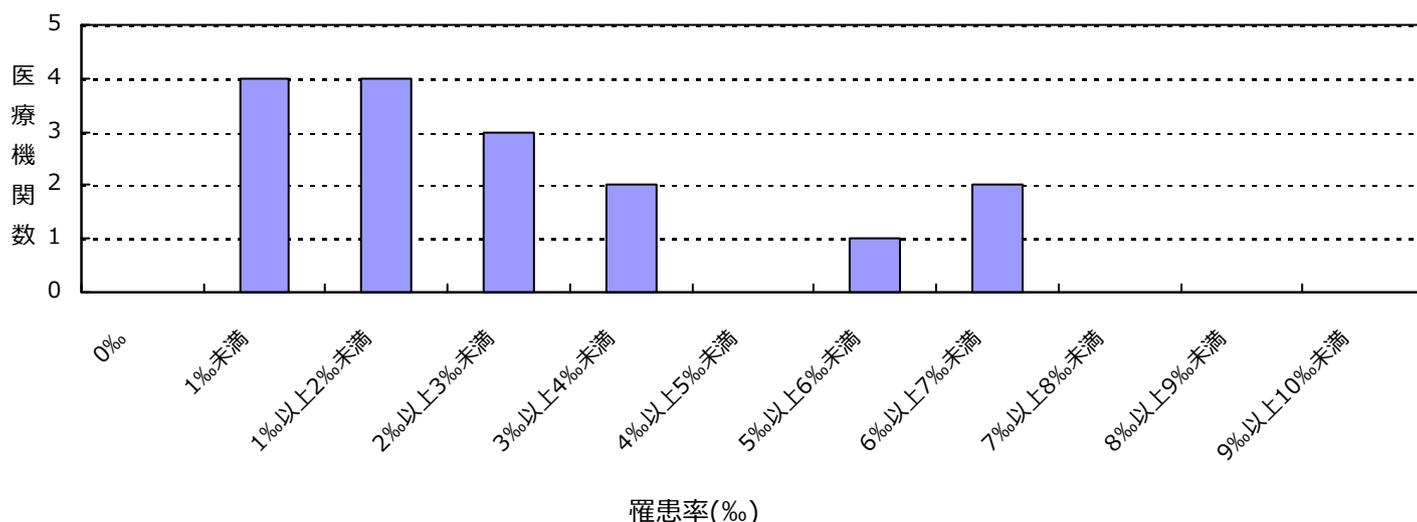


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	110,253	2	267	2.42%	0.56 1.89 6.95

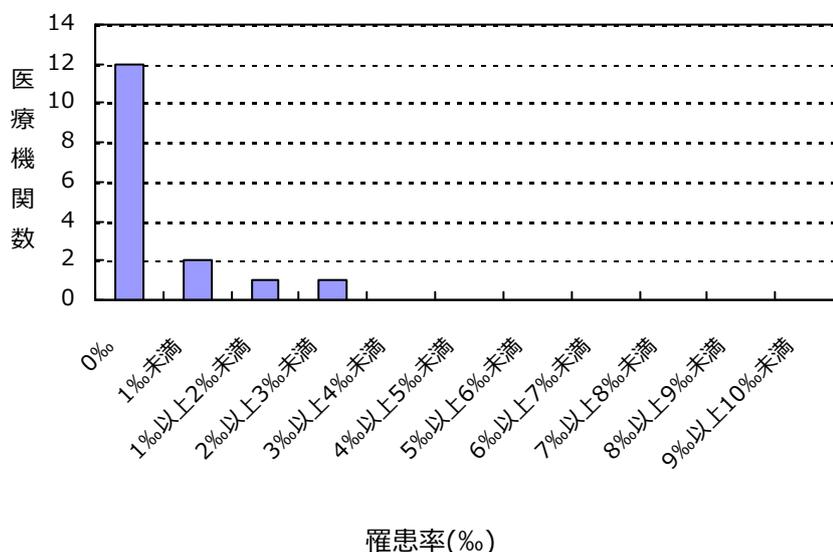
集計対象医療機関の罹患率(N=16)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	110,253	0	36	0.33%	0.00 0.00 2.17

集計対象医療機関の罹患率(N=16)



(群馬県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

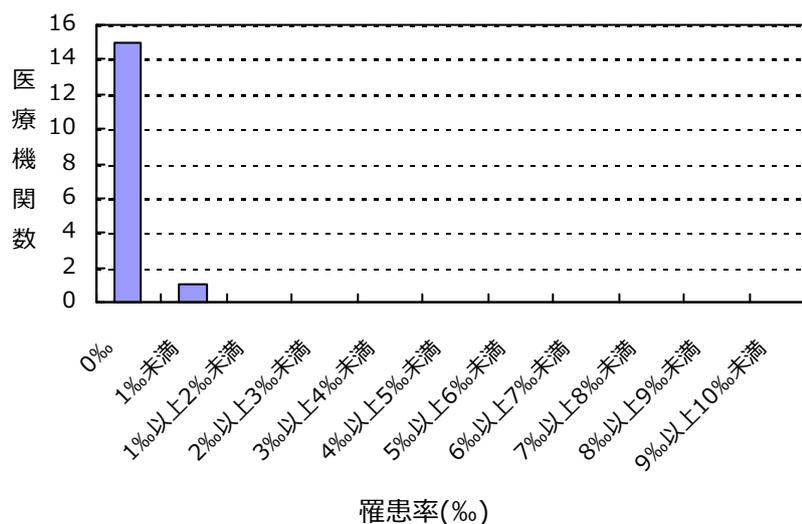


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	110,253	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.11

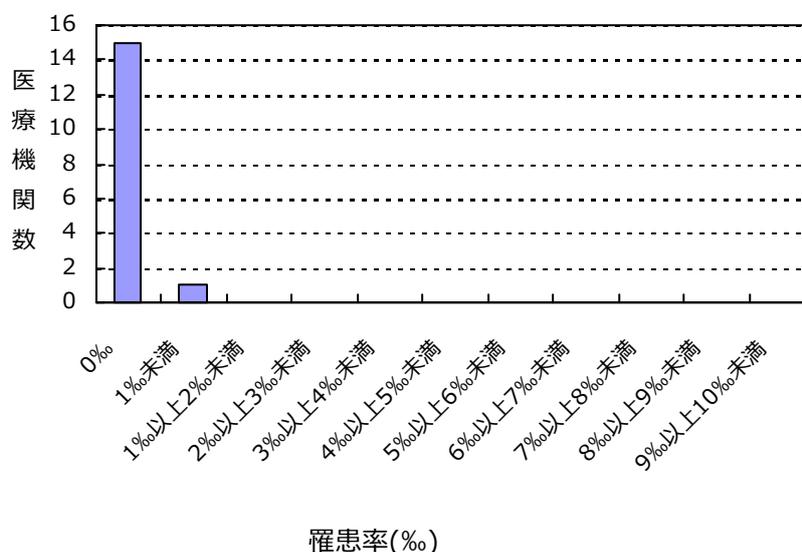
集計対象医療機関の罹患率(N=16)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	110,253	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.41

集計対象医療機関の罹患率(N=16)



(群馬県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

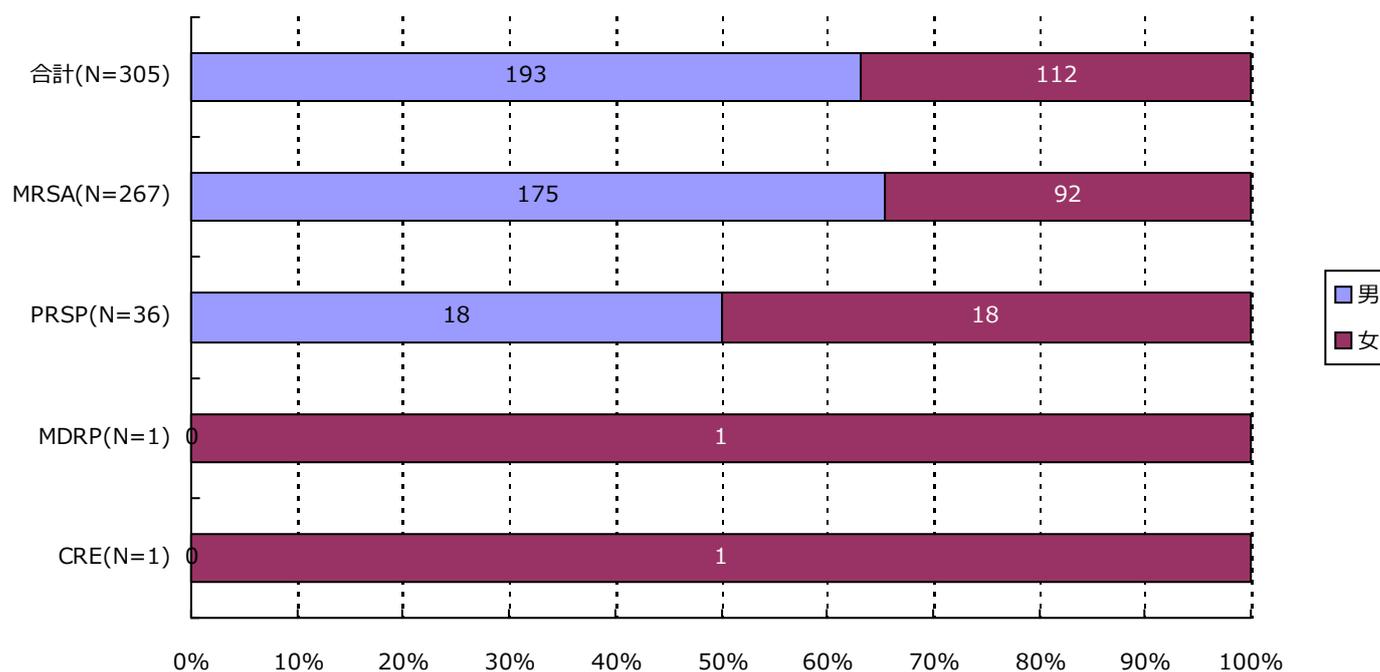
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

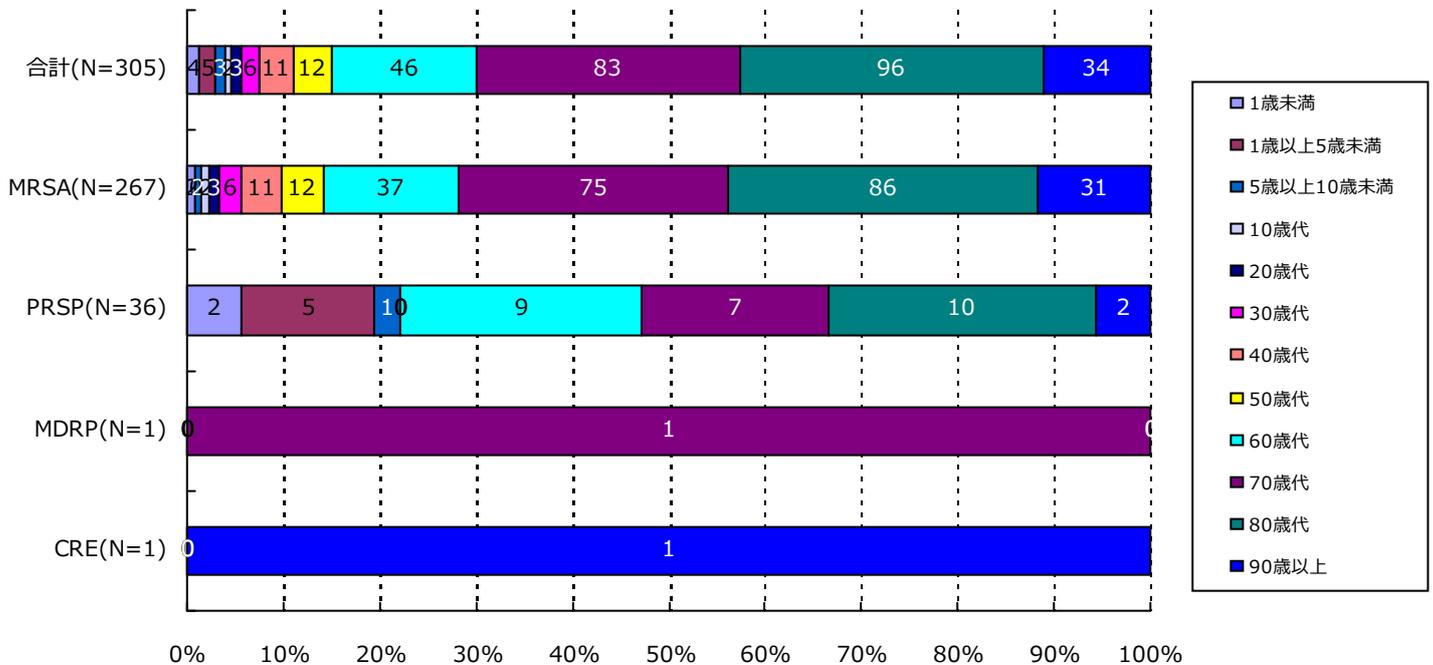
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	193 (63.3%)	175 (65.5%)	0 (-)	0 (-)	18 (50.0%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
女	112 (36.7%)	92 (34.5%)	0 (-)	0 (-)	18 (50.0%)	1 (100.0%)	0 (-)	1 (100.0%)
合計	305	267	0	0	36	1	0	1

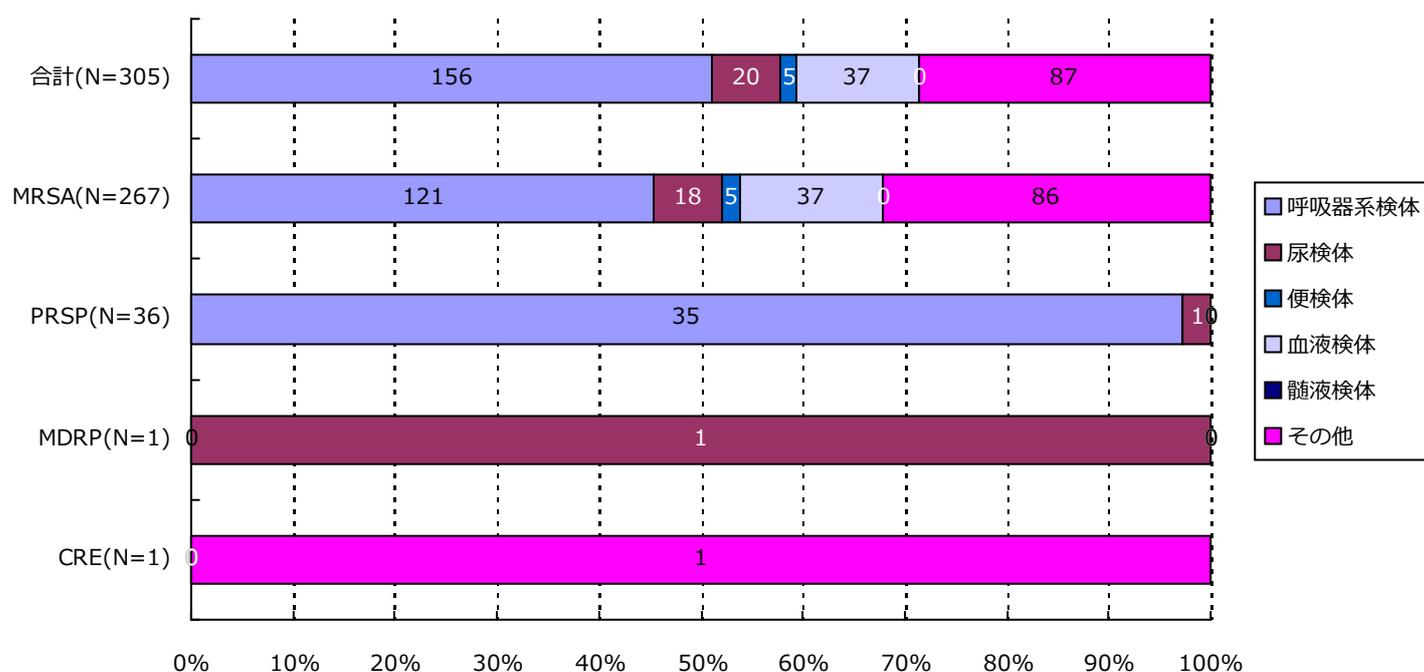


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	4(1.3%)	2(0.7%)	0(-)	0(-)	2(5.6%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	5(1.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	5(13.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	3(1.0%)	2(0.7%)	0(-)	0(-)	1(2.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	2(0.7%)	2(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	3(1.0%)	3(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	6(2.0%)	6(2.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	11(3.6%)	11(4.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	12(3.9%)	12(4.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	46(15.1%)	37(13.9%)	0(-)	0(-)	9(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	83(27.2%)	75(28.1%)	0(-)	0(-)	7(19.4%)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
80歳代	96(31.5%)	86(32.2%)	0(-)	0(-)	10(27.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
90歳以上	34(11.1%)	31(11.6%)	0(-)	0(-)	2(5.6%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
合計	305	267	0	0	36	1	0	1

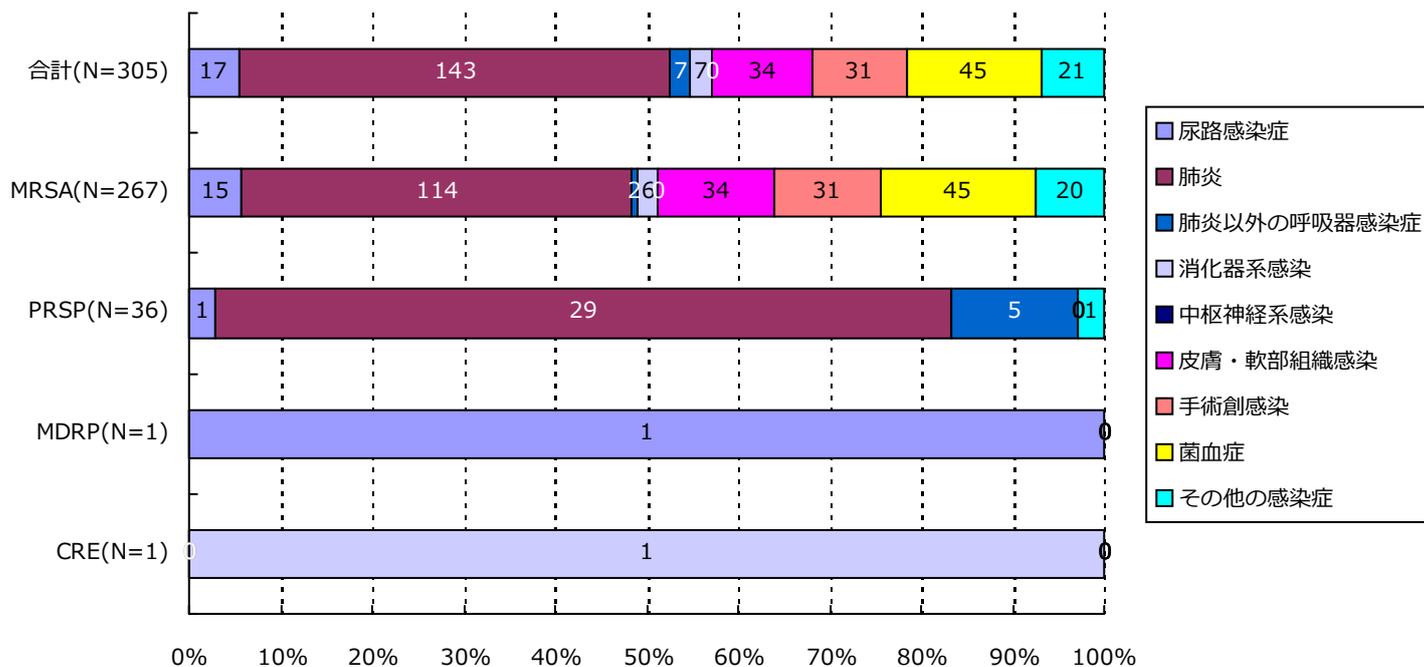
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	156(51.1%)	121(45.3%)	0(-)	0(-)	35(97.2%)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	20(6.6%)	18(6.7%)	0(-)	0(-)	1(2.8%)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
便検体	5(1.6%)	5(1.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	37(12.1%)	37(13.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	87(28.5%)	86(32.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
合計	305	267	0	0	36	1	0	1

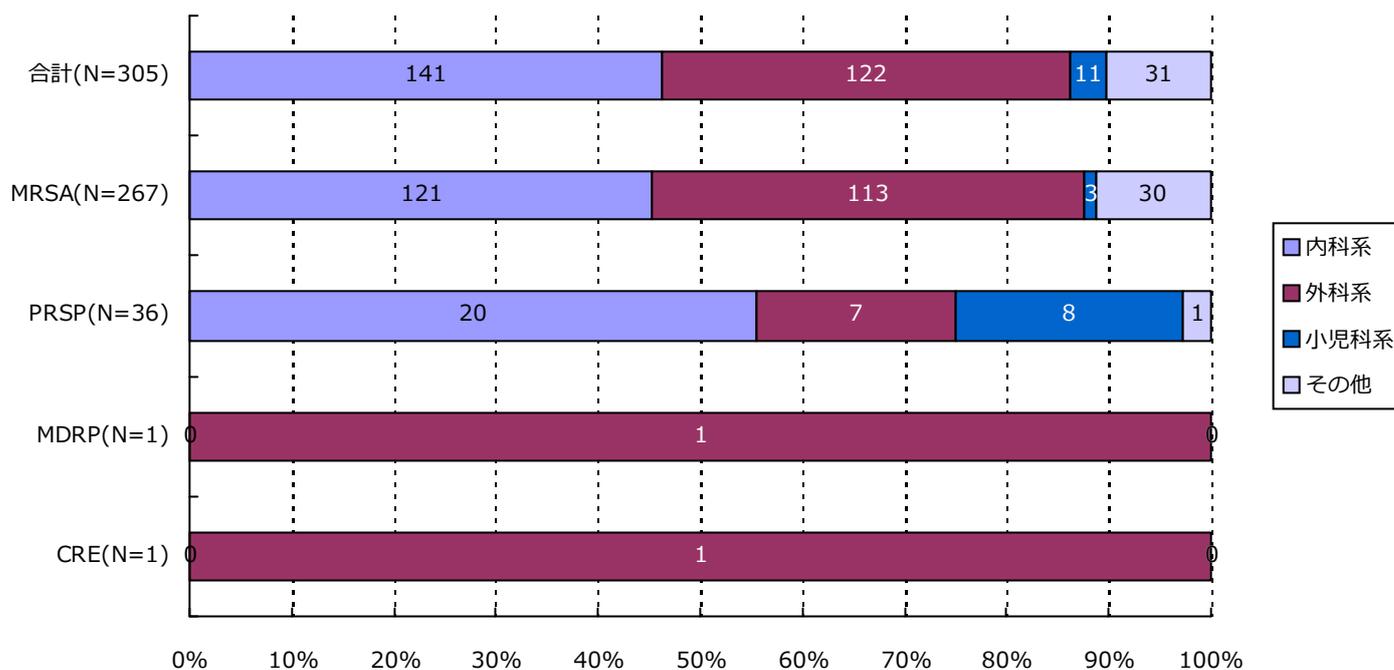
*検体区分については巻末の資料1を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	17(5.6%)	15(5.6%)	0(-)	0(-)	1(2.8%)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
肺炎	143(46.9%)	114(42.7%)	0(-)	0(-)	29(80.6%)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	7(2.3%)	2(0.7%)	0(-)	0(-)	5(13.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	7(2.3%)	6(2.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	34(11.1%)	34(12.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	31(10.2%)	31(11.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	45(14.8%)	45(16.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	21(6.9%)	20(7.5%)	0(-)	0(-)	1(2.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	305	267	0	0	36	1	0	1

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	141(46.2%)	121(45.3%)	0(-)	0(-)	20(55.6%)	0(-)	0(-)	0(-)
外科系	122(40.0%)	113(42.3%)	0(-)	0(-)	7(19.4%)	1(100.0%)	0(-)	1(100.0%)
小児科系	11(3.6%)	3(1.1%)	0(-)	0(-)	8(22.2%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	31(10.2%)	30(11.2%)	0(-)	0(-)	1(2.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	305	267	0	0	36	1	0	1

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科	
	循環器内科		消化器外科	
	神経内科		肛門科	
	呼吸器内科		肝胆脾外科	
	消化器内科		心臓血管外科	
	胃腸科		内分泌外科	
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科	
	腎臓内科		小児外科	
	糖尿病内科		小児循環器外科	
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科	
	膠原病内科		産婦人科	
	アレルギー内科		産科	
	リウマチ内科		婦人科	
	血液内科		整形外科	
	感染症内科		美容外科	
	老人内科		眼科	
	心療内科		耳鼻咽喉科	
	その他		性病科	気管食道科
			神経科	泌尿器科
			精神科	皮膚・泌尿器科
放射線科		皮膚科		
総合診療部		脳神経外科		
救急部		形成外科		
救急・集中治療部		歯科口腔外科		
集中治療部(ICU)		歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科		
内視鏡科		矯正歯科		
透析科		口腔外科		
理学療法・リハビリテーション科		手術部		
理学療法科		移植・人工臓器科		
リハビリテーション科		小児科系	小児科	
麻酔科			新生児科	
その他	新生児集中治療部(NICU)			
	周産期センター			

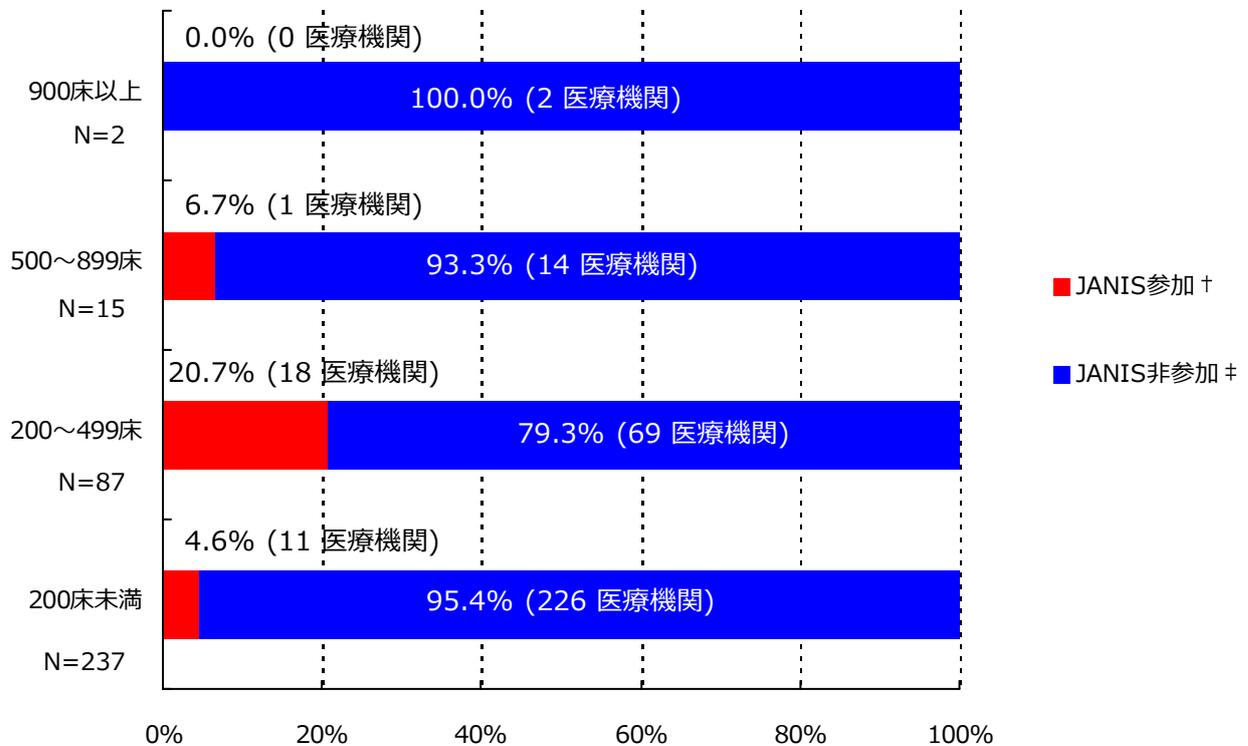
資料3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で "R")、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 [†] ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml [†]	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 [†] 、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml [†]	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で "S 以外" (例 \leq 23mm) [‡]
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml [†] AMK \geq 32 μ g/ml [†] NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm [†] AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml [†] LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 [†] ・ IPM が耐性 [†] 、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml [†] IPM \geq 2 μ g/ml [†] かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

[†] 感染症発生动向調査の基準に準拠[‡] PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(30医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2015年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2014年 都道府県別医療機関数¶) - (2015年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2014年 都道府県別医療機関数¶	2015年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	0 (0.0%)
500～899床	15	1 (6.7%)
200～499床	87	18 (20.7%)
200床未満	237	11 (4.6%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	341	30 (8.8%)

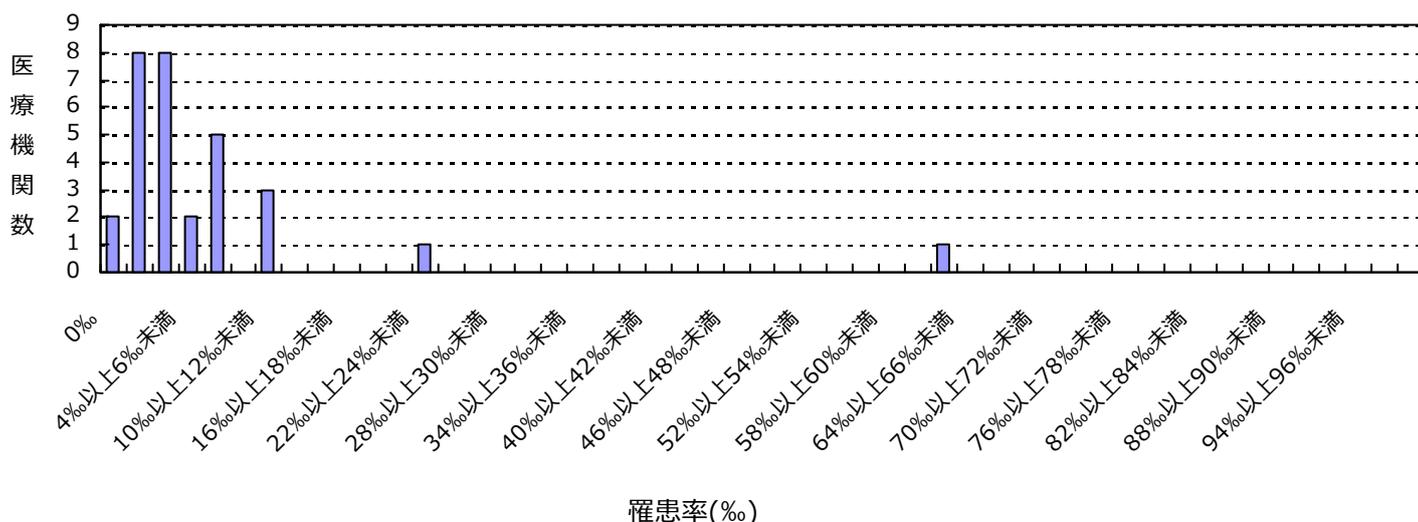
¶平成26年医療施設（動態）調査を参照した。

2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	138,864	11	459	3.31%	0.00 2.63 63.93

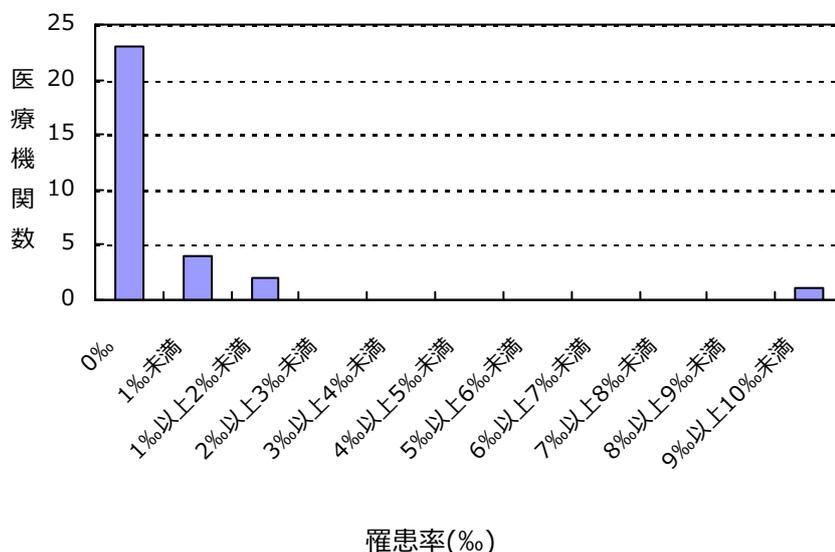
集計対象医療機関の罹患率(N=30)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	138,864	0	52	0.37%	0.00 0.00 9.13

集計対象医療機関の罹患率(N=30)



(埼玉県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

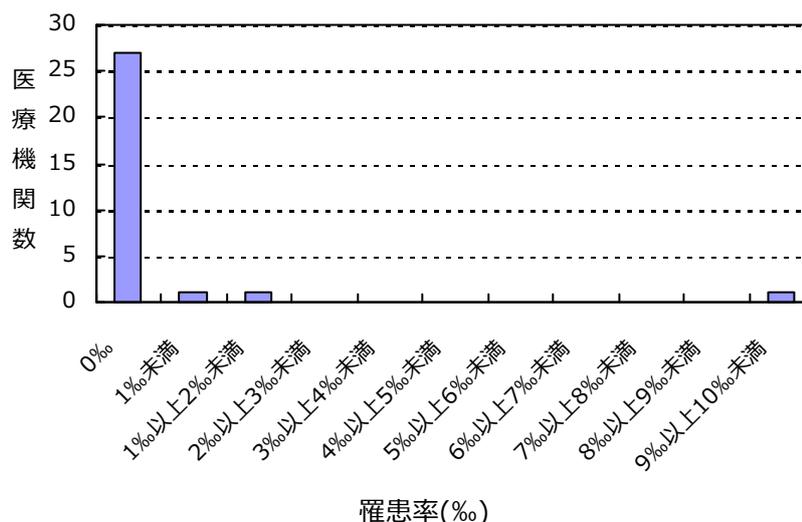


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	138,864	1	4	0.03%	0.00 0.00 9.13

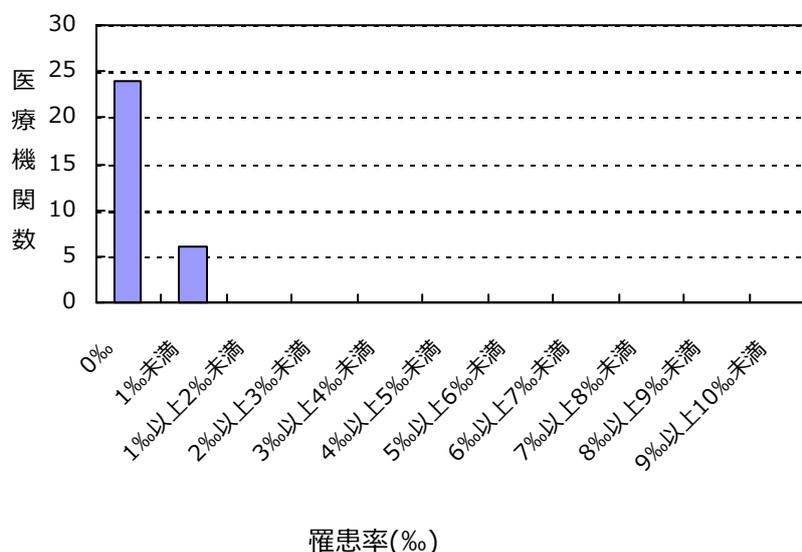
集計対象医療機関の罹患率(N=30)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	138,864	0	11	0.08%	0.00 0.00 0.93

集計対象医療機関の罹患率(N=30)



(埼玉県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

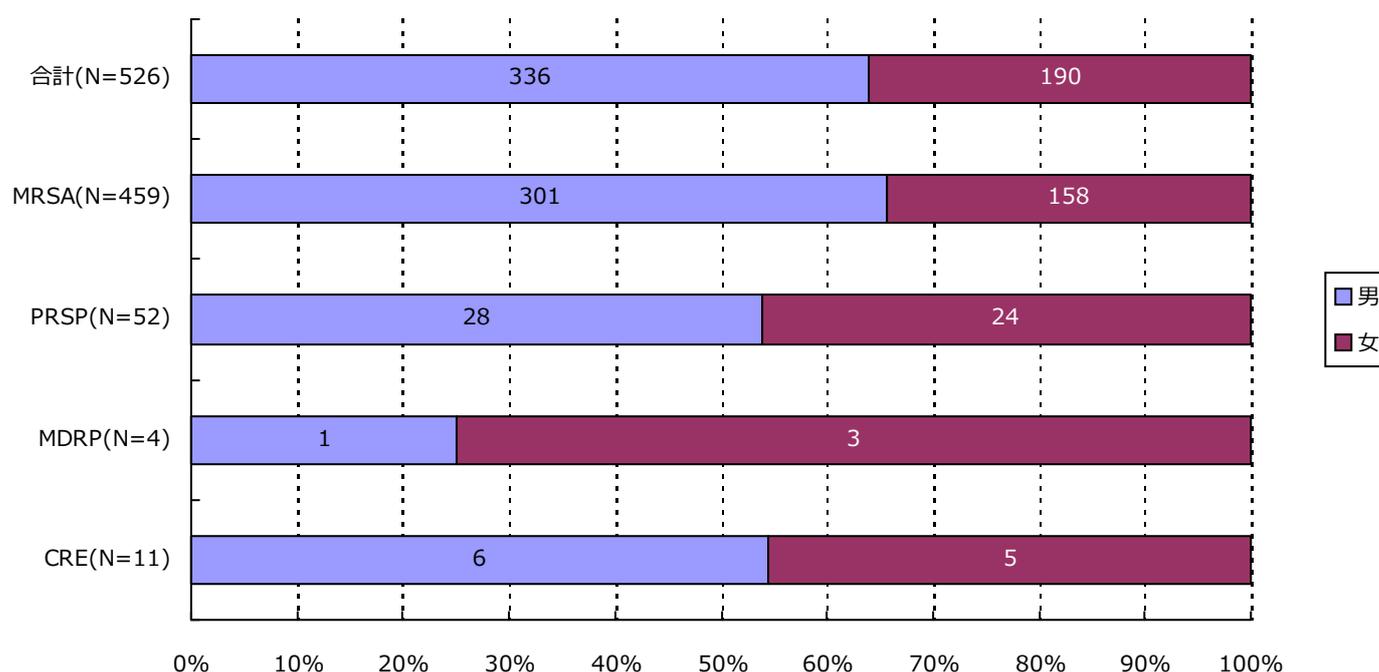
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

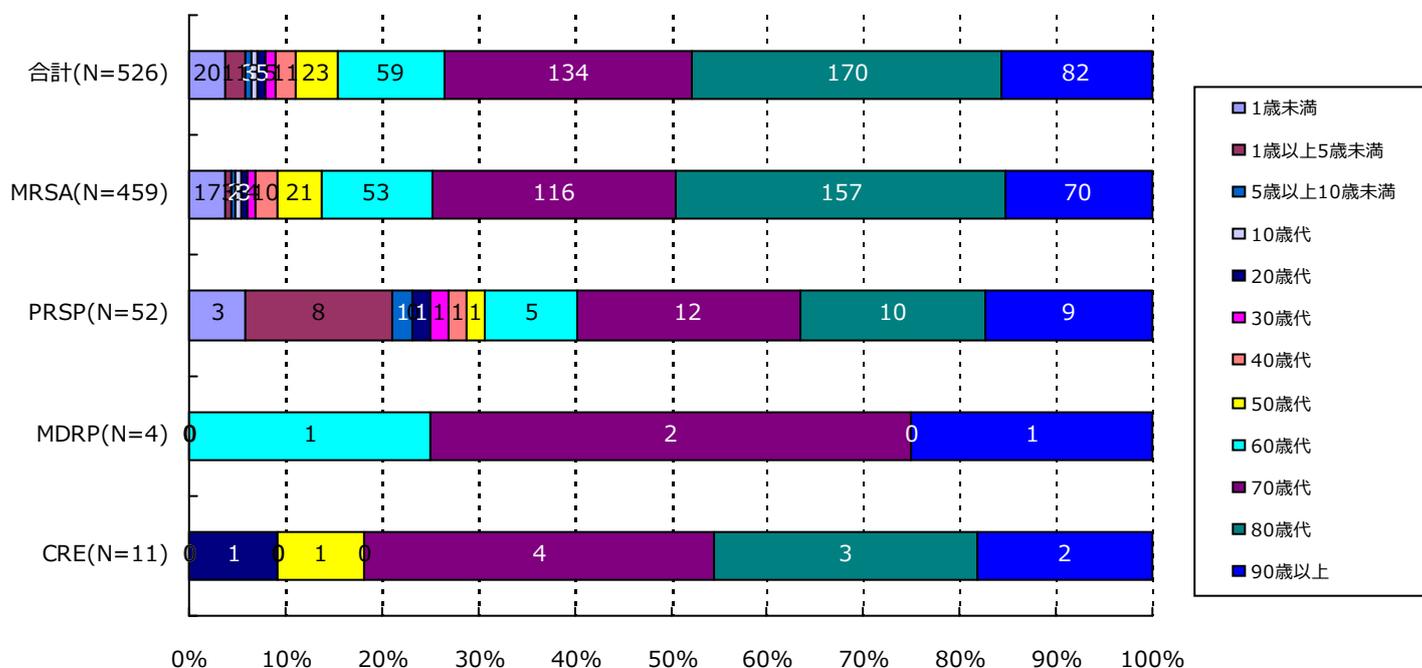
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



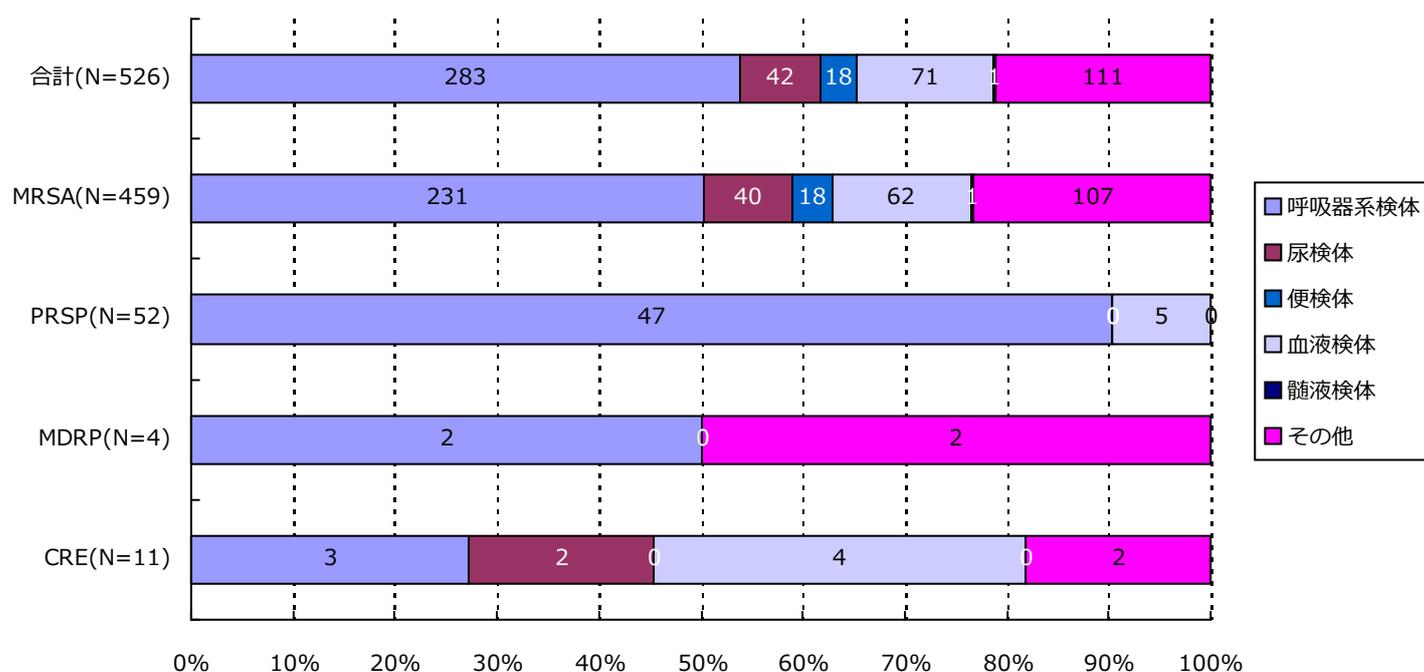
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	336 (63.9%)	301 (65.6%)	0 (-)	0 (-)	28 (53.8%)	1 (25.0%)	0 (-)	6 (54.5%)
女	190 (36.1%)	158 (34.4%)	0 (-)	0 (-)	24 (46.2%)	3 (75.0%)	0 (-)	5 (45.5%)
合計	526	459	0	0	52	4	0	11

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	20(3.8%)	17(3.7%)	0(-)	0(-)	3(5.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	11(2.1%)	3(0.7%)	0(-)	0(-)	8(15.4%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	3(0.6%)	2(0.4%)	0(-)	0(-)	1(1.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	3(0.6%)	3(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	5(1.0%)	3(0.7%)	0(-)	0(-)	1(1.9%)	0(-)	0(-)	1(9.1%)
30歳代	5(1.0%)	4(0.9%)	0(-)	0(-)	1(1.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	11(2.1%)	10(2.2%)	0(-)	0(-)	1(1.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	23(4.4%)	21(4.6%)	0(-)	0(-)	1(1.9%)	0(-)	0(-)	1(9.1%)
60歳代	59(11.2%)	53(11.5%)	0(-)	0(-)	5(9.6%)	1(25.0%)	0(-)	0(-)
70歳代	134(25.5%)	116(25.3%)	0(-)	0(-)	12(23.1%)	2(50.0%)	0(-)	4(36.4%)
80歳代	170(32.3%)	157(34.2%)	0(-)	0(-)	10(19.2%)	0(-)	0(-)	3(27.3%)
90歳以上	82(15.6%)	70(15.3%)	0(-)	0(-)	9(17.3%)	1(25.0%)	0(-)	2(18.2%)
合計	526	459	0	0	52	4	0	11

5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	283(53.8%)	231(50.3%)	0(-)	0(-)	47(90.4%)	2(50.0%)	0(-)	3(27.3%)
尿検体	42(8.0%)	40(8.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(18.2%)
便検体	18(3.4%)	18(3.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	71(13.5%)	62(13.5%)	0(-)	0(-)	5(9.6%)	0(-)	0(-)	4(36.4%)
髄液検体	1(0.2%)	1(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	111(21.1%)	107(23.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(50.0%)	0(-)	2(18.2%)
合計	526	459	0	0	52	4	0	11

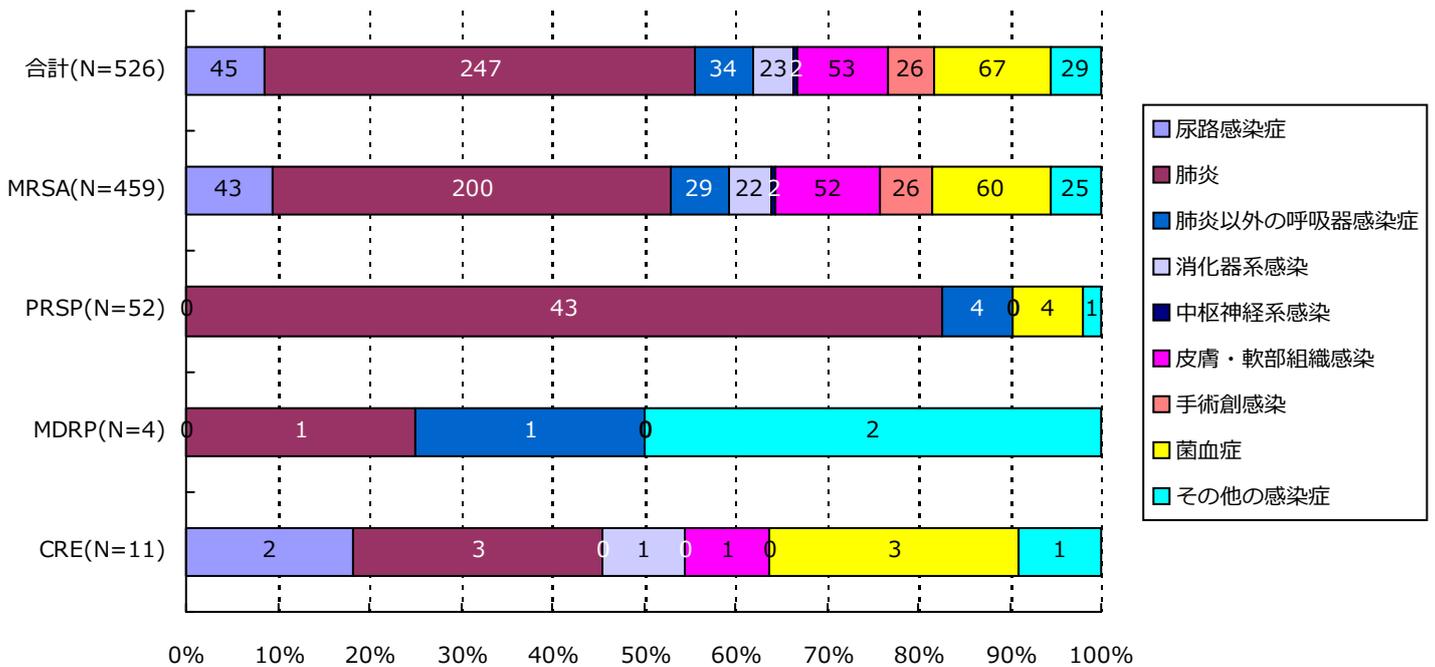
*検体区分については巻末の資料1を参照

(埼玉県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

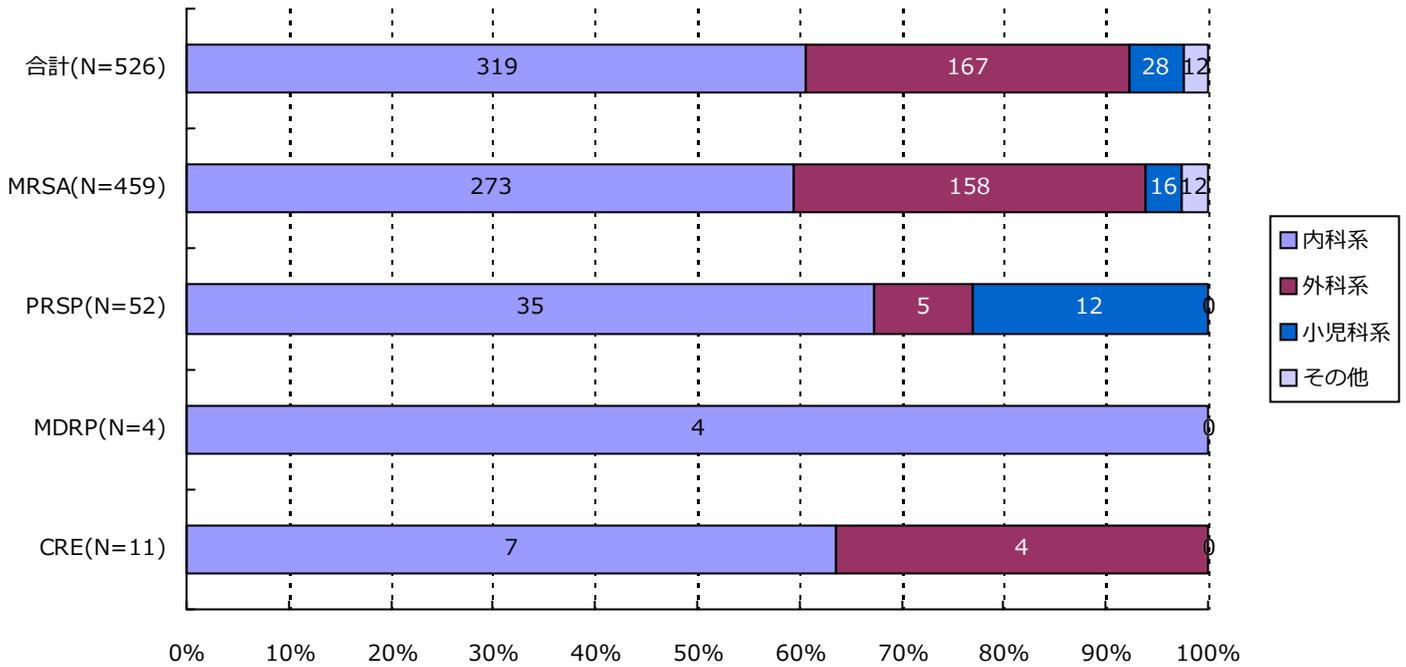
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	45(8.6%)	43(9.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(18.2%)
肺炎	247(47.0%)	200(43.6%)	0(-)	0(-)	43(82.7%)	1(25.0%)	0(-)	3(27.3%)
肺炎以外	34(6.5%)	29(6.3%)	0(-)	0(-)	4(7.7%)	1(25.0%)	0(-)	0(-)
消化器系	23(4.4%)	22(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(9.1%)
中枢神経系	2(0.4%)	2(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	53(10.1%)	52(11.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(9.1%)
手術創	26(4.9%)	26(5.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	67(12.7%)	60(13.1%)	0(-)	0(-)	4(7.7%)	0(-)	0(-)	3(27.3%)
その他	29(5.5%)	25(5.4%)	0(-)	0(-)	1(1.9%)	2(50.0%)	0(-)	1(9.1%)
合計	526	459	0	0	52	4	0	11

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	319(60.6%)	273(59.5%)	0(-)	0(-)	35(67.3%)	4(100.0%)	0(-)	7(63.6%)
外科系	167(31.7%)	158(34.4%)	0(-)	0(-)	5(9.6%)	0(-)	0(-)	4(36.4%)
小児科系	28(5.3%)	16(3.5%)	0(-)	0(-)	12(23.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	12(2.3%)	12(2.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	526	459	0	0	52	4	0	11

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科	
	循環器内科		消化器外科	
	神経内科		肛門科	
	呼吸器内科		肝胆脾外科	
	消化器内科		心臓血管外科	
	胃腸科		内分泌外科	
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科	
	腎臓内科		小児外科	
	糖尿病内科		小児循環器外科	
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科	
	膠原病内科		産婦人科	
	アレルギー内科		産科	
	リウマチ内科		婦人科	
	血液内科		整形外科	
	感染症内科		美容外科	
	老人内科		眼科	
	心療内科		耳鼻咽喉科	
	その他		性病科	気管食道科
			神経科	泌尿器科
			精神科	皮膚・泌尿器科
放射線科		皮膚科		
総合診療部		脳神経外科		
救急部		形成外科		
救急・集中治療部		歯科口腔外科		
集中治療部(ICU)		歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科		
内視鏡科		矯正歯科		
透析科		口腔外科		
理学療法・リハビリテーション科		手術部		
理学療法科		移植・人工臓器科		
リハビリテーション科		小児科系	小児科	
麻酔科			新生児科	
その他	新生児集中治療部(NICU)			
	周産期センター			

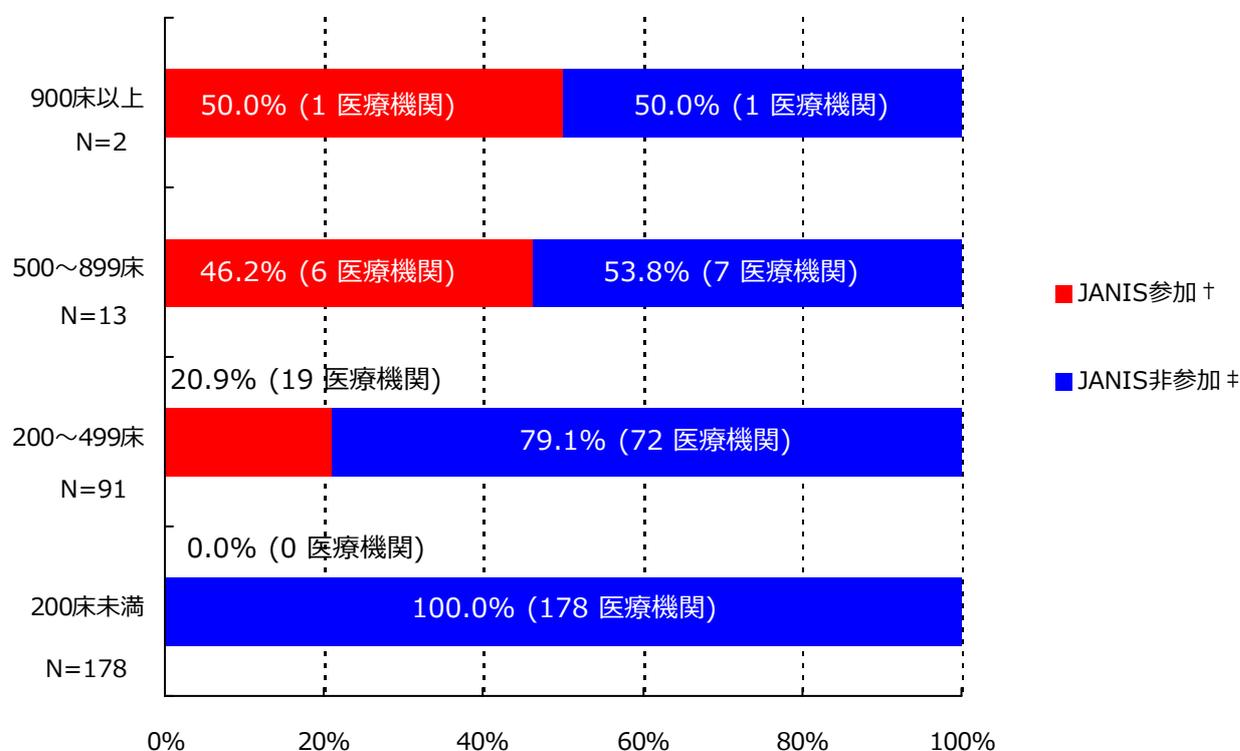
資料3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で "R")、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 [†] ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml [†]	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 [†] 、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml [†]	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で "S 以外" (例 \leq 23mm) [‡]
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml [†] AMK \geq 32 μ g/ml [†] NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm [†] AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml [†] LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 [†] ・ IPM が耐性 [†] 、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml [†] IPM \geq 2 μ g/ml [†] かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

[†] 感染症発生动向調査の基準に準拠[‡] PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(26医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2015年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2014年 都道府県別医療機関数¶) - (2015年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2014年 都道府県別医療機関数¶	2015年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	1 (50.0%)
500～899床	13	6 (46.2%)
200～499床	91	19 (20.9%)
200床未満	178	0 (0.0%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	284	26 (9.2%)

¶平成26年医療施設(動態)調査を参照した。

(千葉県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

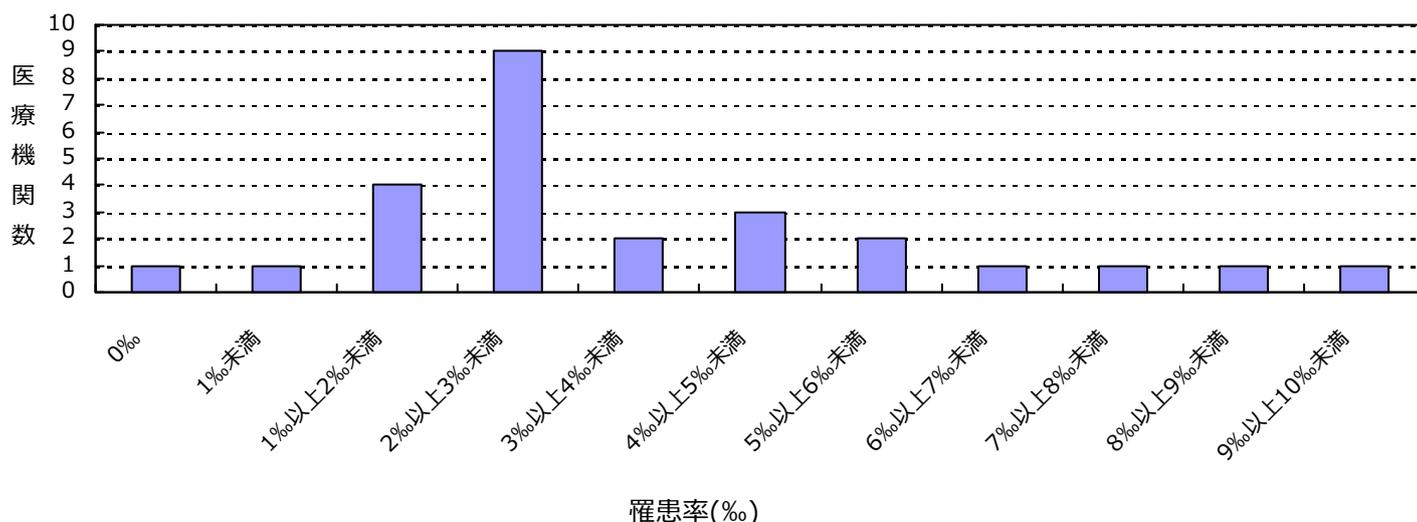


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	209,919	12	722	3.44%	0.00 2.77 9.64

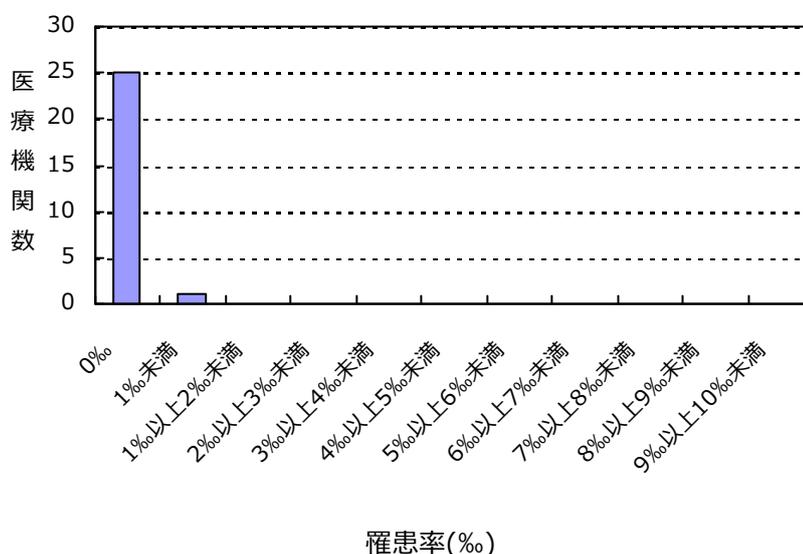
集計対象医療機関の罹患率(N=26)



バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
VRE	209,919	0	1	0.00%	0.00 0.00 0.11

集計対象医療機関の罹患率(N=26)



(千葉県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

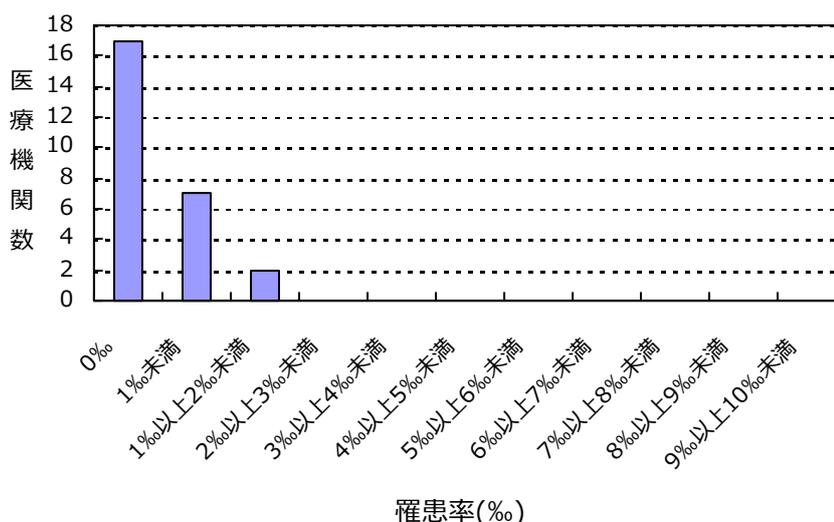


2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	209,919	0	42	0.20%	0.00 0.00 1.15

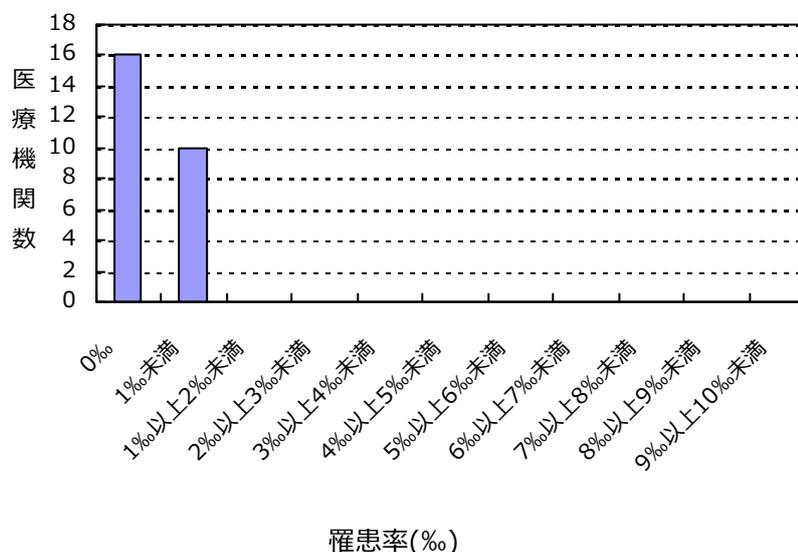
集計対象医療機関の罹患率(N=26)



多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	209,919	1	18	0.09%	0.00 0.00 0.59

集計対象医療機関の罹患率(N=26)



(千葉県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

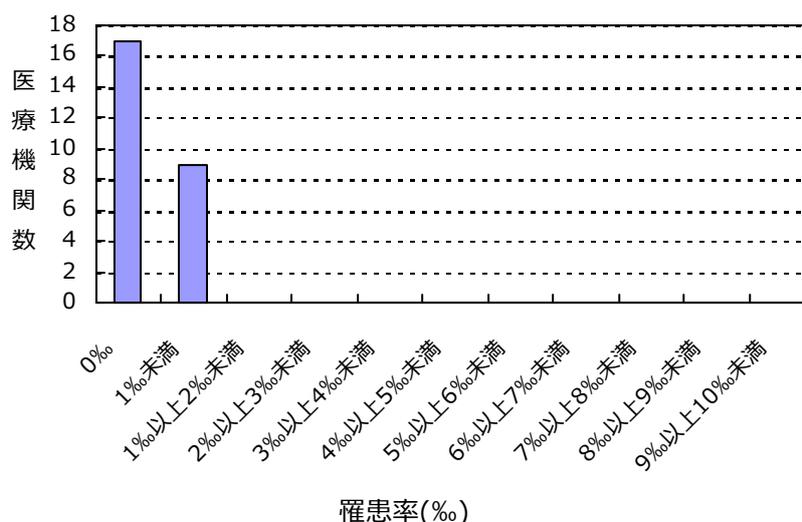


2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	209,919	0	25	0.12%	0.00 0.00 0.60

集計対象医療機関の罹患率(N=26)



(千葉県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

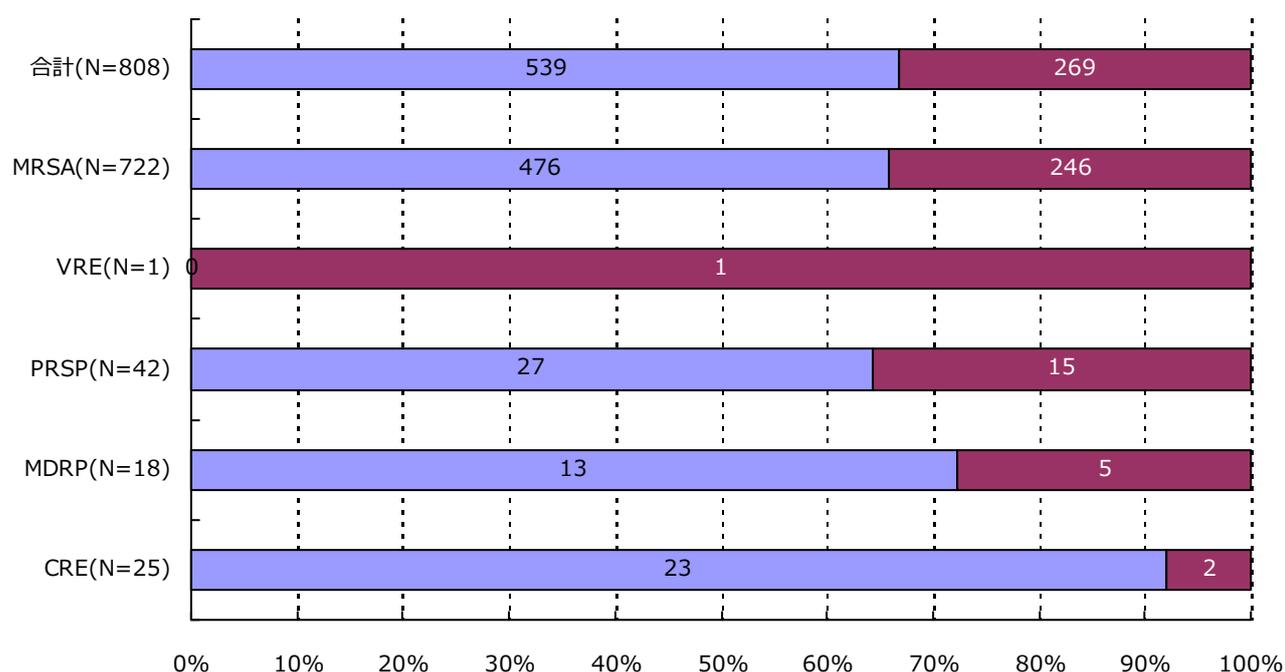
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	539 (66.7%)	476 (65.9%)	0 (-)	0 (-)	27 (64.3%)	13 (72.2%)	0 (-)	23 (92.0%)
女	269 (33.3%)	246 (34.1%)	0 (-)	1 (100.0%)	15 (35.7%)	5 (27.8%)	0 (-)	2 (8.0%)
合計	808	722	0	1	42	18	0	25

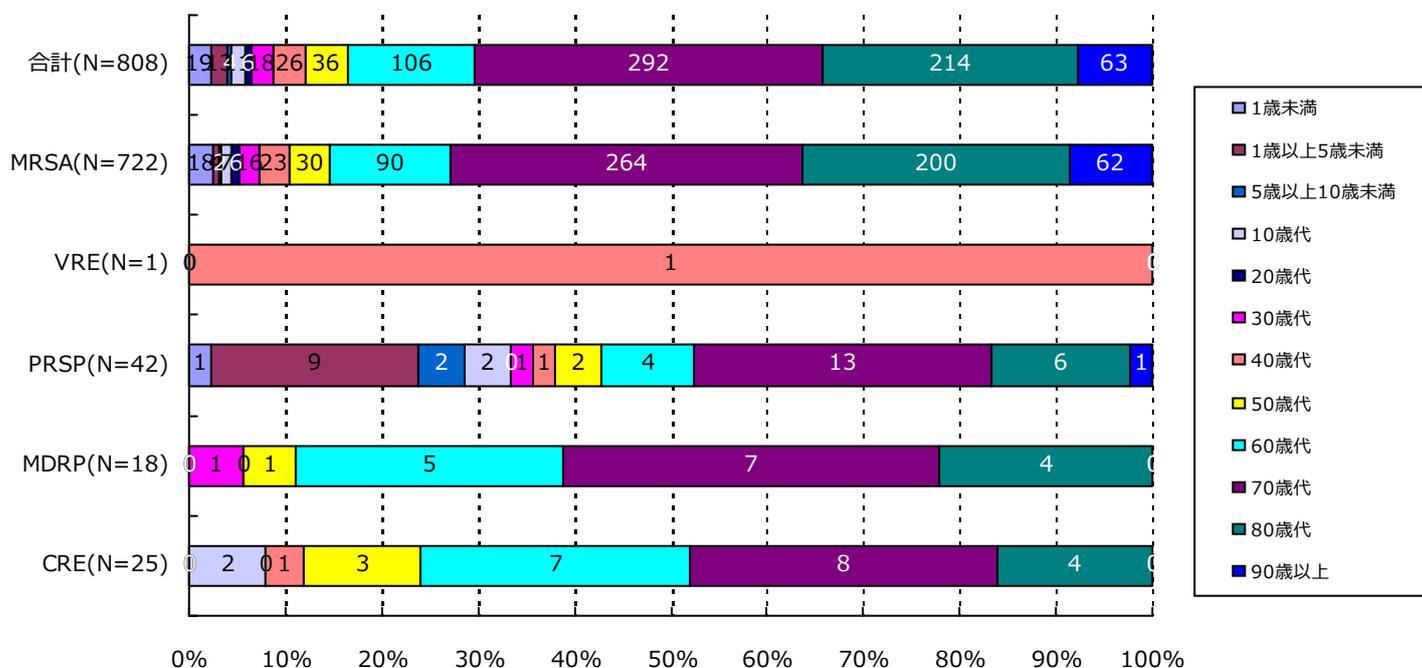
(千葉県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

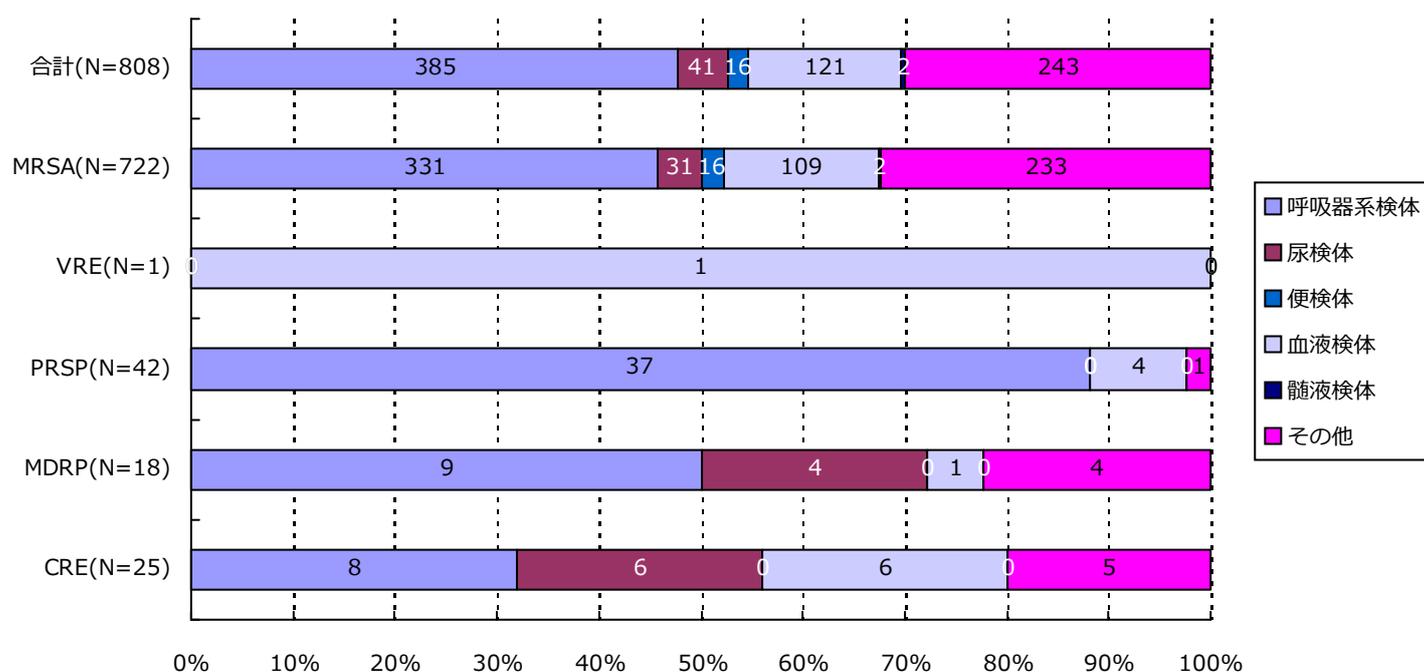


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	19(2.4%)	18(2.5%)	0(-)	0(-)	1(2.4%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	13(1.6%)	4(0.6%)	0(-)	0(-)	9(21.4%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	4(0.5%)	2(0.3%)	0(-)	0(-)	2(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	11(1.4%)	7(1.0%)	0(-)	0(-)	2(4.8%)	0(-)	0(-)	2(8.0%)
20歳代	6(0.7%)	6(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	18(2.2%)	16(2.2%)	0(-)	0(-)	1(2.4%)	1(5.6%)	0(-)	0(-)
40歳代	26(3.2%)	23(3.2%)	0(-)	1(100.0%)	1(2.4%)	0(-)	0(-)	1(4.0%)
50歳代	36(4.5%)	30(4.2%)	0(-)	0(-)	2(4.8%)	1(5.6%)	0(-)	3(12.0%)
60歳代	106(13.1%)	90(12.5%)	0(-)	0(-)	4(9.5%)	5(27.8%)	0(-)	7(28.0%)
70歳代	292(36.1%)	264(36.6%)	0(-)	0(-)	13(31.0%)	7(38.9%)	0(-)	8(32.0%)
80歳代	214(26.5%)	200(27.7%)	0(-)	0(-)	6(14.3%)	4(22.2%)	0(-)	4(16.0%)
90歳以上	63(7.8%)	62(8.6%)	0(-)	0(-)	1(2.4%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	808	722	0	1	42	18	0	25

5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	385(47.6%)	331(45.8%)	0(-)	0(-)	37(88.1%)	9(50.0%)	0(-)	8(32.0%)
尿検体	41(5.1%)	31(4.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	4(22.2%)	0(-)	6(24.0%)
便検体	16(2.0%)	16(2.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	121(15.0%)	109(15.1%)	0(-)	1(100.0%)	4(9.5%)	1(5.6%)	0(-)	6(24.0%)
髄液検体	2(0.2%)	2(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	243(30.1%)	233(32.3%)	0(-)	0(-)	1(2.4%)	4(22.2%)	0(-)	5(20.0%)
合計	808	722	0	1	42	18	0	25

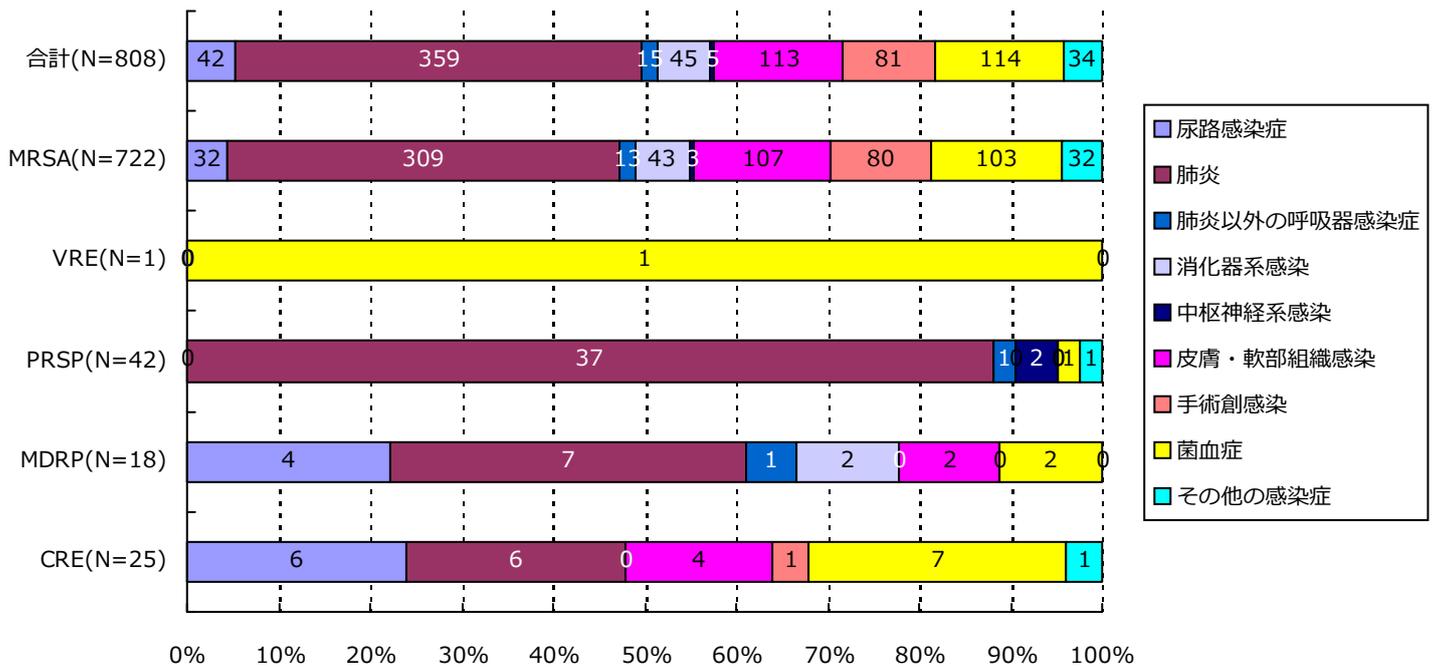
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

(千葉県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

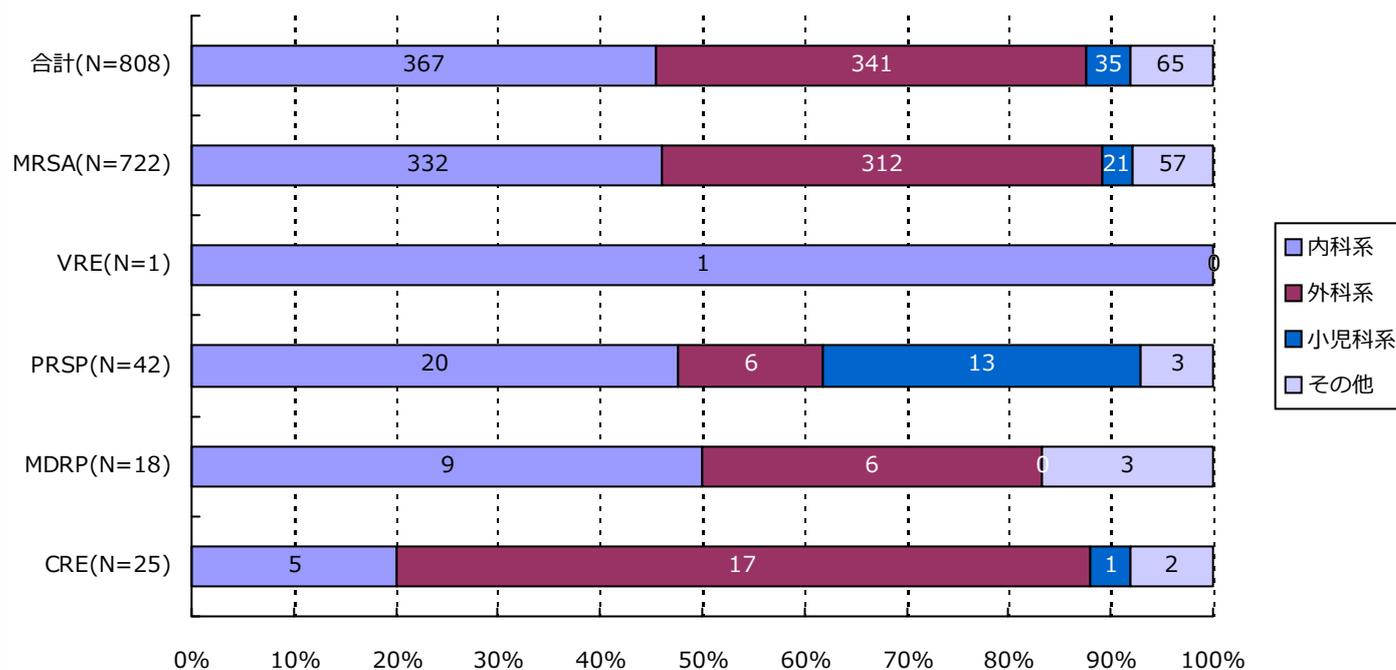
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	42(5.2%)	32(4.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	4(22.2%)	0(-)	6(24.0%)
肺炎	359(44.4%)	309(42.8%)	0(-)	0(-)	37(88.1%)	7(38.9%)	0(-)	6(24.0%)
肺炎以外	15(1.9%)	13(1.8%)	0(-)	0(-)	1(2.4%)	1(5.6%)	0(-)	0(-)
消化器系	45(5.6%)	43(6.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(11.1%)	0(-)	0(-)
中枢神経系	5(0.6%)	3(0.4%)	0(-)	0(-)	2(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	113(14.0%)	107(14.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(11.1%)	0(-)	4(16.0%)
手術創	81(10.0%)	80(11.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(4.0%)
菌血症	114(14.1%)	103(14.3%)	0(-)	1(100.0%)	1(2.4%)	2(11.1%)	0(-)	7(28.0%)
その他	34(4.2%)	32(4.4%)	0(-)	0(-)	1(2.4%)	0(-)	0(-)	1(4.0%)
合計	808	722	0	1	42	18	0	25

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	367(45.4%)	332(46.0%)	0(-)	1(100.0%)	20(47.6%)	9(50.0%)	0(-)	5(20.0%)
外科系	341(42.2%)	312(43.2%)	0(-)	0(-)	6(14.3%)	6(33.3%)	0(-)	17(68.0%)
小児科系	35(4.3%)	21(2.9%)	0(-)	0(-)	13(31.0%)	0(-)	0(-)	1(4.0%)
その他	65(8.0%)	57(7.9%)	0(-)	0(-)	3(7.1%)	3(16.7%)	0(-)	2(8.0%)
合計	808	722	0	1	42	18	0	25

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科		
	循環器内科		消化器外科		
	神経内科		肛門科		
	呼吸器内科		肝胆膵外科		
	消化器内科		心臓血管外科		
	胃腸科		内分泌外科		
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科		
	腎臓内科		小児外科		
	糖尿病内科		小児循環器外科		
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科		
	膠原病内科		産婦人科		
	アレルギー内科		産科		
	リウマチ内科		婦人科		
	血液内科		整形外科		
	感染症内科		美容外科		
	老人内科		眼科		
	心療内科		耳鼻咽喉科		
	その他		性病科	気管食道科	泌尿器科
			神経科	泌尿器科	皮膚・泌尿器科
			精神科	皮膚科	皮膚科
放射線科		脳神経外科	脳神経外科		
総合診療部		形成外科	形成外科		
救急部		歯科口腔外科	歯科口腔外科		
救急・集中治療部		歯科	歯科		
集中治療部(ICU)		小児歯科	小児歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		矯正歯科	矯正歯科		
内視鏡科		口腔外科	口腔外科		
透析科		手術部	手術部		
理学療法・リハビリテーション科		移植・人工臓器科	移植・人工臓器科		
理学療法科		小児科系	小児科		
リハビリテーション科			新生児科		
麻酔科			新生児集中治療部(NICU)		
その他			周産期センター		

資料3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

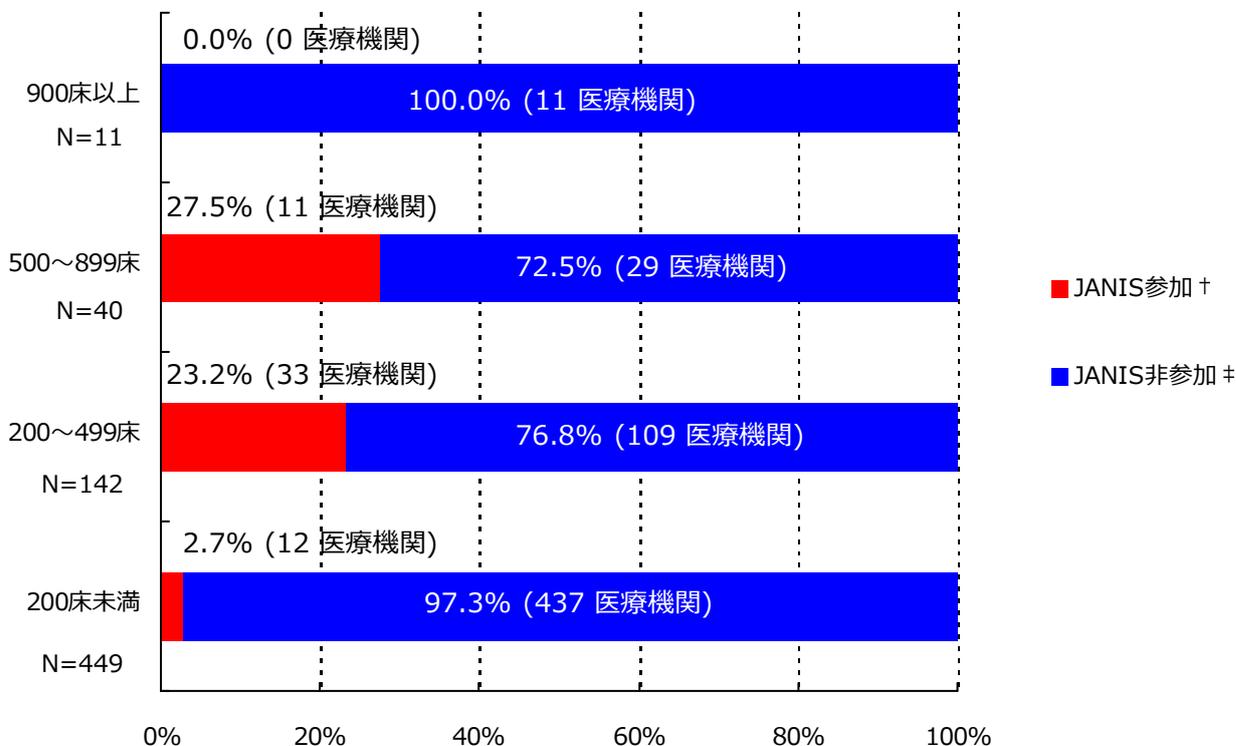
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で "R")、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 [†] ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml [†]	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 [†] 、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml [†]	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で "S 以外" (例 \leq 23mm) [‡]
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml [†] AMK \geq 32 μ g/ml [†] NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm [†] AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml [†] LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 [†] ・ IPM が耐性 [†] 、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml [†] IPM \geq 2 μ g/ml [†] かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(56医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2015年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2014年 都道府県別医療機関数¶) - (2015年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2014年 都道府県別医療機関数¶	2015年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	11	0 (0.0%)
500～899床	40	11 (27.5%)
200～499床	142	33 (23.2%)
200床未満	449	12 (2.7%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	642	56 (8.7%)

¶平成26年医療施設（動態）調査を参照した。

(東京都)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

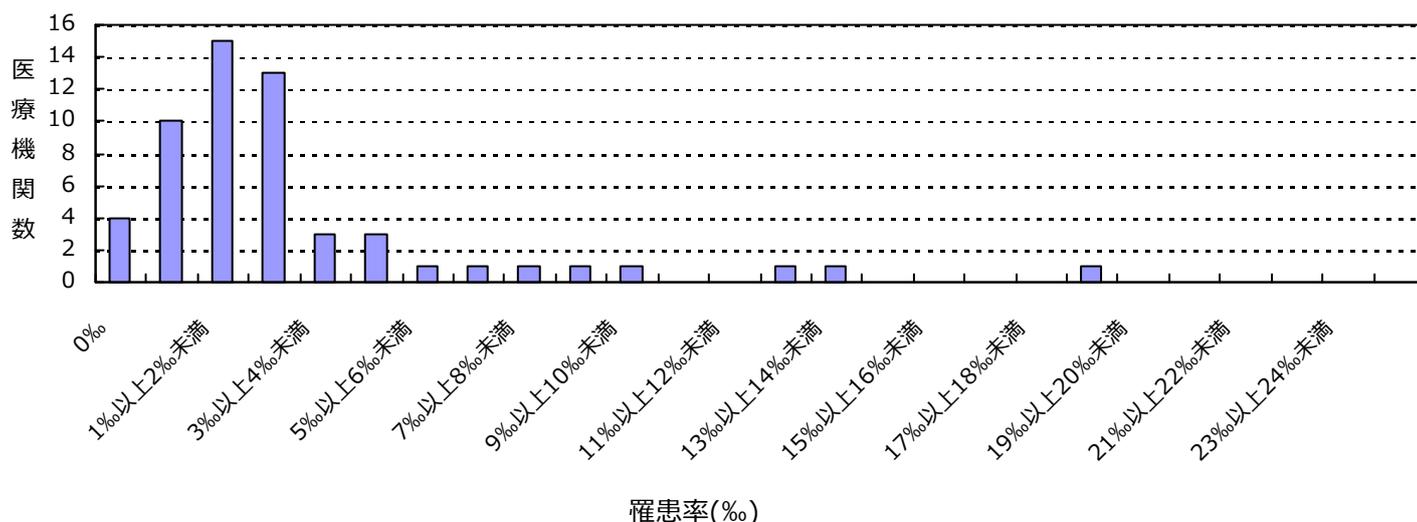


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	408,200	34	943	2.31%	0.00 1.96 18.58

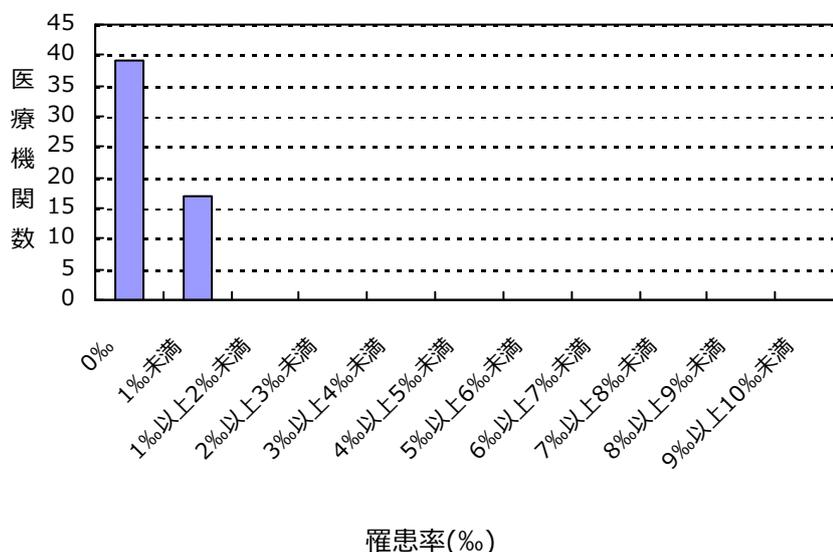
集計対象医療機関の罹患率(N=56)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	408,200	0	50	0.12%	0.00 0.00 0.96

集計対象医療機関の罹患率(N=56)



(東京都)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

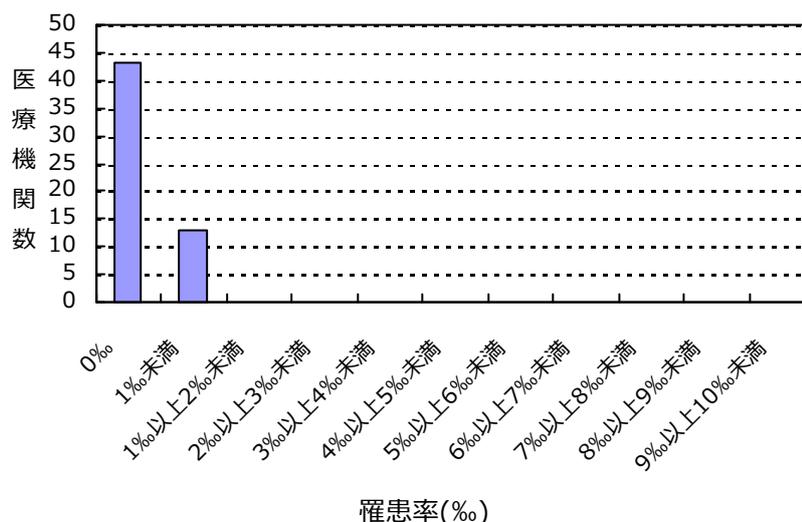


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	408,200	0	17	0.04%	0.00 0.00 0.37

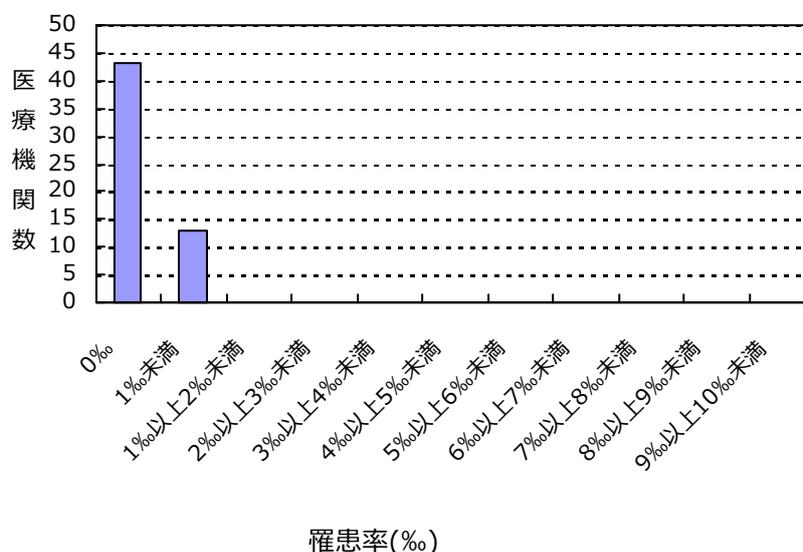
集計対象医療機関の罹患率(N=56)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	408,200	0	43	0.11%	0.00 0.00 1.00

集計対象医療機関の罹患率(N=56)



(東京都)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

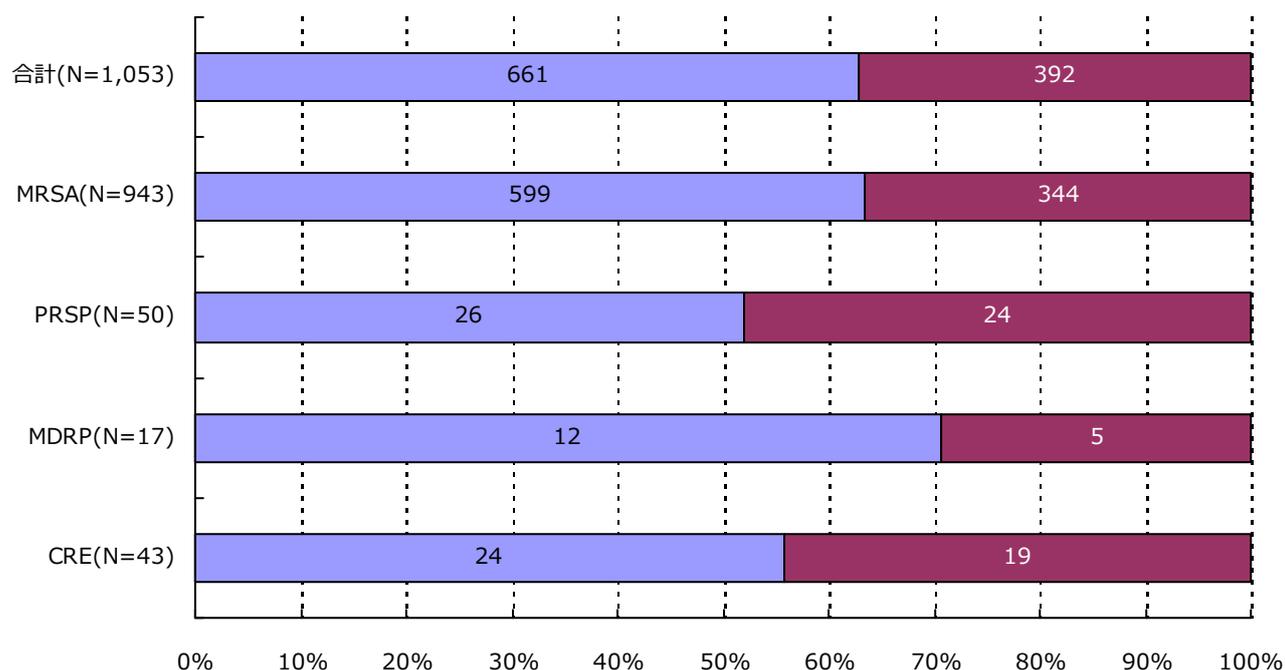
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	661 (62.8%)	599 (63.5%)	0 (-)	0 (-)	26 (52.0%)	12 (70.6%)	0 (-)	24 (55.8%)
女	392 (37.2%)	344 (36.5%)	0 (-)	0 (-)	24 (48.0%)	5 (29.4%)	0 (-)	19 (44.2%)
合計	1,053	943	0	0	50	17	0	43

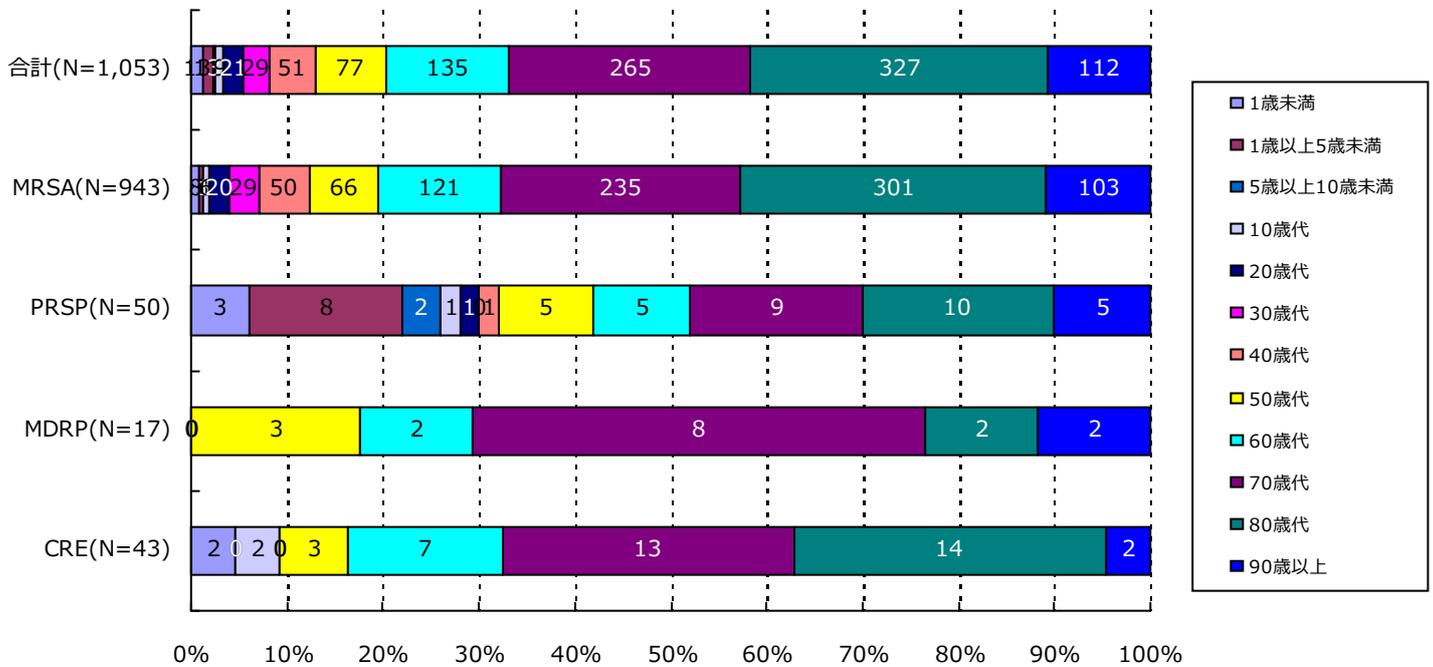
(東京都)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

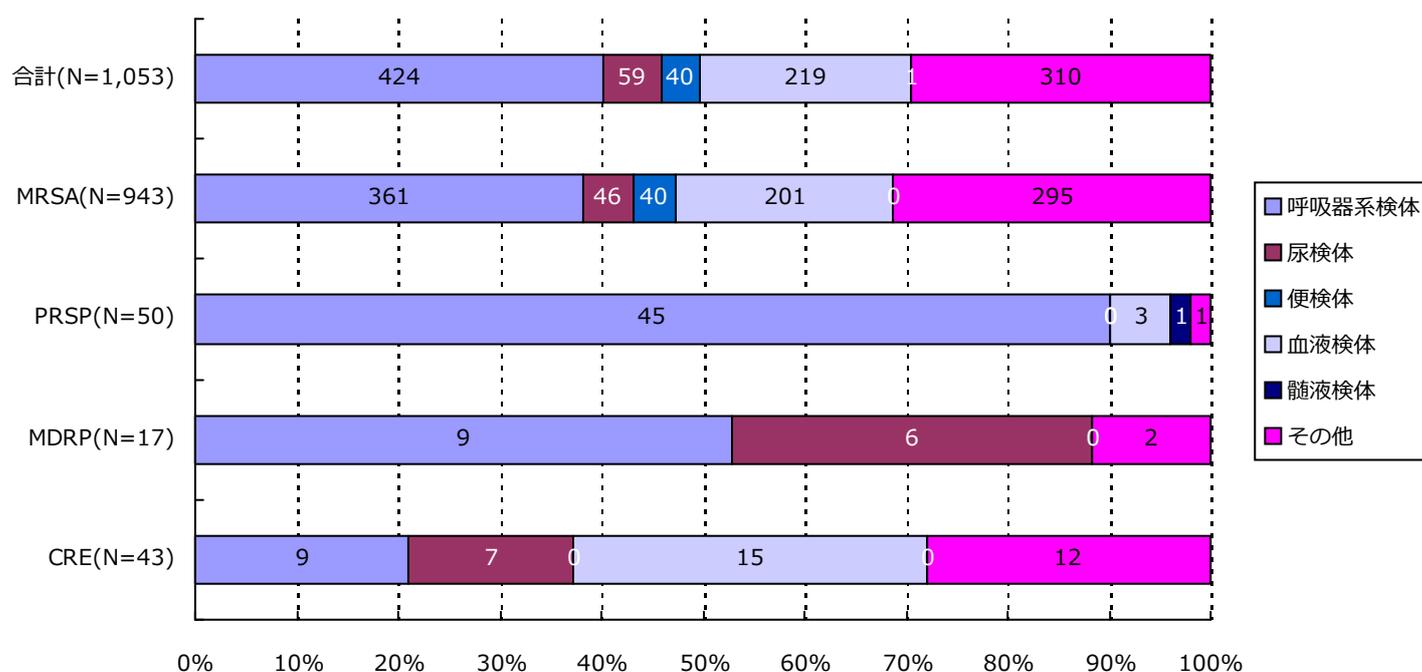


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	13(1.2%)	8(0.8%)	0(-)	0(-)	3(6.0%)	0(-)	0(-)	2(4.7%)
1歳以上5歳未満	11(1.0%)	3(0.3%)	0(-)	0(-)	8(16.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	3(0.3%)	1(0.1%)	0(-)	0(-)	2(4.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	9(0.9%)	6(0.6%)	0(-)	0(-)	1(2.0%)	0(-)	0(-)	2(4.7%)
20歳代	21(2.0%)	20(2.1%)	0(-)	0(-)	1(2.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	29(2.8%)	29(3.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	51(4.8%)	50(5.3%)	0(-)	0(-)	1(2.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	77(7.3%)	66(7.0%)	0(-)	0(-)	5(10.0%)	3(17.6%)	0(-)	3(7.0%)
60歳代	135(12.8%)	121(12.8%)	0(-)	0(-)	5(10.0%)	2(11.8%)	0(-)	7(16.3%)
70歳代	265(25.2%)	235(24.9%)	0(-)	0(-)	9(18.0%)	8(47.1%)	0(-)	13(30.2%)
80歳代	327(31.1%)	301(31.9%)	0(-)	0(-)	10(20.0%)	2(11.8%)	0(-)	14(32.6%)
90歳以上	112(10.6%)	103(10.9%)	0(-)	0(-)	5(10.0%)	2(11.8%)	0(-)	2(4.7%)
合計	1,053	943	0	0	50	17	0	43

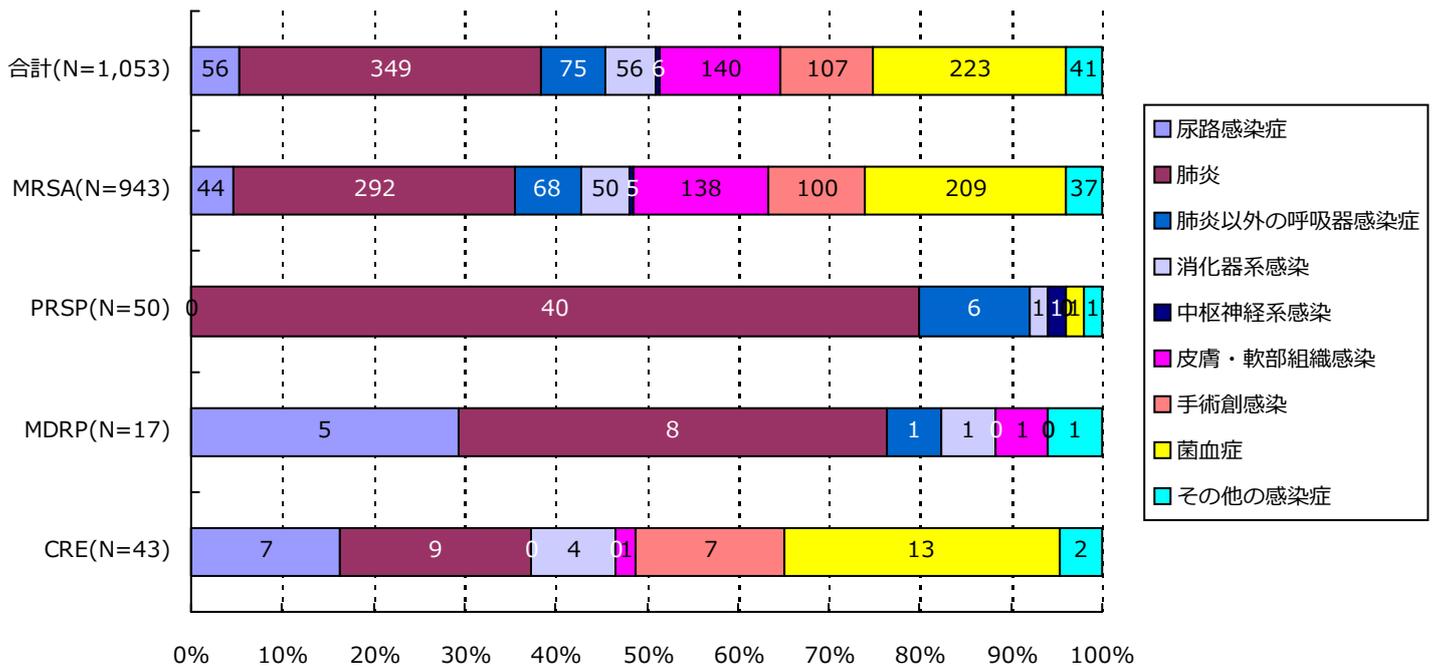
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	424(40.3%)	361(38.3%)	0(-)	0(-)	45(90.0%)	9(52.9%)	0(-)	9(20.9%)
尿検体	59(5.6%)	46(4.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	6(35.3%)	0(-)	7(16.3%)
便検体	40(3.8%)	40(4.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	219(20.8%)	201(21.3%)	0(-)	0(-)	3(6.0%)	0(-)	0(-)	15(34.9%)
髄液検体	1(0.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(2.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	310(29.4%)	295(31.3%)	0(-)	0(-)	1(2.0%)	2(11.8%)	0(-)	12(27.9%)
合計	1,053	943	0	0	50	17	0	43

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	56(5.3%)	44(4.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	5(29.4%)	0(-)	7(16.3%)
肺炎	349(33.1%)	292(31.0%)	0(-)	0(-)	40(80.0%)	8(47.1%)	0(-)	9(20.9%)
肺炎以外	75(7.1%)	68(7.2%)	0(-)	0(-)	6(12.0%)	1(5.9%)	0(-)	0(-)
消化器系	56(5.3%)	50(5.3%)	0(-)	0(-)	1(2.0%)	1(5.9%)	0(-)	4(9.3%)
中枢神経系	6(0.6%)	5(0.5%)	0(-)	0(-)	1(2.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	140(13.3%)	138(14.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(5.9%)	0(-)	1(2.3%)
手術創	107(10.2%)	100(10.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	7(16.3%)
菌血症	223(21.2%)	209(22.2%)	0(-)	0(-)	1(2.0%)	0(-)	0(-)	13(30.2%)
その他	41(3.9%)	37(3.9%)	0(-)	0(-)	1(2.0%)	1(5.9%)	0(-)	2(4.7%)
合計	1,053	943	0	0	50	17	0	43

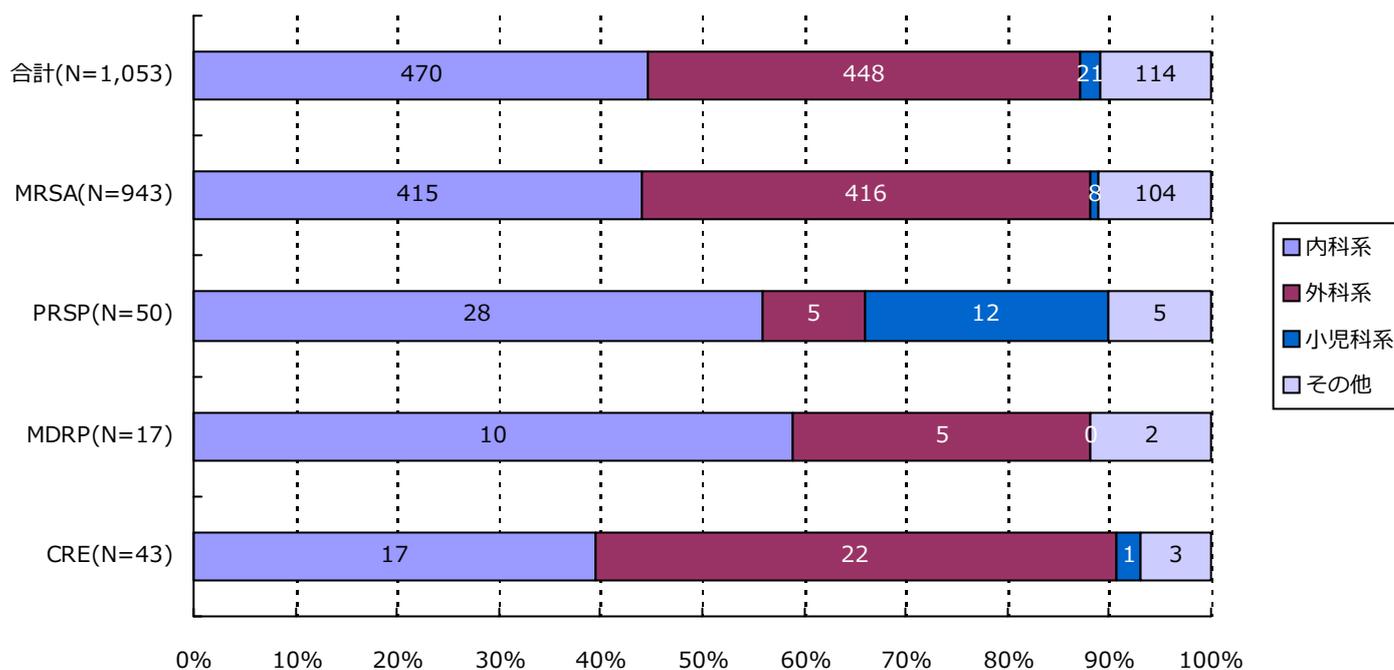
(東京都)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	470(44.6%)	415(44.0%)	0(-)	0(-)	28(56.0%)	10(58.8%)	0(-)	17(39.5%)
外科系	448(42.5%)	416(44.1%)	0(-)	0(-)	5(10.0%)	5(29.4%)	0(-)	22(51.2%)
小児科系	21(2.0%)	8(0.8%)	0(-)	0(-)	12(24.0%)	0(-)	0(-)	1(2.3%)
その他	114(10.8%)	104(11.0%)	0(-)	0(-)	5(10.0%)	2(11.8%)	0(-)	3(7.0%)
合計	1,053	943	0	0	50	17	0	43

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科	
	循環器内科		消化器外科	
	神経内科		肛門科	
	呼吸器内科		肝胆膵外科	
	消化器内科		心臓血管外科	
	胃腸科		内分泌外科	
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科	
	腎臓内科		小児外科	
	糖尿病内科		小児循環器外科	
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科	
	膠原病内科		産婦人科	
	アレルギー内科		産科	
	リウマチ内科		婦人科	
	血液内科		整形外科	
	感染症内科		美容外科	
	老人内科		眼科	
	心療内科		耳鼻咽喉科	
	その他		性病科	気管食道科
			神経科	泌尿器科
			精神科	皮膚・泌尿器科
放射線科		皮膚科		
総合診療部		脳神経外科		
救急部		形成外科		
救急・集中治療部		歯科口腔外科		
集中治療部(ICU)		歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科		
内視鏡科		矯正歯科		
透析科		口腔外科		
理学療法・リハビリテーション科		手術部		
理学療法科		移植・人工臓器科		
リハビリテーション科		小児科系	小児科	
麻酔科			新生児科	
その他			新生児集中治療部(NICU)	
	周産期センター			

資料3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

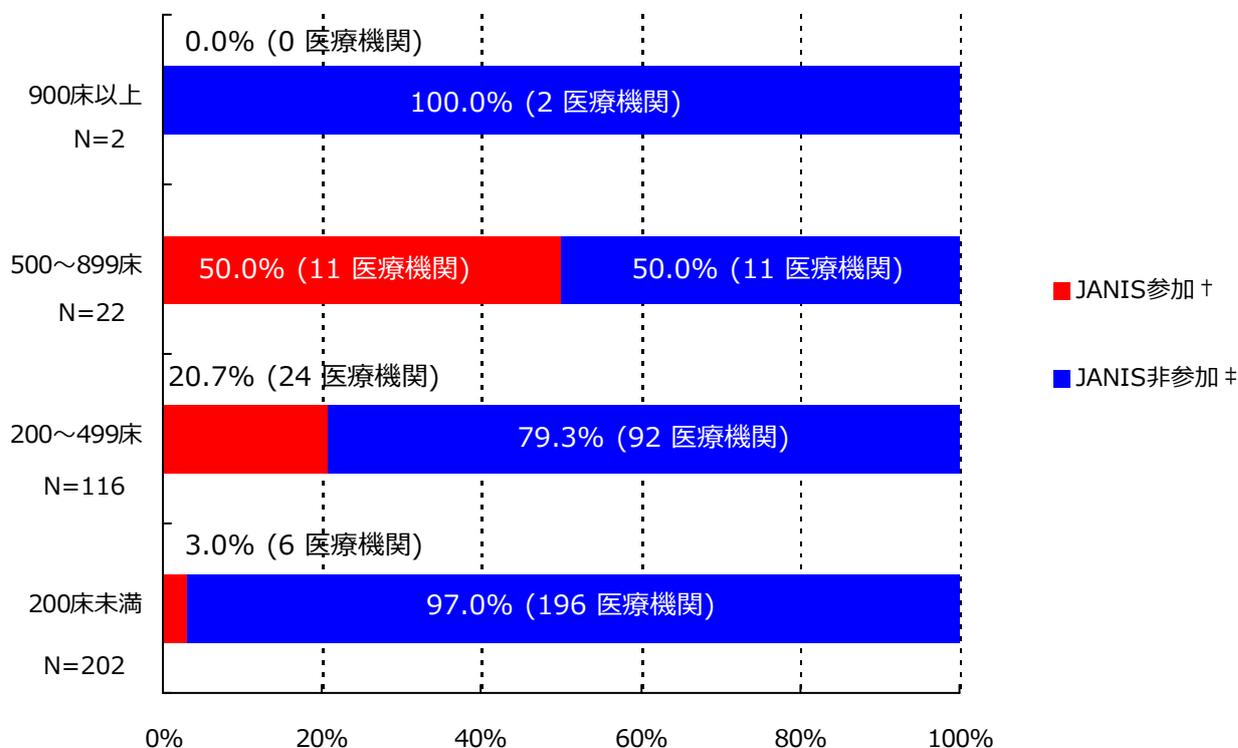
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で "R")、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 [†] ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml [†]	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 [†] 、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml [†]	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で "S 以外" (例 \leq 23mm) [‡]
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml [†] AMK \geq 32 μ g/ml [†] NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm [†] AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml [†] LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 [†] ・ IPM が耐性 [†] 、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml [†] IPM \geq 2 μ g/ml [†] かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(41医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2015年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2014年 都道府県別医療機関数¶) - (2015年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2014年 都道府県別医療機関数¶	2015年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	0 (0.0%)
500～899床	22	11 (50.0%)
200～499床	116	24 (20.7%)
200床未満	202	6 (3.0%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	342	41 (12.0%)

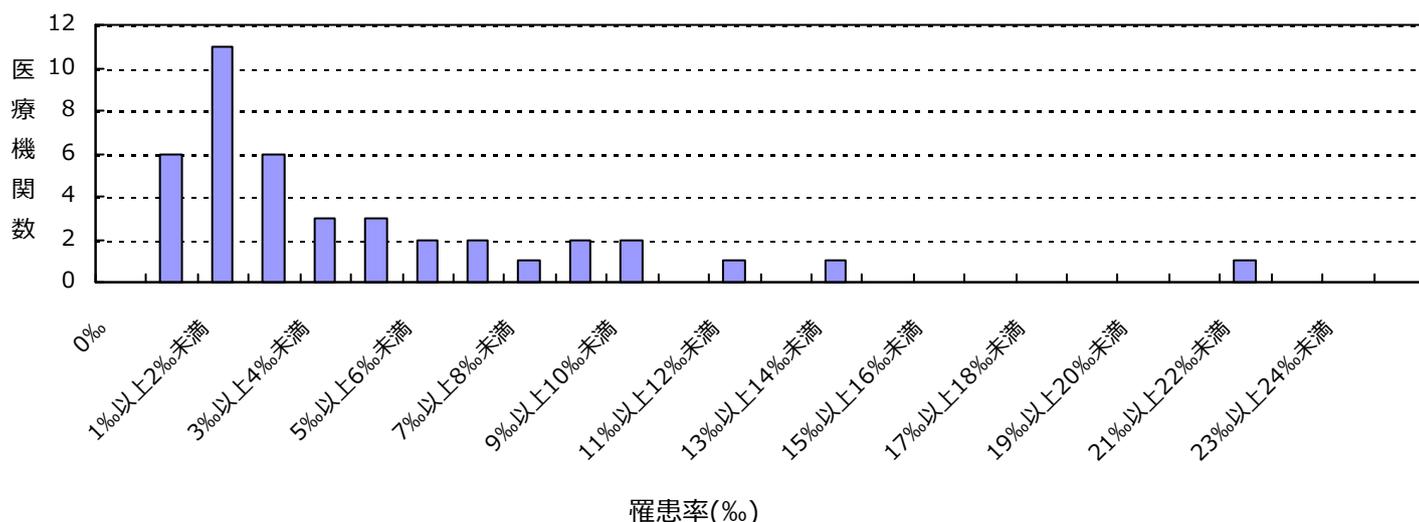
¶平成26年医療施設（動態）調査を参照した。

2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	321,564	25	997	3.10%	0.53 2.81 21.82

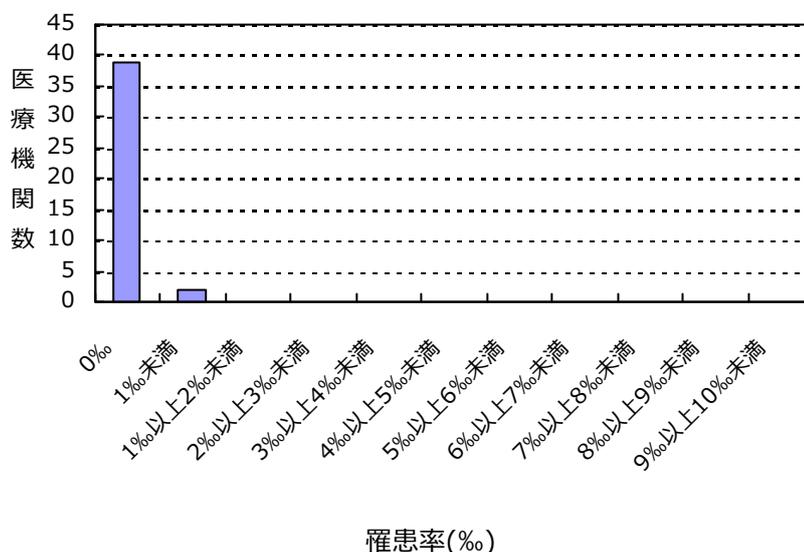
集計対象医療機関の罹患率(N=41)



バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
VRE	321,564	0	3	0.01%	0.00 0.00 0.30

集計対象医療機関の罹患率(N=41)



(神奈川県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

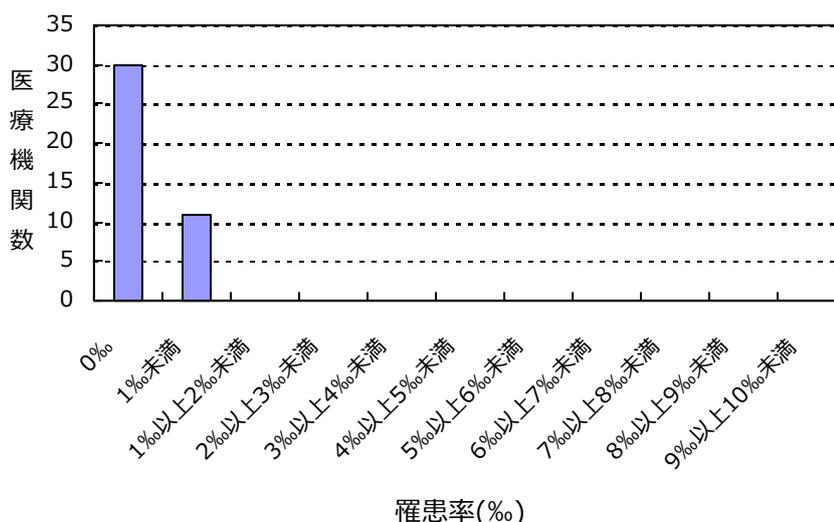


2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	321,564	0	27	0.08%	0.00 0.00 0.68

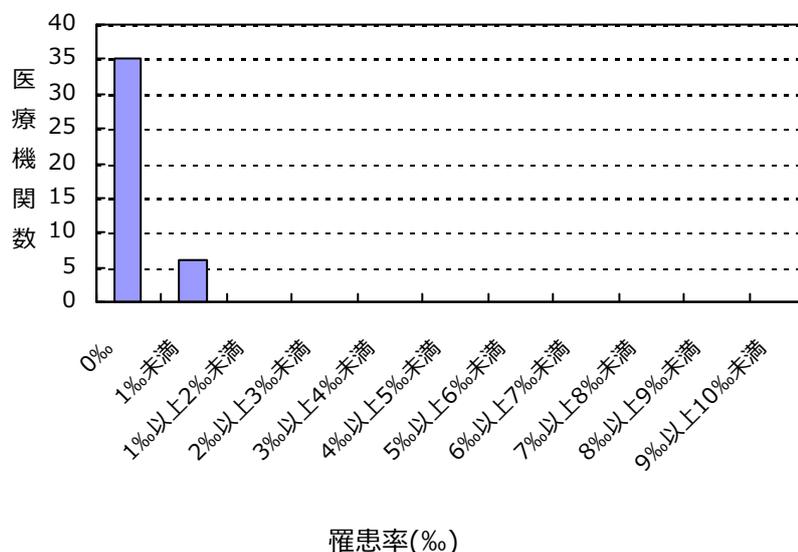
集計対象医療機関の罹患率(N=41)



多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	321,564	0	9	0.03%	0.00 0.00 0.60

集計対象医療機関の罹患率(N=41)



(神奈川県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

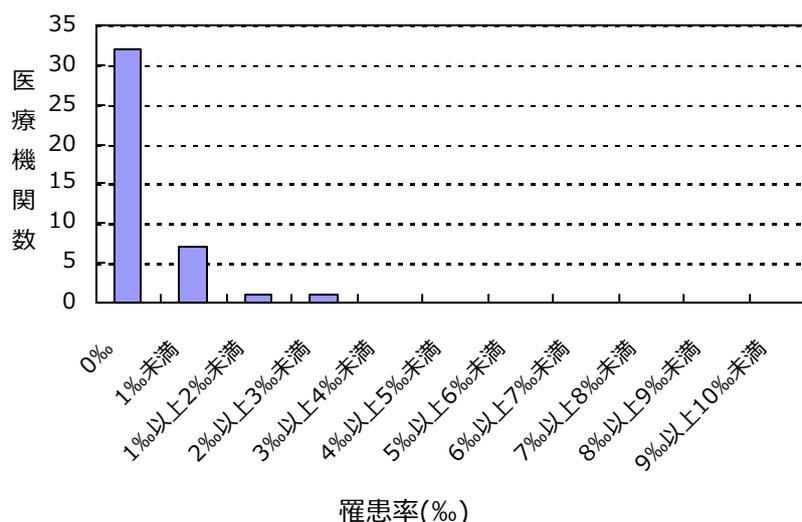


2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	321,564	0	16	0.05%	0.00 0.00 2.46

集計対象医療機関の罹患率(N=41)



(神奈川県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

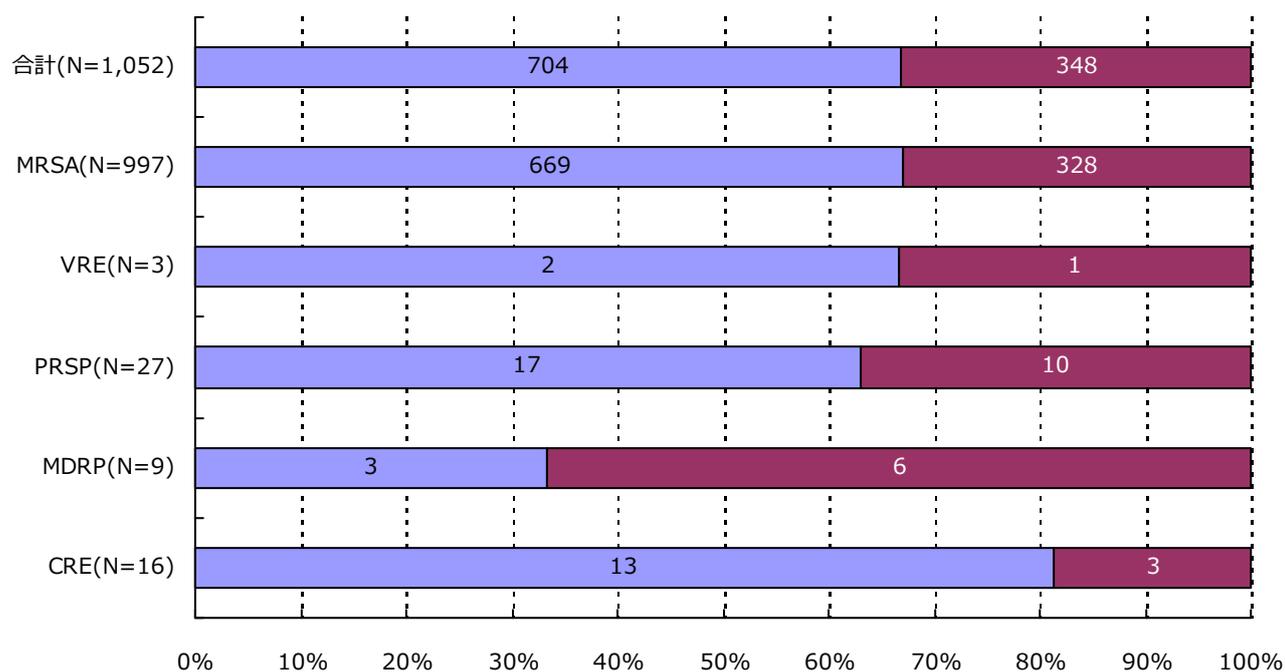
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

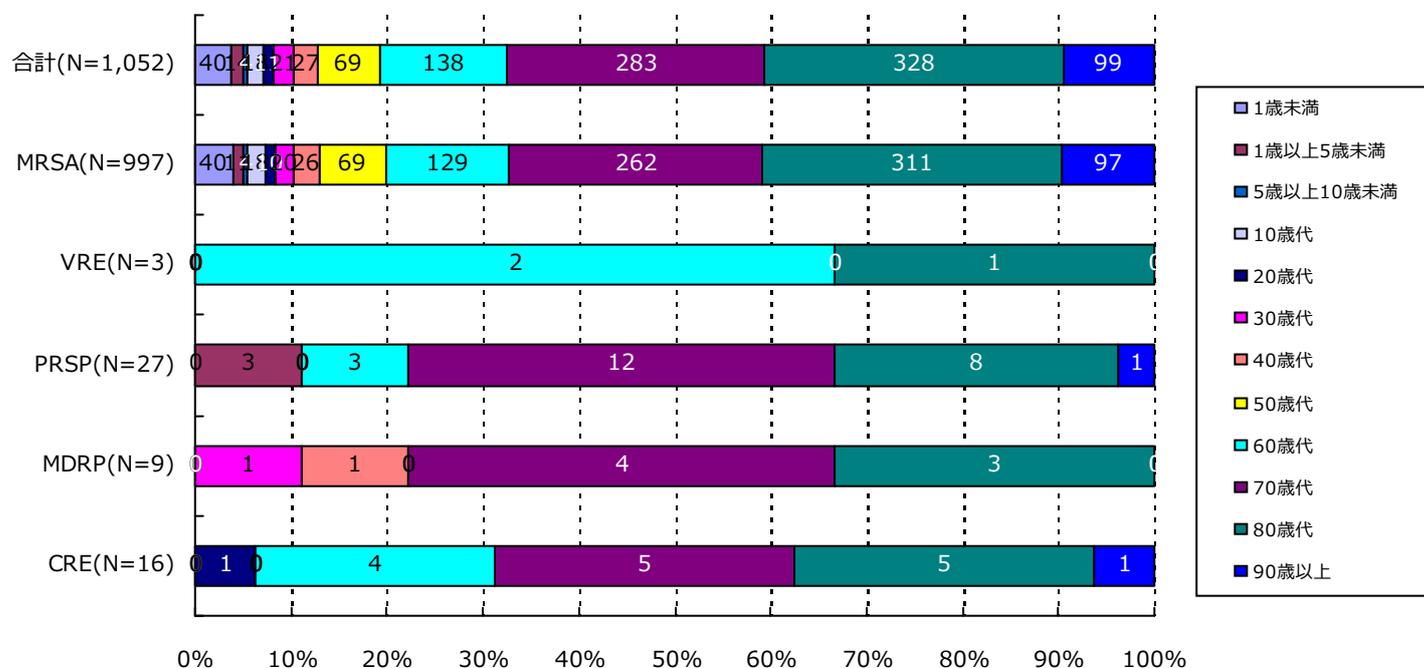
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



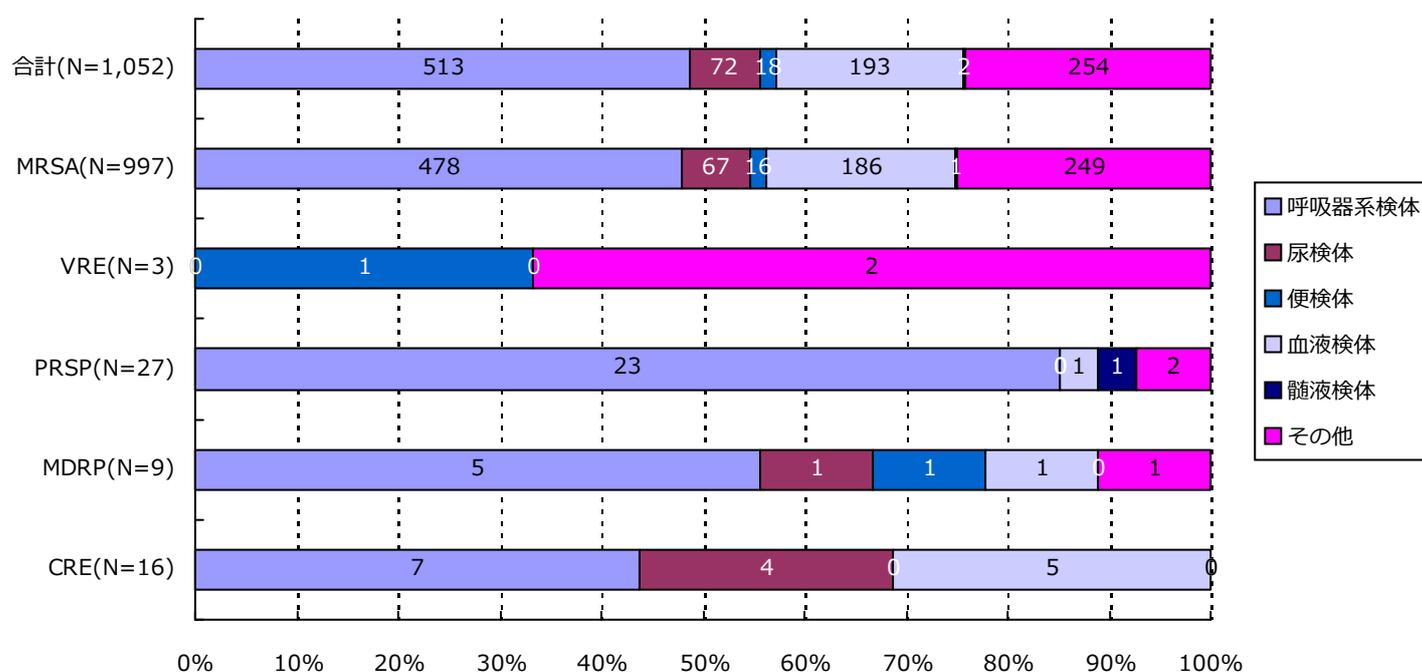
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	704 (66.9%)	669 (67.1%)	0 (-)	2 (66.7%)	17 (63.0%)	3 (33.3%)	0 (-)	13 (81.3%)
女	348 (33.1%)	328 (32.9%)	0 (-)	1 (33.3%)	10 (37.0%)	6 (66.7%)	0 (-)	3 (18.8%)
合計	1,052	997	0	3	27	9	0	16

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	40(3.8%)	40(4.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	14(1.3%)	11(1.1%)	0(-)	0(-)	3(11.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	4(0.4%)	4(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	18(1.7%)	18(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	11(1.0%)	10(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(6.3%)
30歳代	21(2.0%)	20(2.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(11.1%)	0(-)	0(-)
40歳代	27(2.6%)	26(2.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(11.1%)	0(-)	0(-)
50歳代	69(6.6%)	69(6.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	138(13.1%)	129(12.9%)	0(-)	2(66.7%)	3(11.1%)	0(-)	0(-)	4(25.0%)
70歳代	283(26.9%)	262(26.3%)	0(-)	0(-)	12(44.4%)	4(44.4%)	0(-)	5(31.3%)
80歳代	328(31.2%)	311(31.2%)	0(-)	1(33.3%)	8(29.6%)	3(33.3%)	0(-)	5(31.3%)
90歳以上	99(9.4%)	97(9.7%)	0(-)	0(-)	1(3.7%)	0(-)	0(-)	1(6.3%)
合計	1,052	997	0	3	27	9	0	16

5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	513(48.8%)	478(47.9%)	0(-)	0(-)	23(85.2%)	5(55.6%)	0(-)	7(43.8%)
尿検体	72(6.8%)	67(6.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(11.1%)	0(-)	4(25.0%)
便検体	18(1.7%)	16(1.6%)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	1(11.1%)	0(-)	0(-)
血液検体	193(18.3%)	186(18.7%)	0(-)	0(-)	1(3.7%)	1(11.1%)	0(-)	5(31.3%)
髄液検体	2(0.2%)	1(0.1%)	0(-)	0(-)	1(3.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	254(24.1%)	249(25.0%)	0(-)	2(66.7%)	2(7.4%)	1(11.1%)	0(-)	0(-)
合計	1,052	997	0	3	27	9	0	16

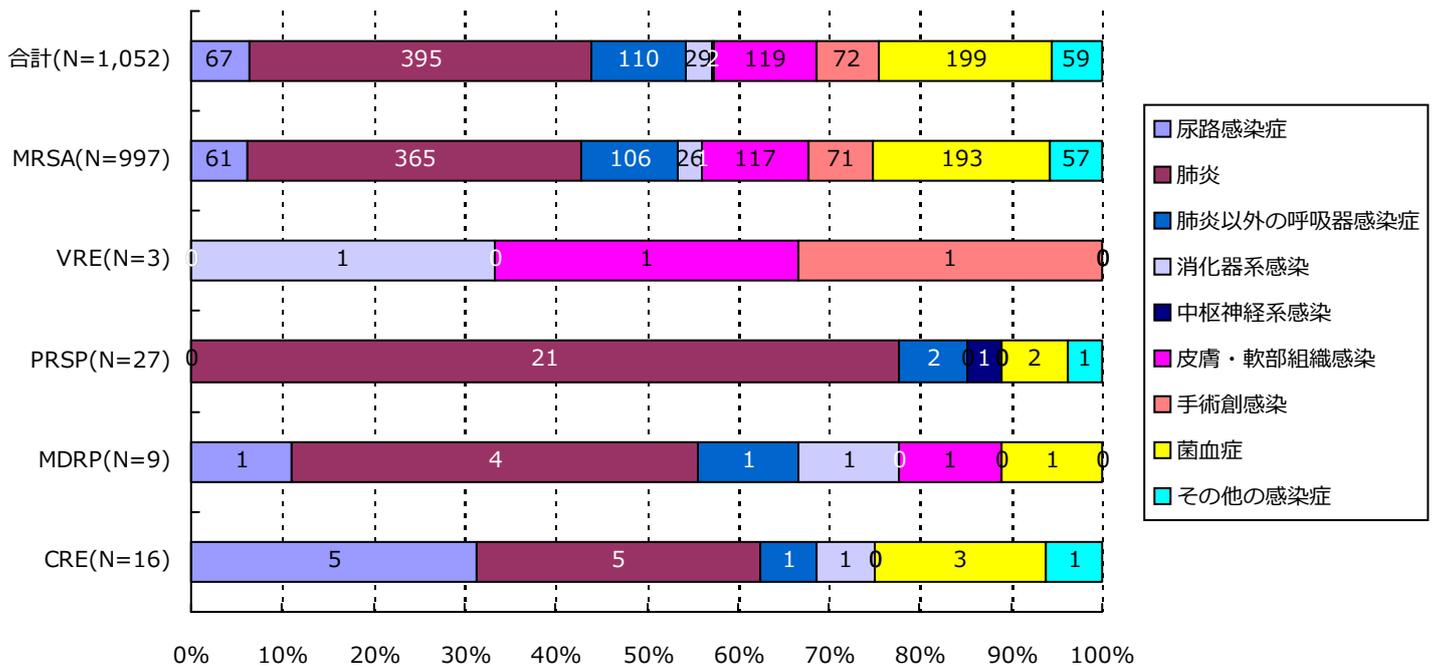
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

(神奈川県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

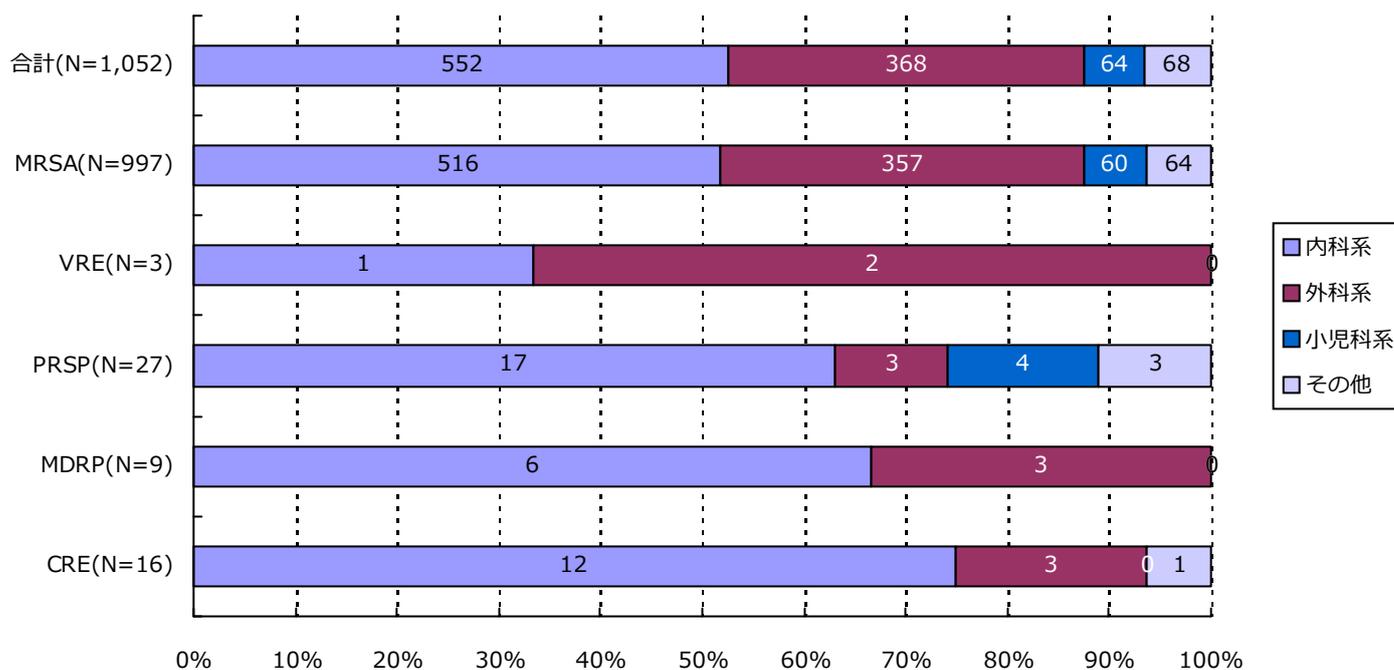
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	67(6.4%)	61(6.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(11.1%)	0(-)	5(31.3%)
肺炎	395(37.5%)	365(36.6%)	0(-)	0(-)	21(77.8%)	4(44.4%)	0(-)	5(31.3%)
肺炎以外	110(10.5%)	106(10.6%)	0(-)	0(-)	2(7.4%)	1(11.1%)	0(-)	1(6.3%)
消化器系	29(2.8%)	26(2.6%)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	1(11.1%)	0(-)	1(6.3%)
中枢神経系	2(0.2%)	1(0.1%)	0(-)	0(-)	1(3.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	119(11.3%)	117(11.7%)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	1(11.1%)	0(-)	0(-)
手術創	72(6.8%)	71(7.1%)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	199(18.9%)	193(19.4%)	0(-)	0(-)	2(7.4%)	1(11.1%)	0(-)	3(18.8%)
その他	59(5.6%)	57(5.7%)	0(-)	0(-)	1(3.7%)	0(-)	0(-)	1(6.3%)
合計	1,052	997	0	3	27	9	0	16

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	552(52.5%)	516(51.8%)	0(-)	1(33.3%)	17(63.0%)	6(66.7%)	0(-)	12(75.0%)
外科系	368(35.0%)	357(35.8%)	0(-)	2(66.7%)	3(11.1%)	3(33.3%)	0(-)	3(18.8%)
小児科系	64(6.1%)	60(6.0%)	0(-)	0(-)	4(14.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	68(6.5%)	64(6.4%)	0(-)	0(-)	3(11.1%)	0(-)	0(-)	1(6.3%)
合計	1,052	997	0	3	27	9	0	16

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科		
	循環器内科		消化器外科		
	神経内科		肛門科		
	呼吸器内科		肝胆膵外科		
	消化器内科		心臓血管外科		
	胃腸科		内分泌外科		
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科		
	腎臓内科		小児外科		
	糖尿病内科		小児循環器外科		
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科		
	膠原病内科		産婦人科		
	アレルギー内科		産科		
	リウマチ内科		婦人科		
	血液内科		整形外科		
	感染症内科		美容外科		
	老人内科		眼科		
	心療内科		耳鼻咽喉科		
	その他		性病科	気管食道科	泌尿器科
			神経科	泌尿器科	皮膚・泌尿器科
			精神科	皮膚科	皮膚科
放射線科		脳神経外科	脳神経外科		
総合診療部		形成外科	形成外科		
救急部		歯科口腔外科	歯科口腔外科		
救急・集中治療部		歯科	歯科		
集中治療部(ICU)		小児歯科	小児歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		矯正歯科	矯正歯科		
内視鏡科		口腔外科	口腔外科		
透析科		手術部	手術部		
理学療法・リハビリテーション科		移植・人工臓器科	移植・人工臓器科		
理学療法科		小児科系	小児科		
リハビリテーション科			新生児科		
麻酔科			新生児集中治療部(NICU)		
その他			新生児集中治療部(NICU)		
	周産期センター				

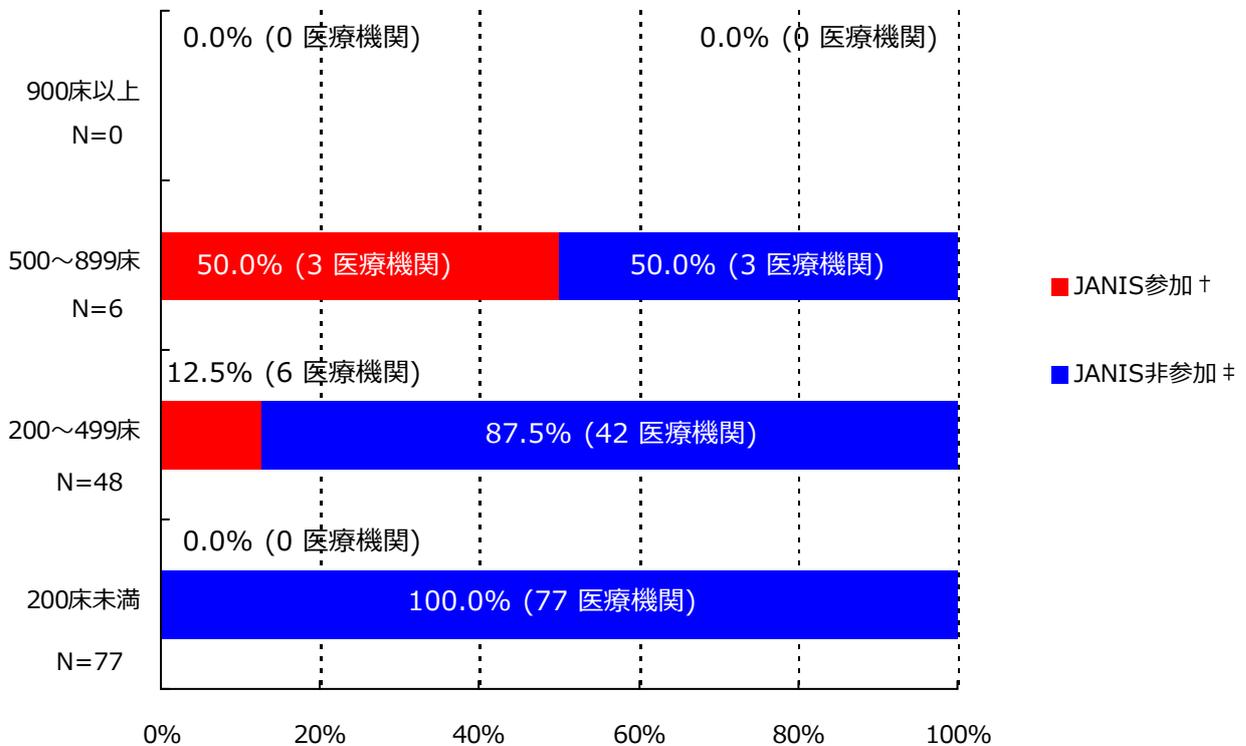
資料3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で "R")、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 [†] ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml [†]	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 [†] 、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml [†]	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で "S 以外" (例 \leq 23mm) [‡]
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml [†] AMK \geq 32 μ g/ml [†] NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm [†] AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml [†] LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 [†] ・ IPM が耐性 [†] 、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml [†] IPM \geq 2 μ g/ml [†] かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

[†] 感染症発生动向調査の基準に準拠[‡] PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(9医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2015年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2014年 都道府県別医療機関数¶) - (2015年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2014年 都道府県別医療機関数¶	2015年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	6	3 (50.0%)
200～499床	48	6 (12.5%)
200床未満	77	0 (0.0%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	131	9 (6.9%)

¶平成26年医療施設（動態）調査を参照した。

(新潟県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

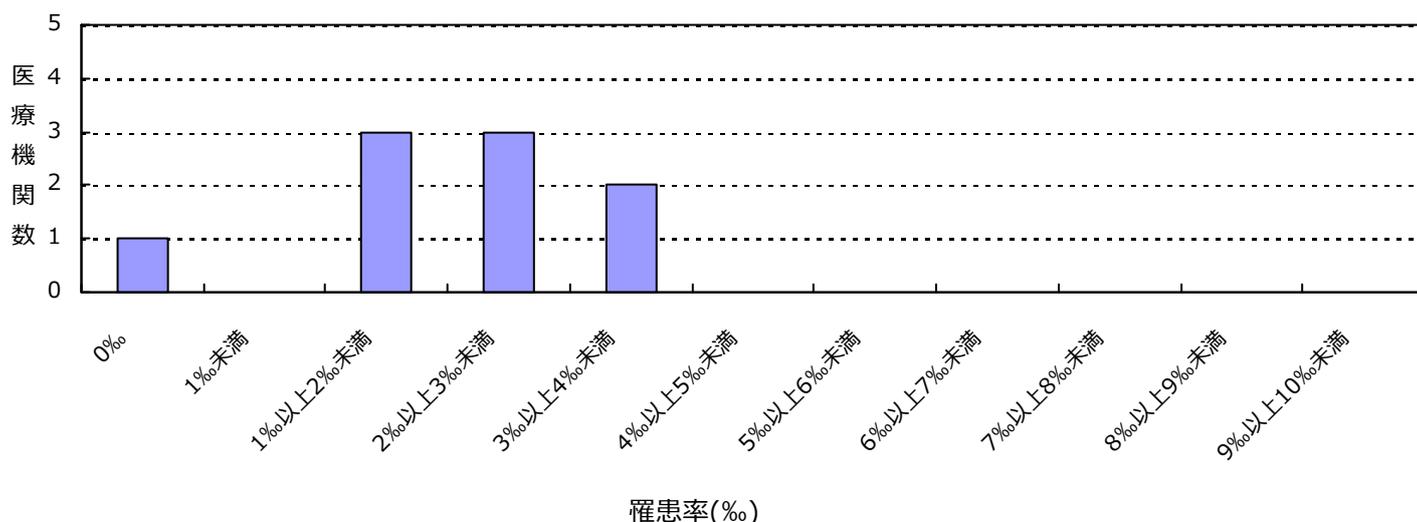


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	74,967	2	186	2.48%	0.00 2.41 3.46

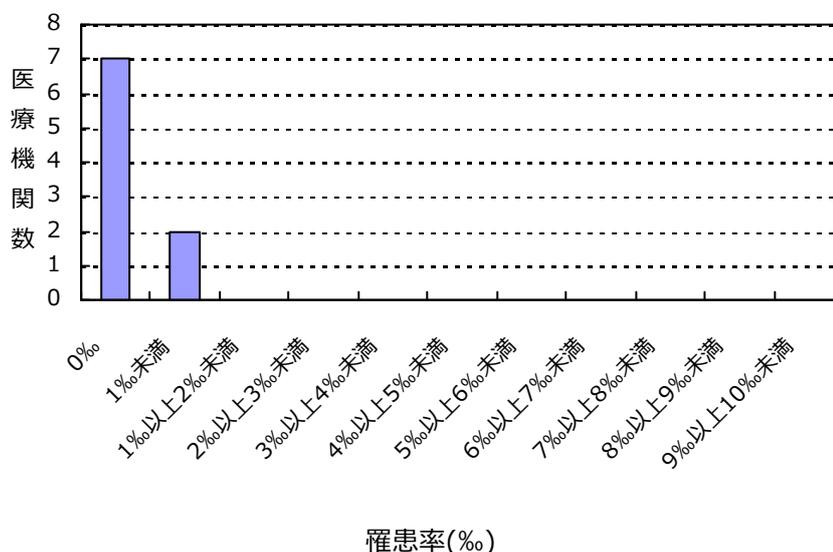
集計対象医療機関の罹患率(N=9)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	74,967	0	4	0.05%	0.00 0.00 0.27

集計対象医療機関の罹患率(N=9)



(新潟県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

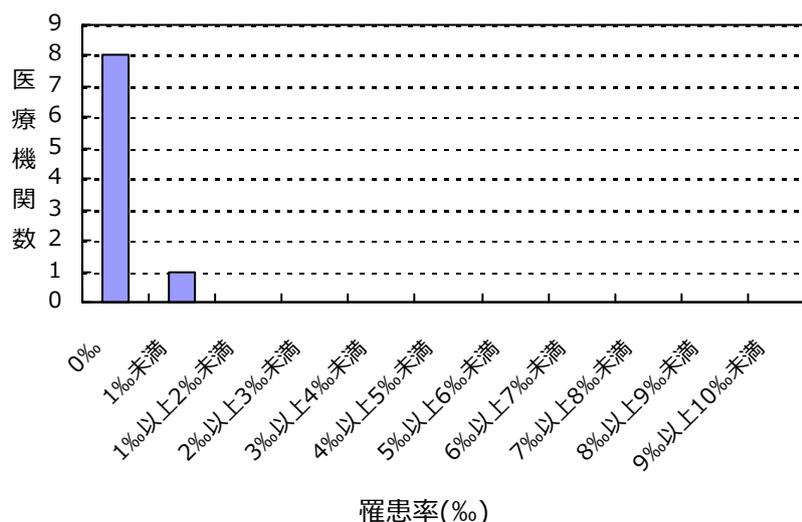


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	74,967	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.09

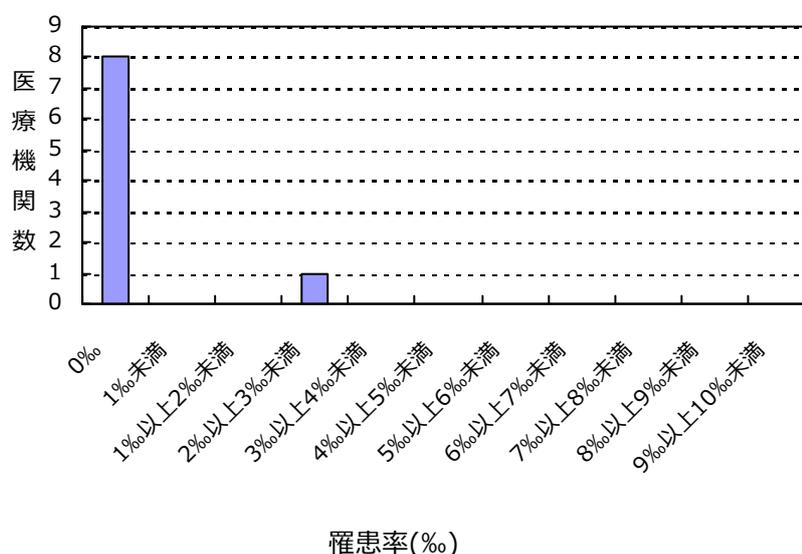
集計対象医療機関の罹患率(N=9)



多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRA	74,967	0	1	0.01%	0.00 0.00 2.41

集計対象医療機関の罹患率(N=9)



(新潟県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

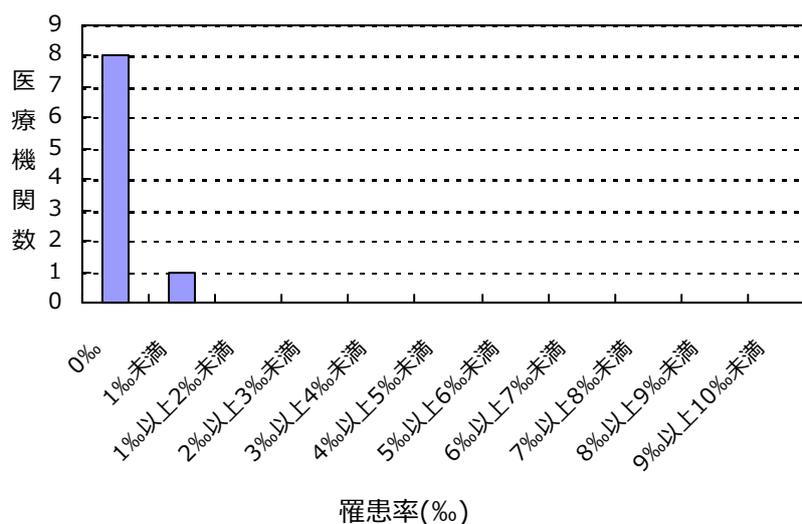


2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	74,967	0	2	0.03%	0.00 0.00 0.14

集計対象医療機関の罹患率(N=9)



(新潟県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

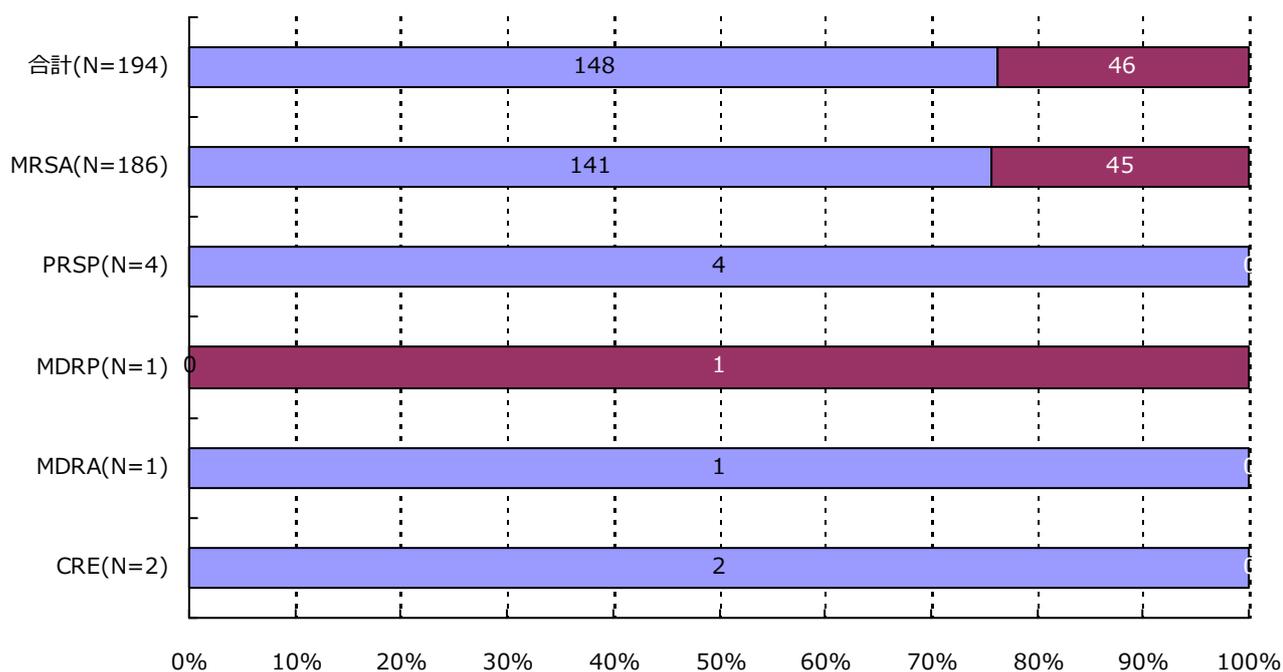
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

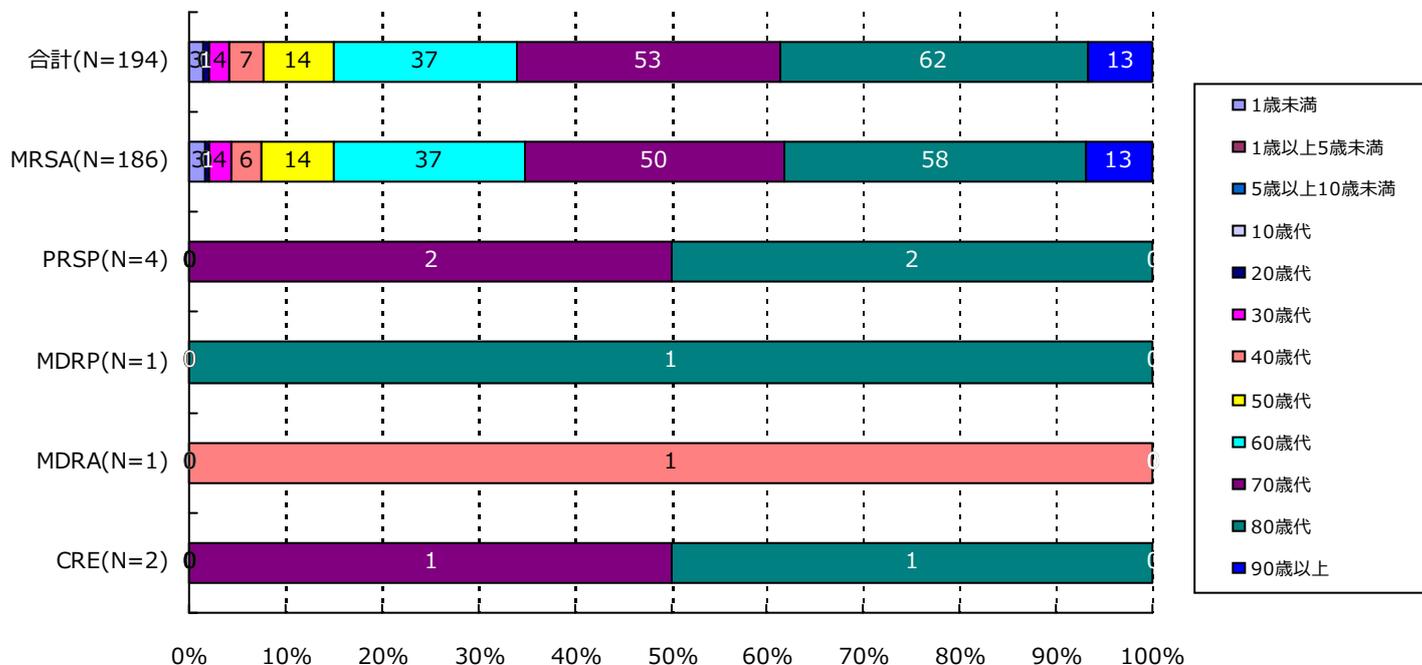
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	148 (76.3%)	141 (75.8%)	0 (-)	0 (-)	4 (100.0%)	0 (-)	1 (100.0%)	2 (100.0%)
女	46 (23.7%)	45 (24.2%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0%)	0 (-)	0 (-)
合計	194	186	0	0	4	1	1	2

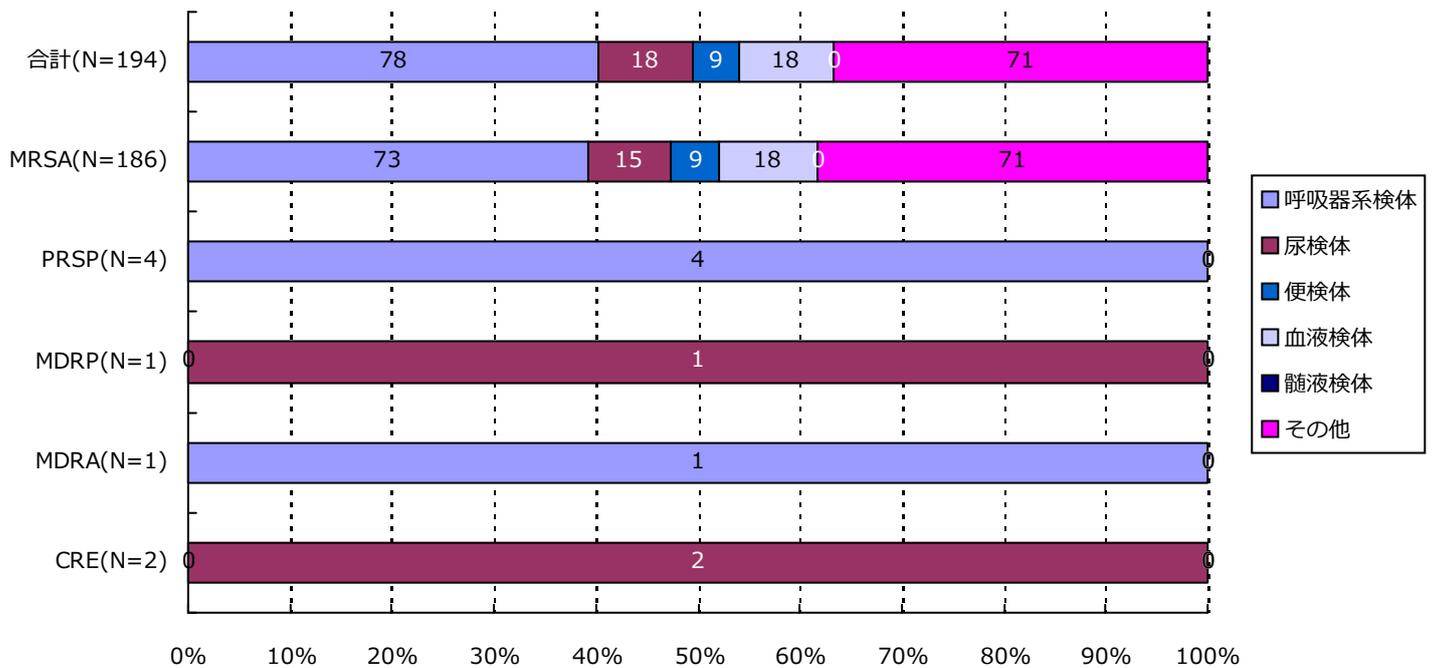


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	3(1.5%)	3(1.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	1(0.5%)	1(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	4(2.1%)	4(2.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	7(3.6%)	6(3.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)
50歳代	14(7.2%)	14(7.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	37(19.1%)	37(19.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	53(27.3%)	50(26.9%)	0(-)	0(-)	2(50.0%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
80歳代	62(32.0%)	58(31.2%)	0(-)	0(-)	2(50.0%)	1(100.0%)	0(-)	1(50.0%)
90歳以上	13(6.7%)	13(7.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	194	186	0	0	4	1	1	2

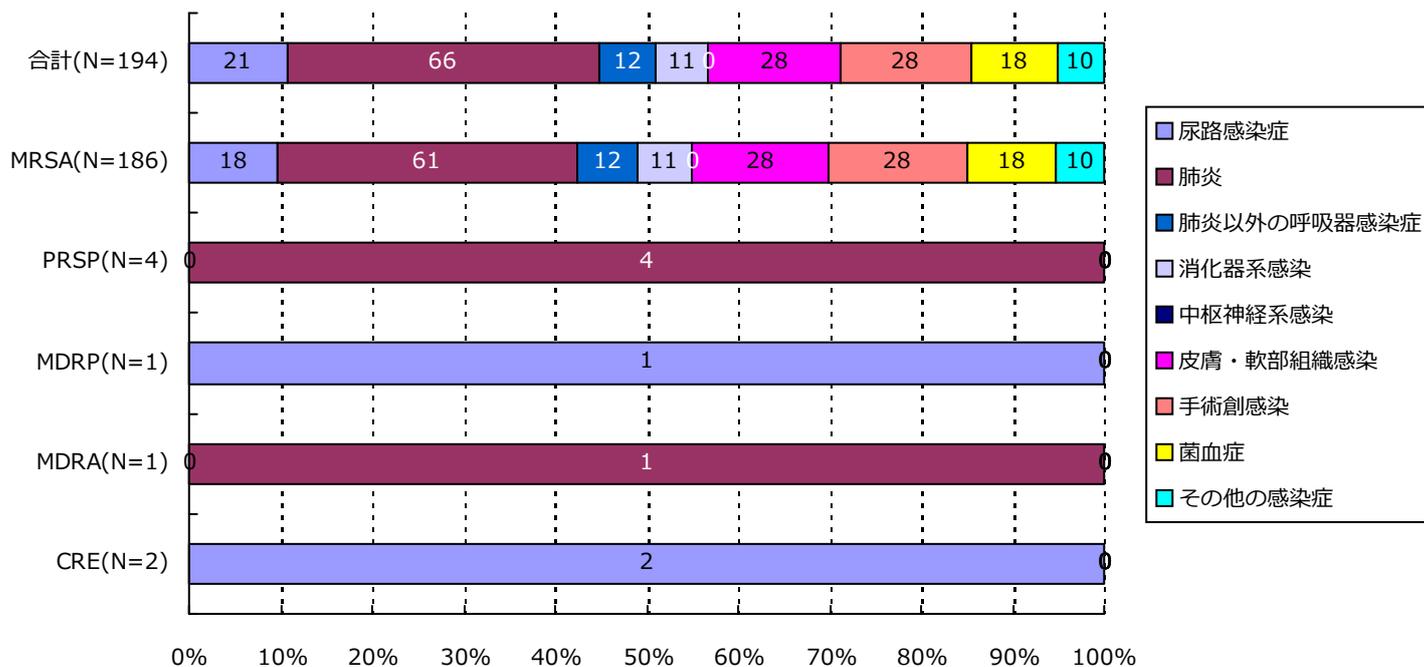
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	78(40.2%)	73(39.2%)	0(-)	0(-)	4(100.0%)	0(-)	1(100.0%)	0(-)
尿検体	18(9.3%)	15(8.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	2(100.0%)
便検体	9(4.6%)	9(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	18(9.3%)	18(9.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	71(36.6%)	71(38.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	194	186	0	0	4	1	1	2

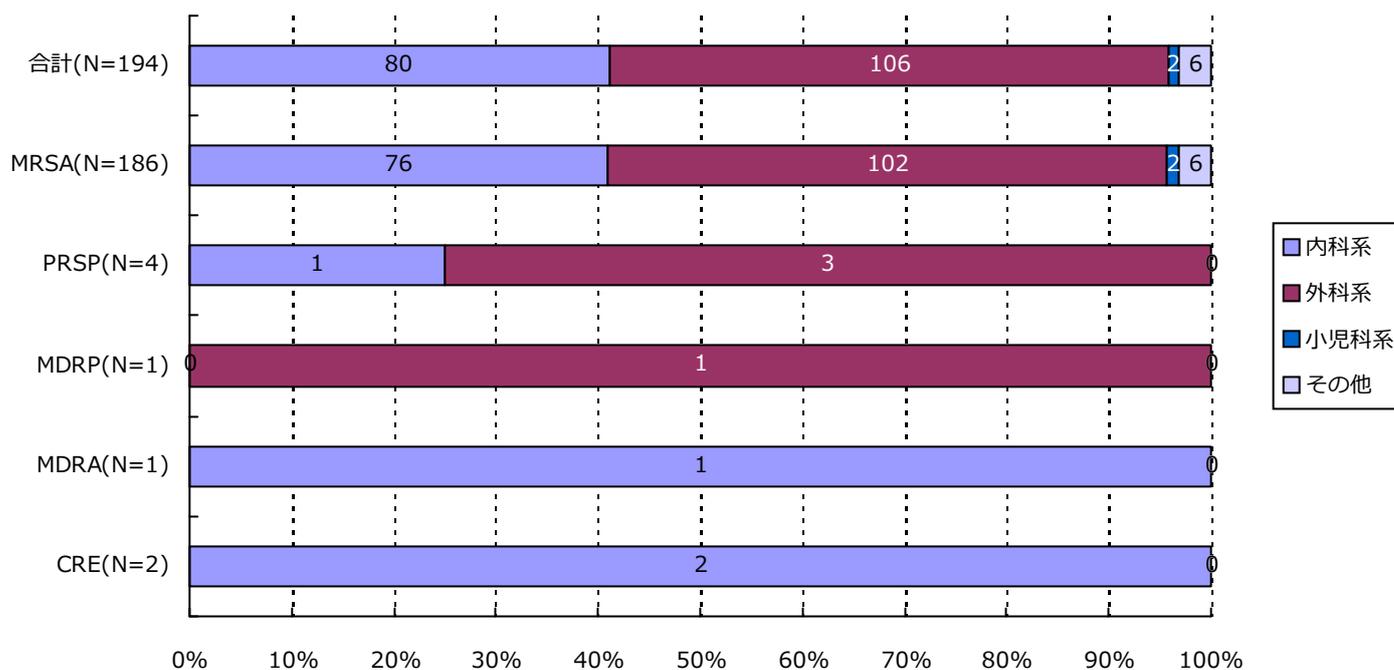
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者的感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	21(10.8%)	18(9.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	2(100.0%)
肺炎	66(34.0%)	61(32.8%)	0(-)	0(-)	4(100.0%)	0(-)	1(100.0%)	0(-)
肺炎以外	12(6.2%)	12(6.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	11(5.7%)	11(5.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	28(14.4%)	28(15.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	28(14.4%)	28(15.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	18(9.3%)	18(9.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	10(5.2%)	10(5.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	194	186	0	0	4	1	1	2

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	80(41.2%)	76(40.9%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	1(100.0%)	2(100.0%)
外科系	106(54.6%)	102(54.8%)	0(-)	0(-)	3(75.0%)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
小児科系	2(1.0%)	2(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	6(3.1%)	6(3.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	194	186	0	0	4	1	1	2

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科		
	循環器内科		消化器外科		
	神経内科		肛門科		
	呼吸器内科		肝胆膵外科		
	消化器内科		心臓血管外科		
	胃腸科		内分泌外科		
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科		
	腎臓内科		小児外科		
	糖尿病内科		小児循環器外科		
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科		
	膠原病内科		産婦人科		
	アレルギー内科		産科		
	リウマチ内科		婦人科		
	血液内科		整形外科		
	感染症内科		美容外科		
	老人内科		眼科		
	心療内科		耳鼻咽喉科		
	その他		性病科	気管食道科	泌尿器科
			神経科	泌尿器科	皮膚・泌尿器科
			精神科	皮膚科	皮膚科
放射線科		脳神経外科	脳神経外科		
総合診療部		形成外科	形成外科		
救急部		歯科口腔外科	歯科口腔外科		
救急・集中治療部		歯科	歯科		
集中治療部(ICU)		小児歯科	小児歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		矯正歯科	矯正歯科		
内視鏡科		口腔外科	口腔外科		
透析科		手術部	手術部		
理学療法・リハビリテーション科		移植・人工臓器科	移植・人工臓器科		
理学療法科		小児科系	小児科		
リハビリテーション科			新生児科		
麻酔科			新生児集中治療部(NICU)		
その他			周産期センター		

資料3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

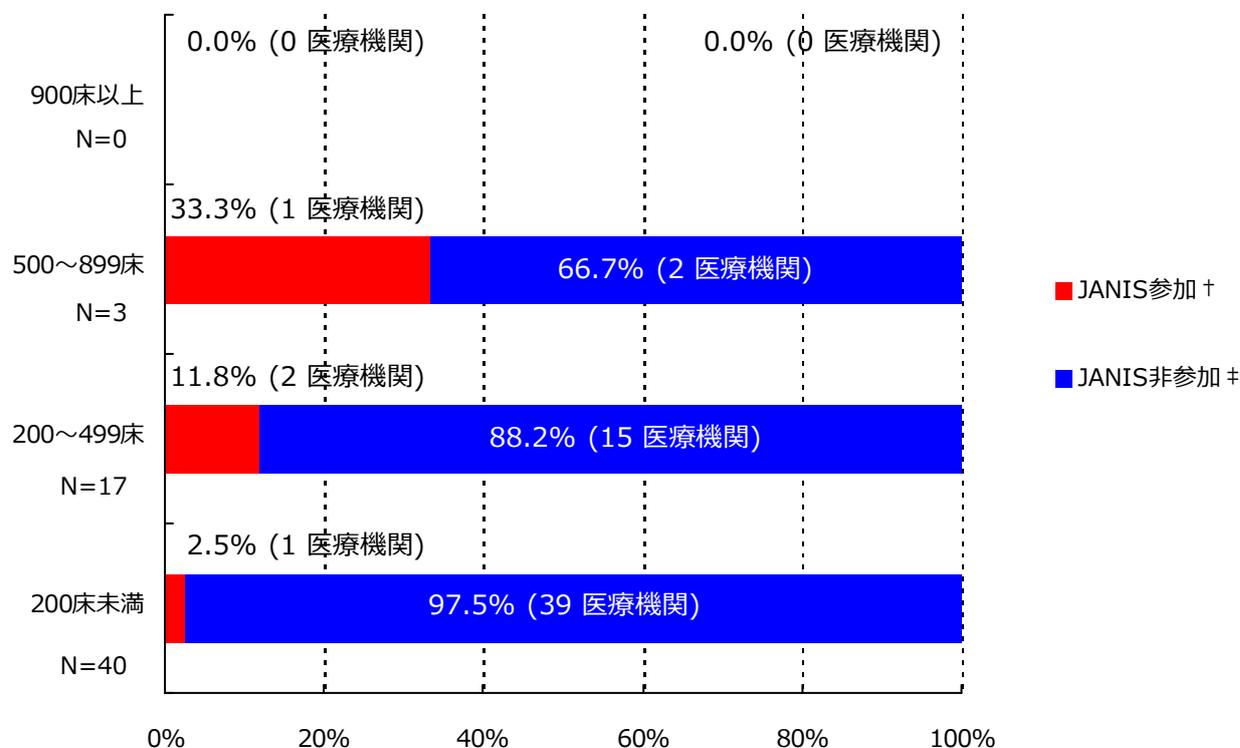
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で "R")、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 [†] ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml [†]	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 [†] 、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml [†]	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で "S 以外" (例 \leq 23mm) [‡]
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml [†] AMK \geq 32 μ g/ml [†] NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm [†] AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml [†] LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 [†] ・ IPM が耐性 [†] 、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml [†] IPM \geq 2 μ g/ml [†] かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(4医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2015年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2014年 都道府県別医療機関数¶) - (2015年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2014年 都道府県別医療機関数¶	2015年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	3	1 (33.3%)
200～499床	17	2 (11.8%)
200床未満	40	1 (2.5%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	60	4 (6.7%)

¶平成26年医療施設（動態）調査を参照した。

(山梨県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

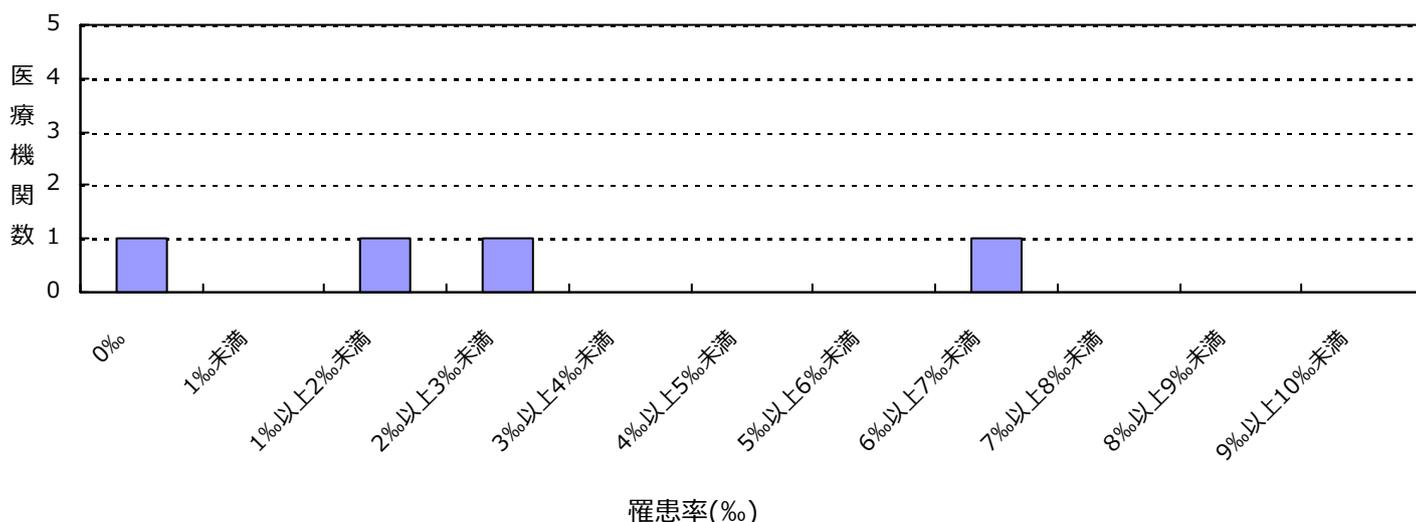


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	24,653	2	76	3.08%	0.00 2.29 6.29

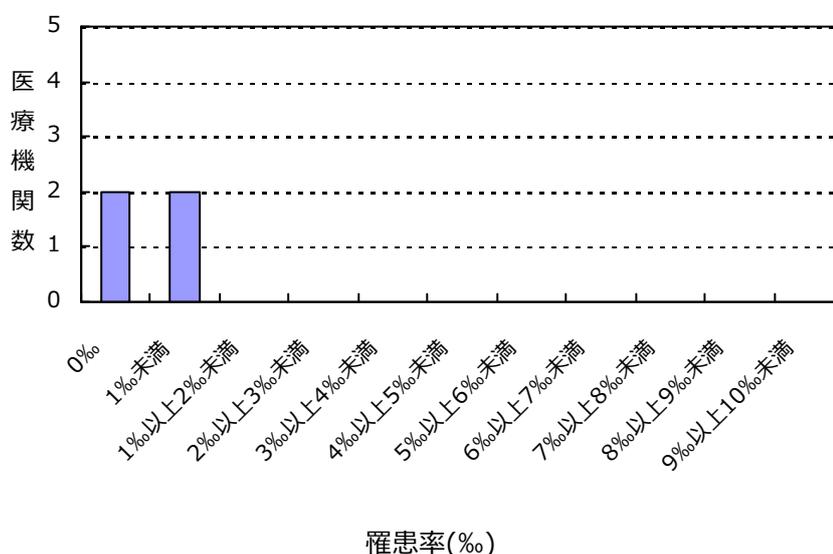
集計対象医療機関の罹患率(N=4)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	24,653	0	8	0.32%	0.00 0.17 0.93

集計対象医療機関の罹患率(N=4)



(山梨県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

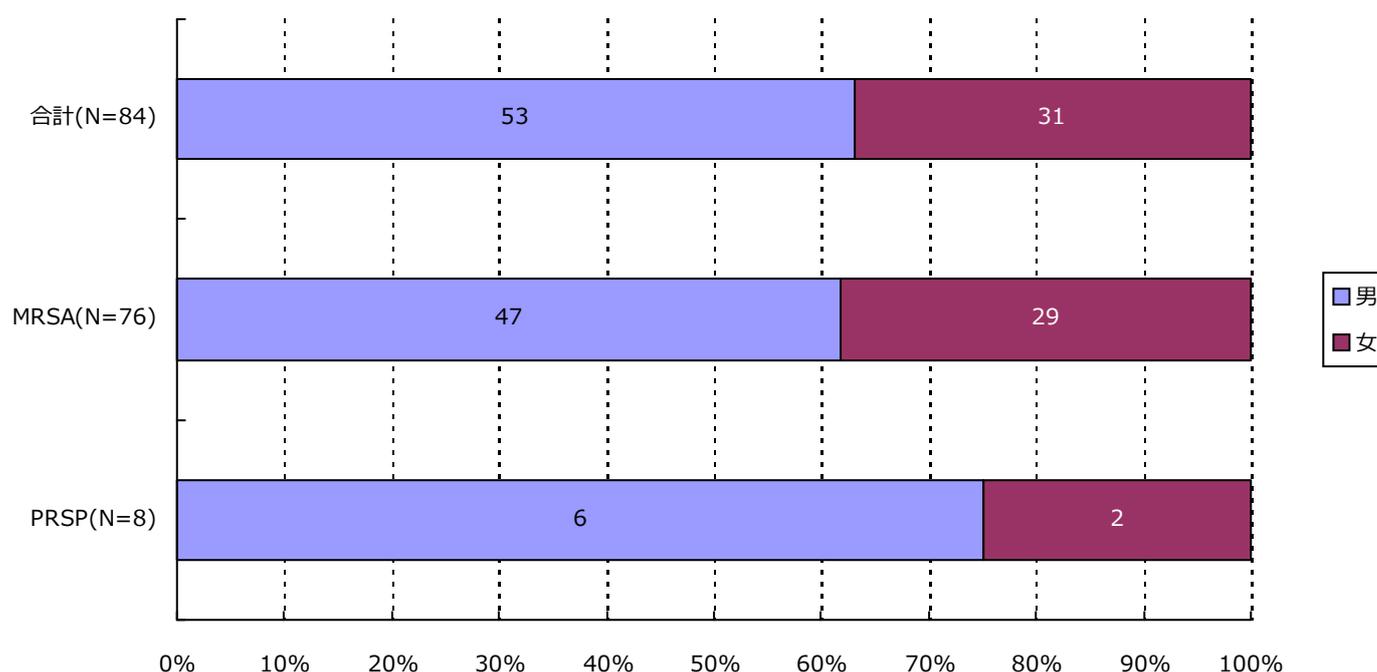
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

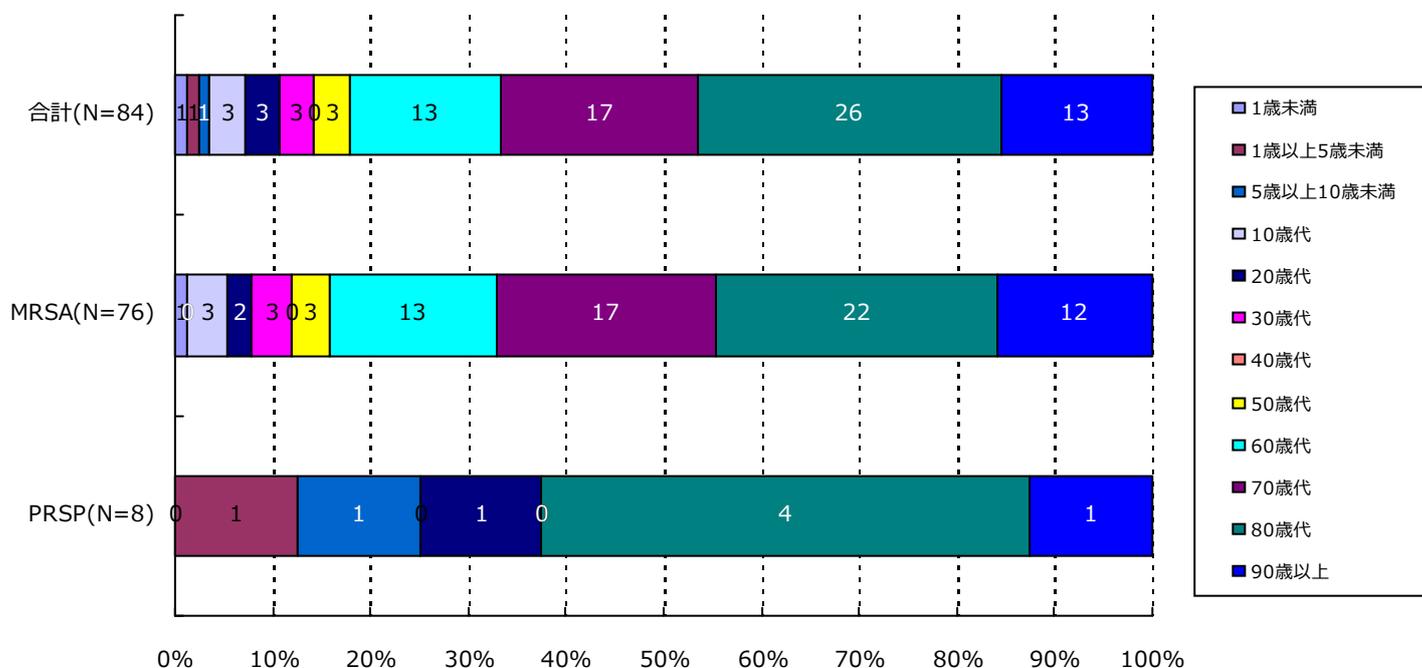
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



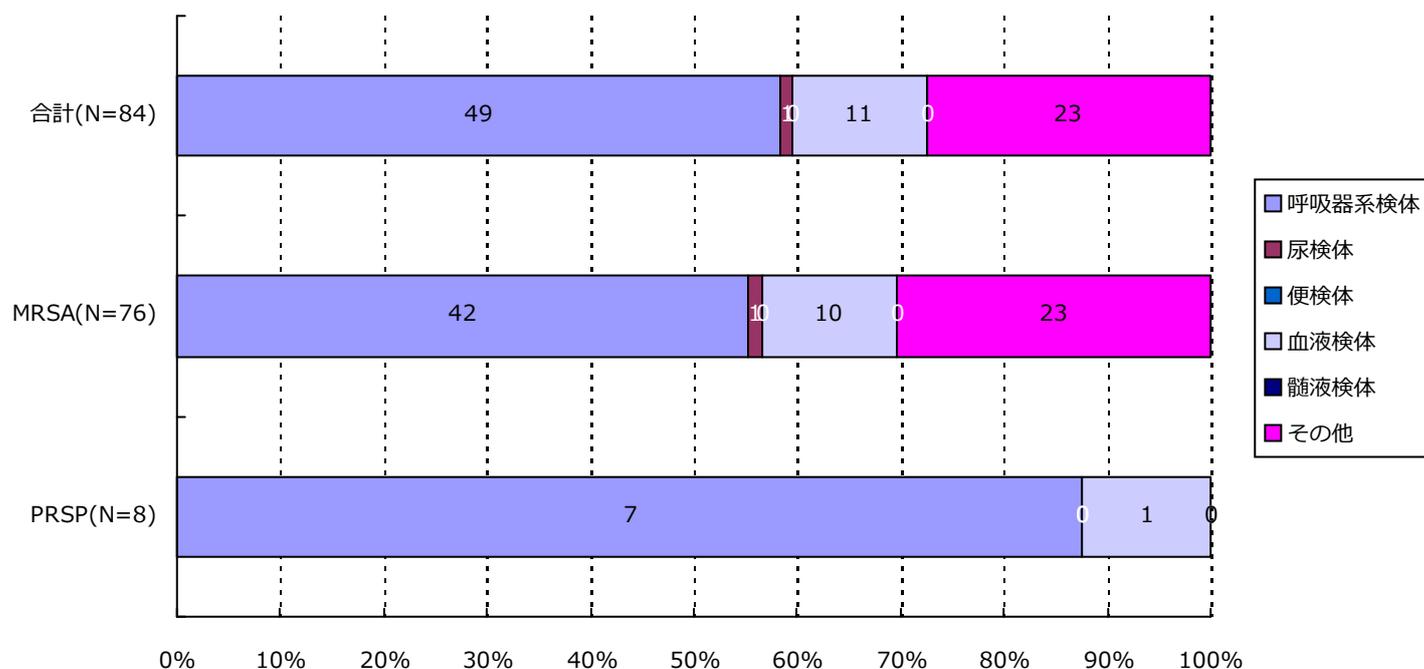
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	53 (63.1%)	47 (61.8%)	0 (-)	0 (-)	6 (75.0%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
女	31 (36.9%)	29 (38.2%)	0 (-)	0 (-)	2 (25.0%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
合計	84	76	0	0	8	0	0	0

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	1(1.2%)	1(1.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	1(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	1(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	3(3.6%)	3(3.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	3(3.6%)	2(2.6%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	3(3.6%)	3(3.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	3(3.6%)	3(3.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	13(15.5%)	13(17.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	17(20.2%)	17(22.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
80歳代	26(31.0%)	22(28.9%)	0(-)	0(-)	4(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
90歳以上	13(15.5%)	12(15.8%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	84	76	0	0	8	0	0	0

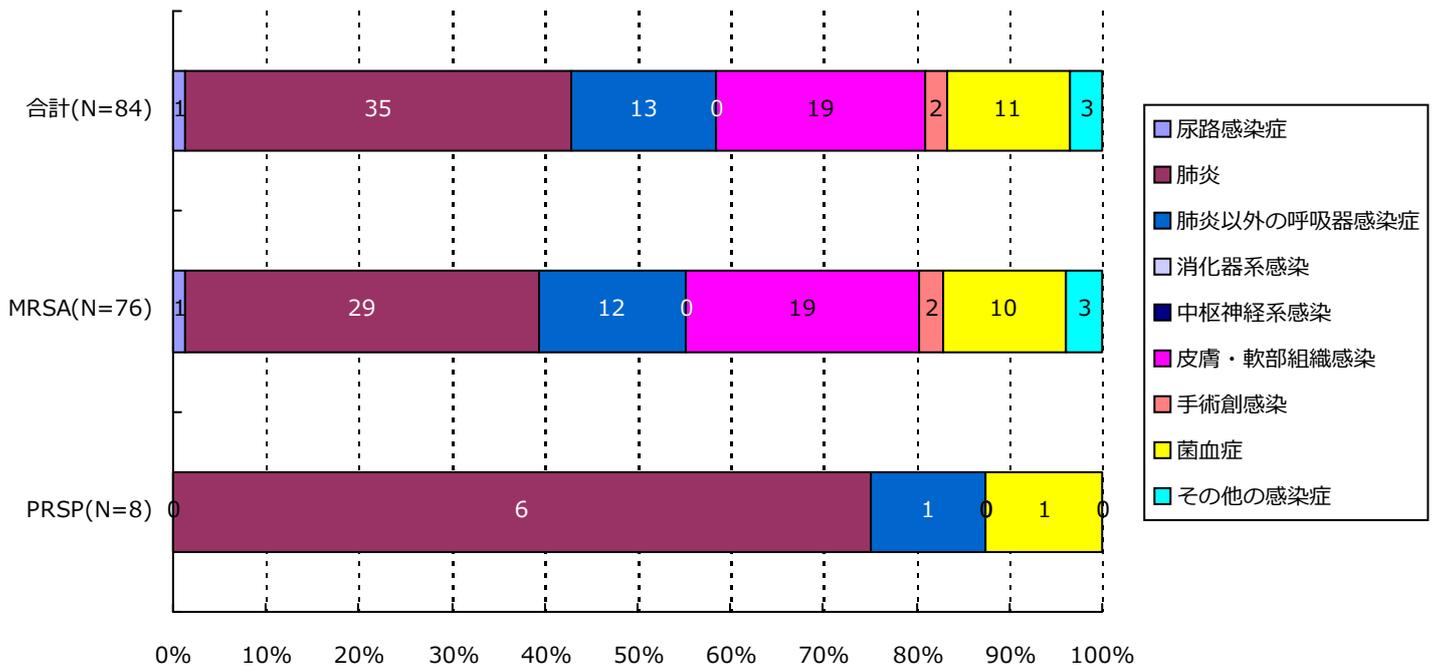
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	49(58.3%)	42(55.3%)	0(-)	0(-)	7(87.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	1(1.2%)	1(1.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	11(13.1%)	10(13.2%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	23(27.4%)	23(30.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	84	76	0	0	8	0	0	0

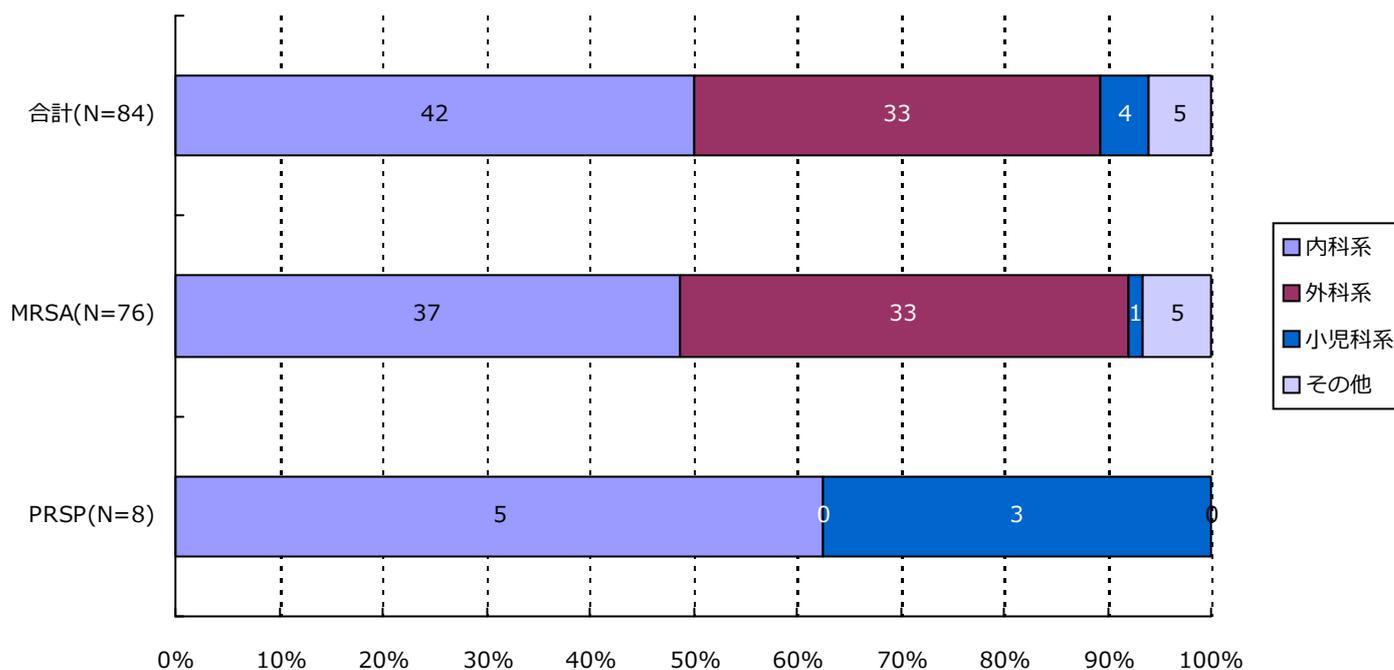
*検体区分については巻末の資料1を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	1(1.2%)	1(1.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎	35(41.7%)	29(38.2%)	0(-)	0(-)	6(75.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	13(15.5%)	12(15.8%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	19(22.6%)	19(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	2(2.4%)	2(2.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	11(13.1%)	10(13.2%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	3(3.6%)	3(3.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	84	76	0	0	8	0	0	0

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	42(50.0%)	37(48.7%)	0(-)	0(-)	5(62.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
外科系	33(39.3%)	33(43.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
小児科系	4(4.8%)	1(1.3%)	0(-)	0(-)	3(37.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	5(6.0%)	5(6.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	84	76	0	0	8	0	0	0

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科		
	循環器内科		消化器外科		
	神経内科		肛門科		
	呼吸器内科		肝胆脾外科		
	消化器内科		心臓血管外科		
	胃腸科		内分泌外科		
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科		
	腎臓内科		小児外科		
	糖尿病内科		小児循環器外科		
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科		
	膠原病内科		産婦人科		
	アレルギー内科		産科		
	リウマチ内科		婦人科		
	血液内科		整形外科		
	感染症内科		美容外科		
	老人内科		眼科		
	心療内科		耳鼻咽喉科		
	その他		性病科	気管食道科	泌尿器科
			神経科	泌尿器科	皮膚・泌尿器科
			精神科	皮膚科	皮膚科
放射線科		脳神経外科	脳神経外科		
総合診療部		形成外科	形成外科		
救急部		歯科口腔外科	歯科口腔外科		
救急・集中治療部		歯科	歯科		
集中治療部(ICU)		小児歯科	小児歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		矯正歯科	矯正歯科		
内視鏡科		口腔外科	口腔外科		
透析科		手術部	手術部		
理学療法・リハビリテーション科		移植・人工臓器科	移植・人工臓器科		
理学療法科		小児科系	小児科		
リハビリテーション科			新生児科		
麻酔科			新生児集中治療部(NICU)		
その他			新生児集中治療部(NICU)		
	周産期センター				

資料3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

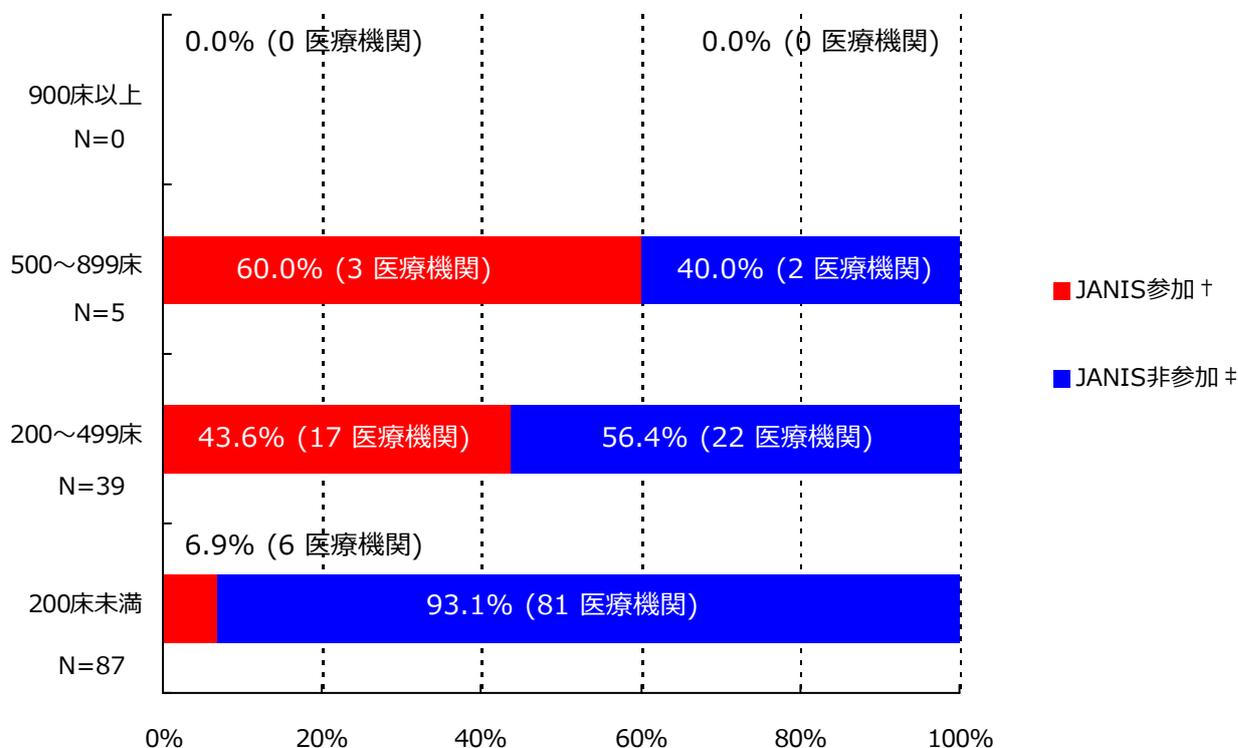
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で "R")、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 [†] ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml [†]	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 [†] 、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml [†]	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で "S 以外" (例 \leq 23mm) [‡]
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml [†] AMK \geq 32 μ g/ml [†] NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm [†] AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml [†] LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 [†] ・ IPM が耐性 [†] 、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml [†] IPM \geq 2 μ g/ml [†] かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

[†] 感染症発生动向調査の基準に準拠

[‡] PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(26医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2015年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2014年 都道府県別医療機関数¶) - (2015年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2014年 都道府県別医療機関数¶	2015年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	5	3 (60.0%)
200～499床	39	17 (43.6%)
200床未満	87	6 (6.9%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	131	26 (19.8%)

¶平成26年医療施設（動態）調査を参照した。

(長野県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

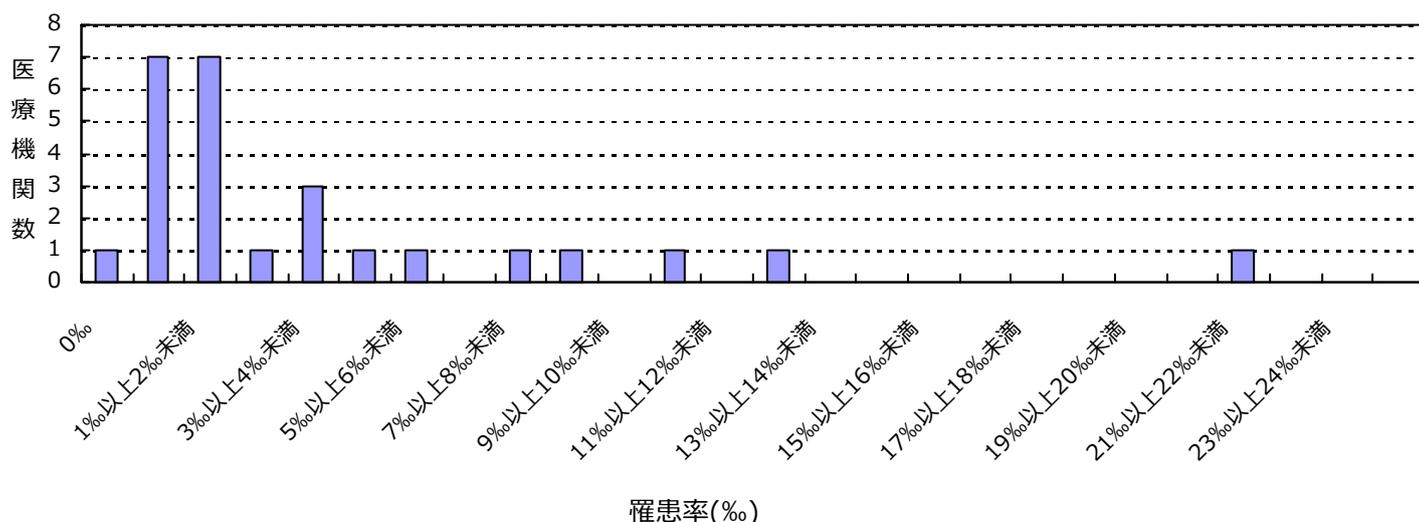


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	153,879	3	381	2.48%	0.00 1.75 21.86

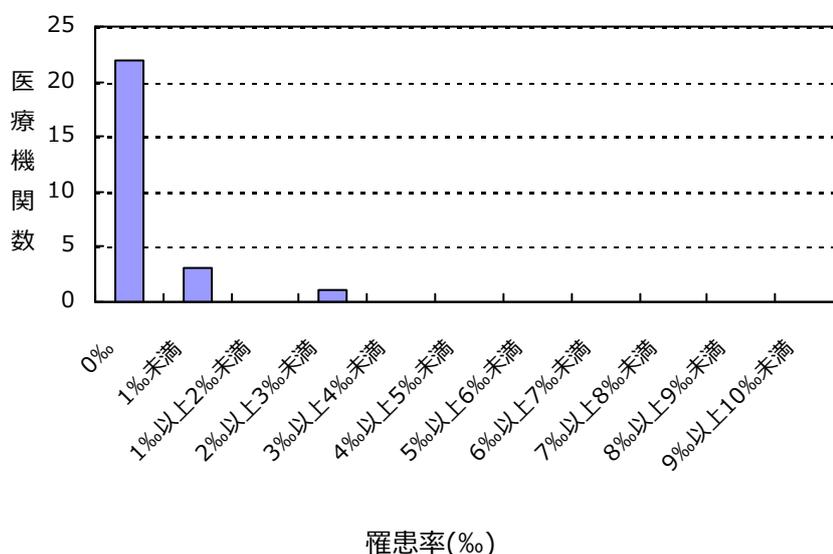
集計対象医療機関の罹患率(N=26)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	153,879	0	51	0.33%	0.00 0.00 2.56

集計対象医療機関の罹患率(N=26)



(長野県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

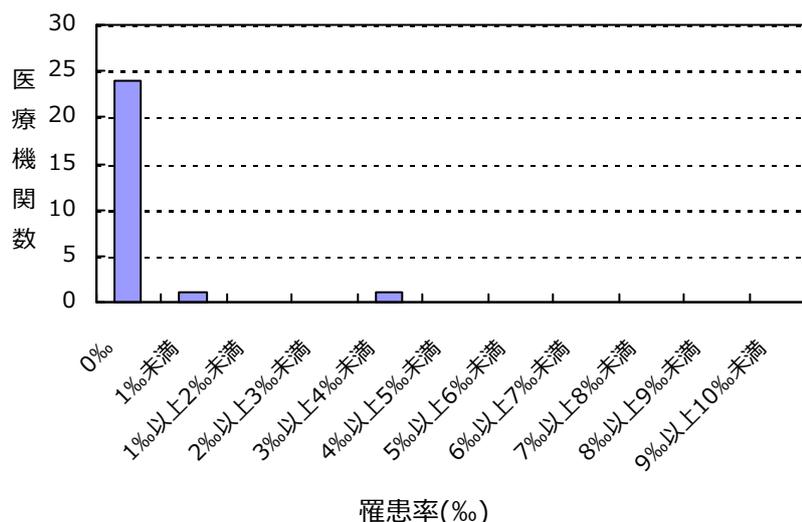


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	153,879	0	3	0.02%	0.00 0.00 3.64

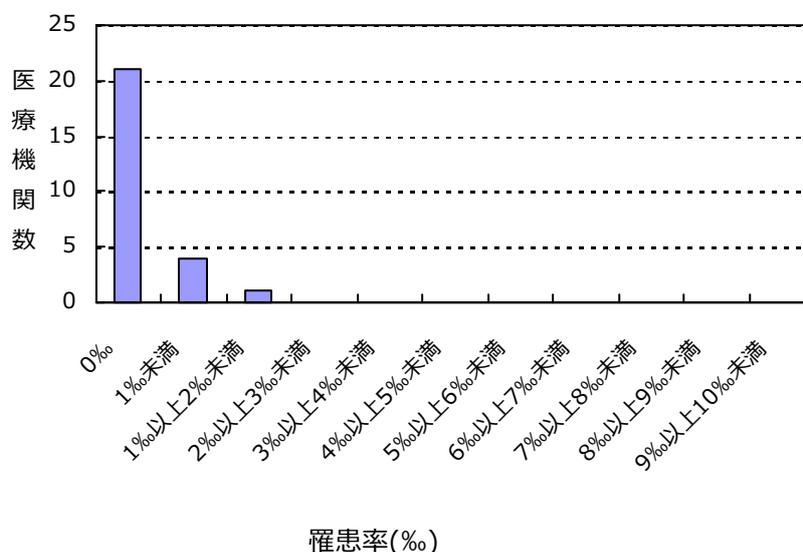
集計対象医療機関の罹患率(N=26)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	153,879	0	13	0.08%	0.00 0.00 1.01

集計対象医療機関の罹患率(N=26)



(長野県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

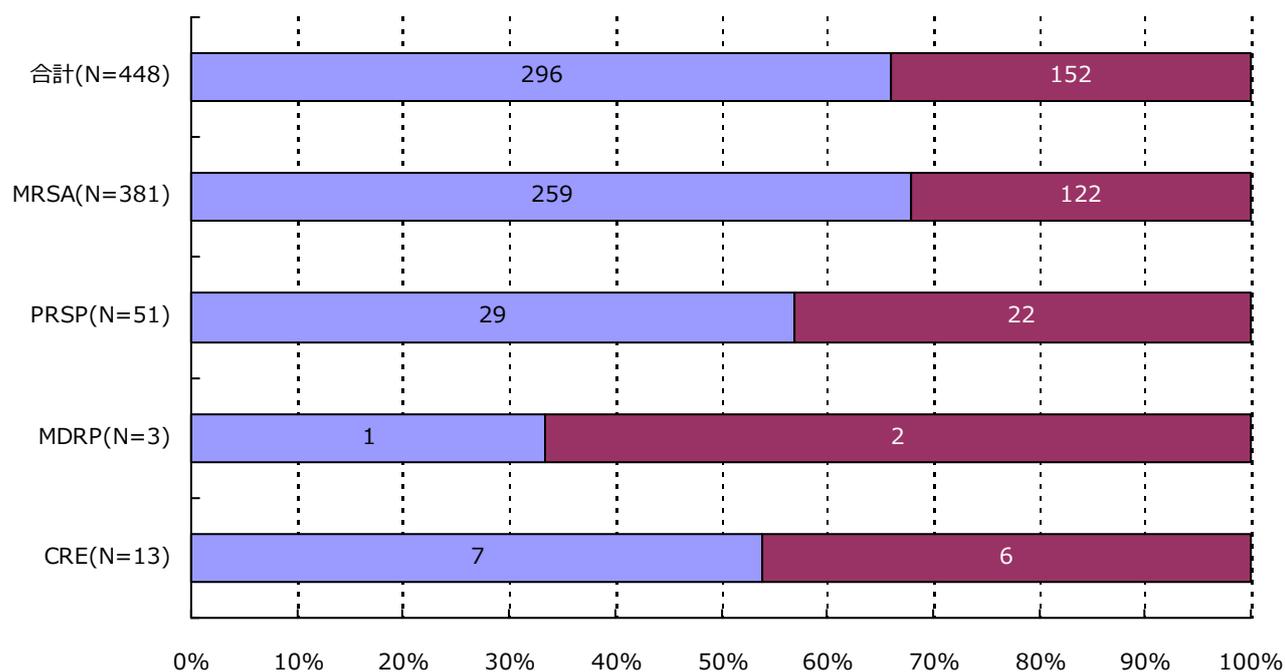
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

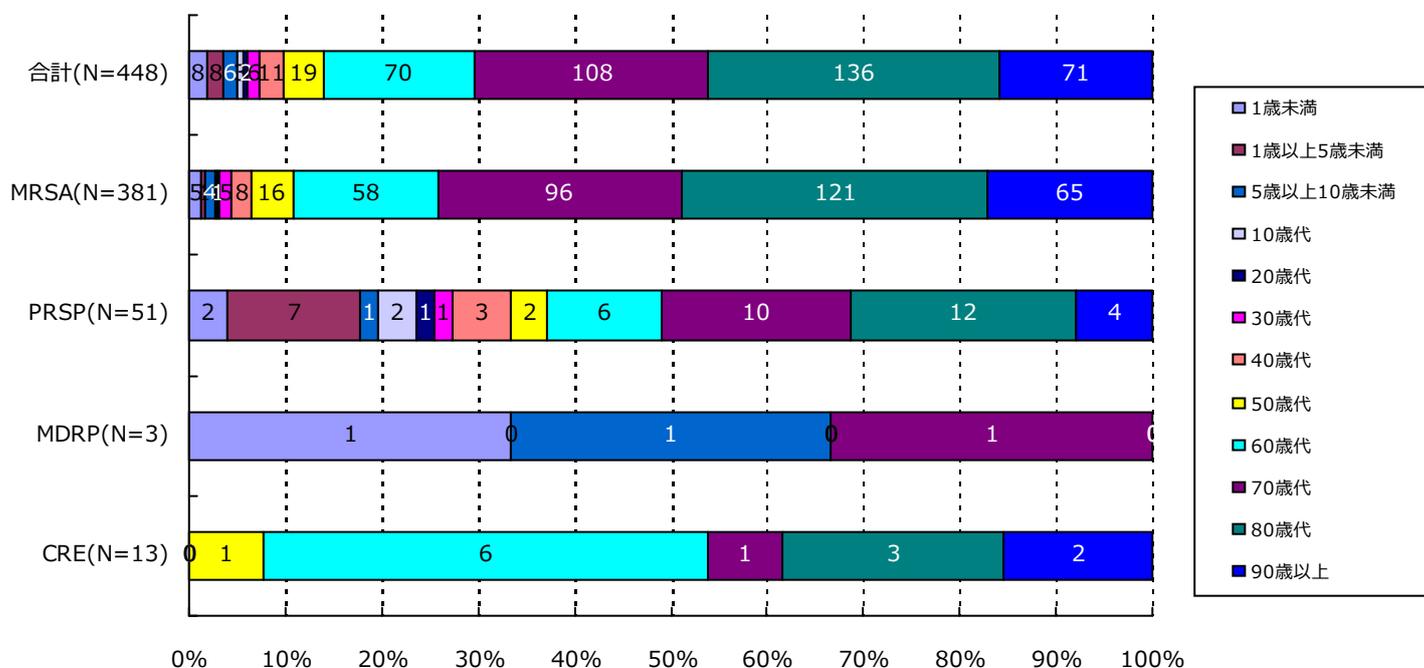
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	296 (66.1%)	259 (68.0%)	0 (-)	0 (-)	29 (56.9%)	1 (33.3%)	0 (-)	7 (53.8%)
女	152 (33.9%)	122 (32.0%)	0 (-)	0 (-)	22 (43.1%)	2 (66.7%)	0 (-)	6 (46.2%)
合計	448	381	0	0	51	3	0	13

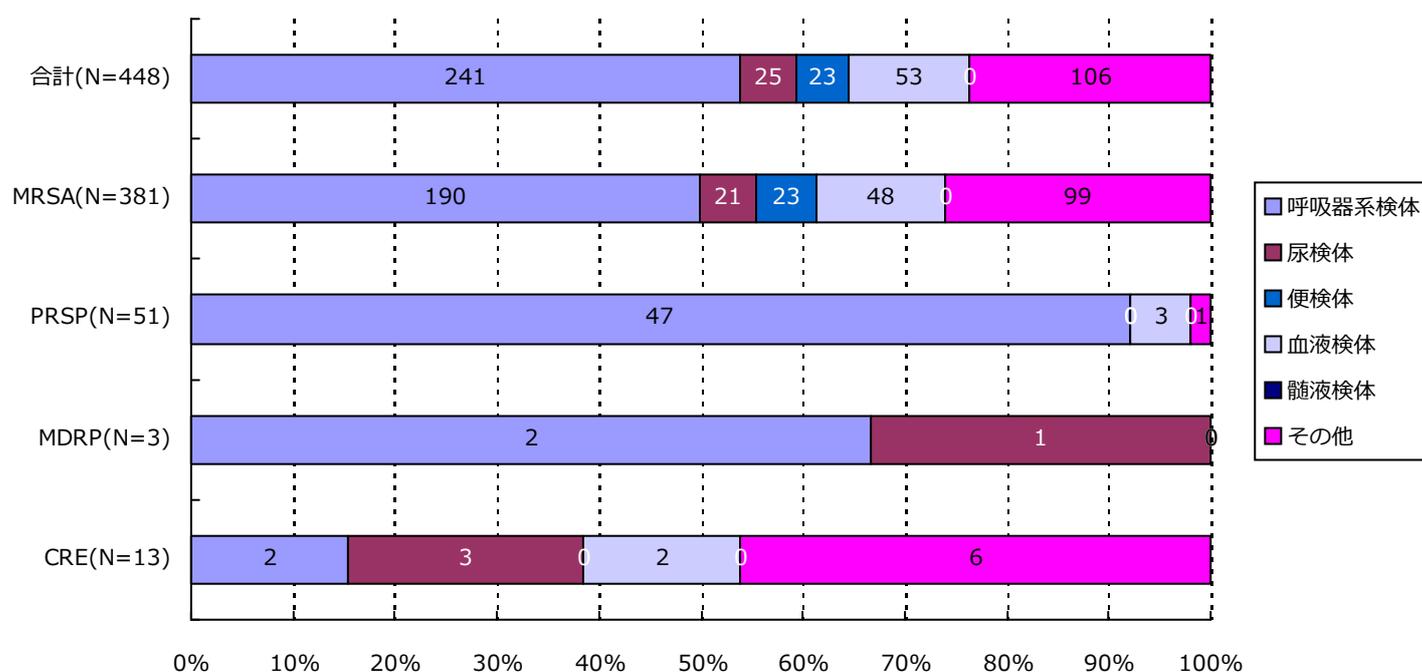


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	8(1.8%)	5(1.3%)	0(-)	0(-)	2(3.9%)	1(33.3%)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	8(1.8%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	7(13.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	6(1.3%)	4(1.0%)	0(-)	0(-)	1(2.0%)	1(33.3%)	0(-)	0(-)
10歳代	3(0.7%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	2(3.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	2(0.4%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	1(2.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	6(1.3%)	5(1.3%)	0(-)	0(-)	1(2.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	11(2.5%)	8(2.1%)	0(-)	0(-)	3(5.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	19(4.2%)	16(4.2%)	0(-)	0(-)	2(3.9%)	0(-)	0(-)	1(7.7%)
60歳代	70(15.6%)	58(15.2%)	0(-)	0(-)	6(11.8%)	0(-)	0(-)	6(46.2%)
70歳代	108(24.1%)	96(25.2%)	0(-)	0(-)	10(19.6%)	1(33.3%)	0(-)	1(7.7%)
80歳代	136(30.4%)	121(31.8%)	0(-)	0(-)	12(23.5%)	0(-)	0(-)	3(23.1%)
90歳以上	71(15.8%)	65(17.1%)	0(-)	0(-)	4(7.8%)	0(-)	0(-)	2(15.4%)
合計	448	381	0	0	51	3	0	13

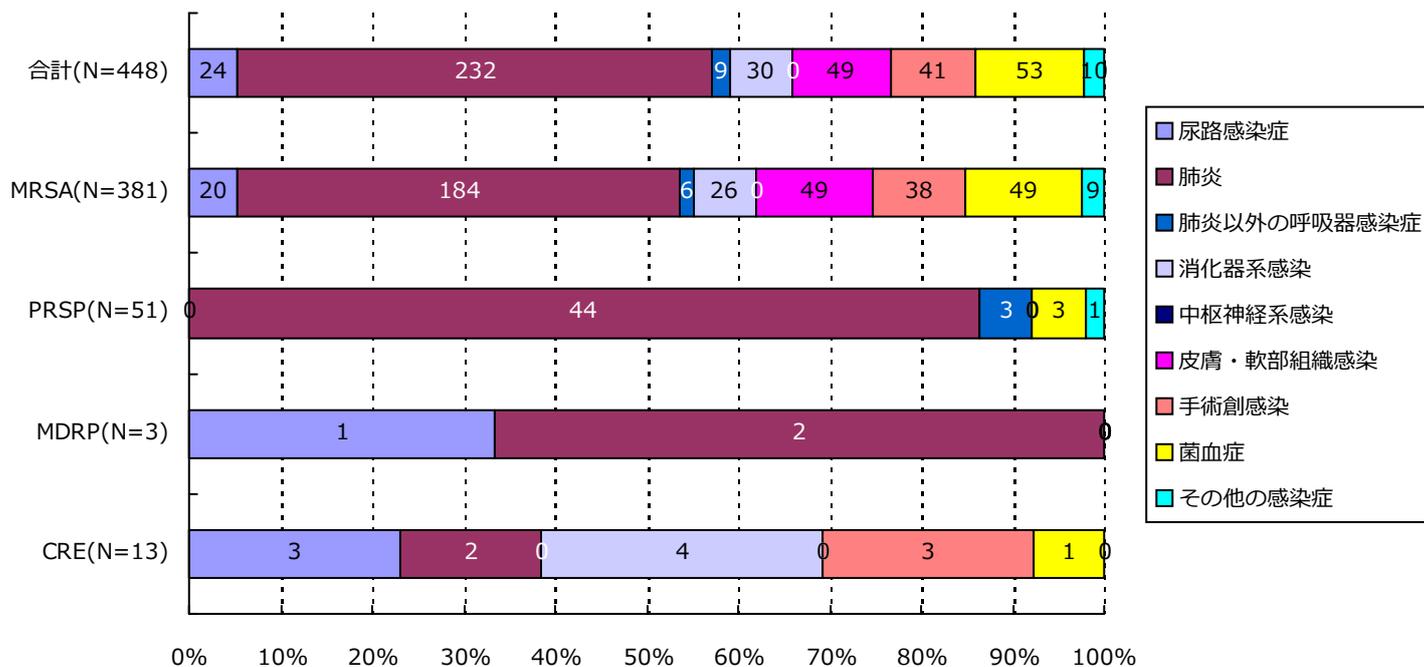
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	241(53.8%)	190(49.9%)	0(-)	0(-)	47(92.2%)	2(66.7%)	0(-)	2(15.4%)
尿検体	25(5.6%)	21(5.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	3(23.1%)
便検体	23(5.1%)	23(6.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	53(11.8%)	48(12.6%)	0(-)	0(-)	3(5.9%)	0(-)	0(-)	2(15.4%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	106(23.7%)	99(26.0%)	0(-)	0(-)	1(2.0%)	0(-)	0(-)	6(46.2%)
合計	448	381	0	0	51	3	0	13

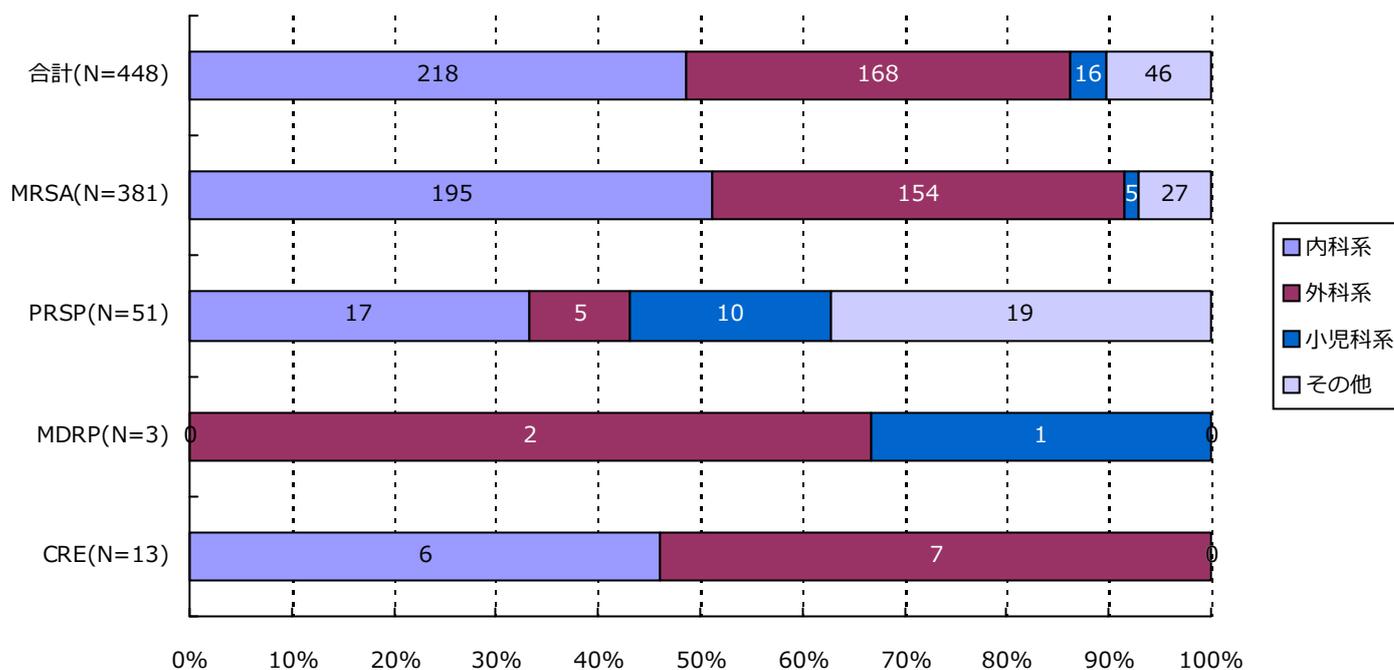
*検体区分については巻末の資料1を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	24(5.4%)	20(5.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	3(23.1%)
肺炎	232(51.8%)	184(48.3%)	0(-)	0(-)	44(86.3%)	2(66.7%)	0(-)	2(15.4%)
肺炎以外	9(2.0%)	6(1.6%)	0(-)	0(-)	3(5.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	30(6.7%)	26(6.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	4(30.8%)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	49(10.9%)	49(12.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	41(9.2%)	38(10.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(23.1%)
菌血症	53(11.8%)	49(12.9%)	0(-)	0(-)	3(5.9%)	0(-)	0(-)	1(7.7%)
その他	10(2.2%)	9(2.4%)	0(-)	0(-)	1(2.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	448	381	0	0	51	3	0	13

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	218(48.7%)	195(51.2%)	0(-)	0(-)	17(33.3%)	0(-)	0(-)	6(46.2%)
外科系	168(37.5%)	154(40.4%)	0(-)	0(-)	5(9.8%)	2(66.7%)	0(-)	7(53.8%)
小児科系	16(3.6%)	5(1.3%)	0(-)	0(-)	10(19.6%)	1(33.3%)	0(-)	0(-)
その他	46(10.3%)	27(7.1%)	0(-)	0(-)	19(37.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	448	381	0	0	51	3	0	13

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科		
	循環器内科		消化器外科		
	神経内科		肛門科		
	呼吸器内科		肝胆膵外科		
	消化器内科		心臓血管外科		
	胃腸科		内分泌外科		
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科		
	腎臓内科		小児外科		
	糖尿病内科		小児循環器外科		
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科		
	膠原病内科		産婦人科		
	アレルギー内科		産科		
	リウマチ内科		婦人科		
	血液内科		整形外科		
	感染症内科		美容外科		
	老人内科		眼科		
	心療内科		耳鼻咽喉科		
	その他		性病科	気管食道科	泌尿器科
			神経科	泌尿器科	皮膚・泌尿器科
			精神科	皮膚科	皮膚科
放射線科		脳神経外科	脳神経外科		
総合診療部		形成外科	形成外科		
救急部		歯科口腔外科	歯科口腔外科		
救急・集中治療部		歯科	歯科		
集中治療部(ICU)		小児歯科	小児歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		矯正歯科	矯正歯科		
内視鏡科		口腔外科	口腔外科		
透析科		手術部	手術部		
理学療法・リハビリテーション科		移植・人工臓器科	移植・人工臓器科		
理学療法科		小児科系	小児科		
リハビリテーション科			新生児科		
麻酔科			新生児集中治療部(NICU)		
その他	周産期センター				

資料3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で "R")、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 [†] ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml [†]	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 [†] 、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml [†]	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で "S 以外" (例 \leq 23mm) [‡]
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml [†] AMK \geq 32 μ g/ml [†] NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm [†] AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml [†] LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 [†] ・ IPM が耐性 [†] 、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml [†] IPM \geq 2 μ g/ml [†] かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

[†] 感染症発生动向調査の基準に準拠[‡] PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用